

令和5年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	4
(3) 福祉基金の運用	5
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	6
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	7

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	8
(2) ふれあいサロン事業	14
(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	20
(4) 法人後見事業	21
(5) 認知症高齢者見守り事業	21
(6) 認知症サポーター養成事業	24
(7) 認知症カフェ推進事業	29
(8) 尾道市チームオレンジ整備事業	33
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	36
(10) 介護器具等の貸し出し事業	36
(11) 福祉総合相談事業	36
(12) 生活困窮者自立支援事業	37
(13) 生活福祉資金貸付事業	42
(14) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業	42
(15) 生活支援体制整備事業	44
(16) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	45
(17) 広報啓発活動	48
(18) 民生委員児童委員協議会との連携	48
(19) 福祉まるごと相談窓口事業	48
(20) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業	52

3. 福祉人材養成事業	
(1) 地域人材確保推進体制整備事業	55
(2) 大学、専門学校等ソーシャルワーク実習生等の受け入れ	56
(3) 日本赤十字社講習会	56
4. 福祉教育推進事業	
(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育	57
5. ボランティア活動推進事業	
(1) ボランティアセンターの運営	61
(2) ボランティア養成事業	65
6. 高齢者福祉事業	
(1) 第49期尾道いきいき大学	70
(2) 敬老会	72
7. 障害者福祉事業	
(1) 障害者社会参加促進事業	76
(2) 障害者当事者団体への支援・協力	79
8. 児童福祉事業	
(1) 子育て支援	80
(2) 子どもの居場所づくり	83
9. 母子・父子福祉事業	84
10. 尾道市総合福祉センター等の管理	
(1) 尾道市総合福祉センターの管理	85
(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理	86
(3) 因島総合福祉保健センターの管理	87

11. 尾道市総合福祉センター事業

- (1) 障害者福祉センター事業 87
- (2) 老人福祉センター事業 88
- (3) 児童センター事業 90
- (4) 母子・父子福祉センター事業 91
- (5) 福祉センター事業「よりあい広場」 93

12. 共同募金事業

- (1) 赤い羽根共同募金 94
- (2) 能登半島地震災害義援金 95

13. 災害支援事業

- (1) 被災者生活サポートボラネット推進事業 95

14. 地域包括支援センター事業

- (1) 総合相談・支援業務 96
- (2) 介護プラン作成件数 96
- (3) 介護予防普及啓発事業 96
- (4) 地域活動 99
- (5) 認知症地域支援推進員の活動 102
- (6) 包括支援センター会議 105
- (7) 研修等 108

15. 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 112
- (2) 訪問介護事業 117
- (3) 訪問入浴介護事業 121
- (4) 通所介護事業 122

16. 障害福祉サービス事業

- (1) 障害者訪問介護事業 126
- (2) 障害者訪問入浴介護事業 127
- (3) 障害者通所介護事業 127

令和5年度 事業報告

我が国は本格的な少子高齢化・人口減少時代を迎え、各分野で労働力不足が広がっており、中でも福祉分野の人材不足は深刻化しています。働く高齢者の増加等により町内会役員や民生委員・児童委員、ボランティア活動者など地域福祉の担い手の減少が課題となっています。

一方で、価値観やライフスタイルの変化により単身化が進み、特に高齢者の単身世帯の割合が増加しています。また、令和5年度には、新型コロナ感染症の分類は5類とされ、その影響は薄れているものの長期にわたる社会活動や経済活動の制限やロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ問題など国際情勢の影響によって市民生活の厳しさは継続されています。生活困窮や孤独・孤立、ひきこもりや8050問題、ヤングケアラーなど地域住民が抱える課題は多様化・複雑化しています。

公共サービスだけで課題を解決することが困難となり、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティーネット機能の強化がますます重要になっています。

尾道市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域のつながりを大切にし、住み慣れた地域で安心して生活できることを目指して事業を継続実施致しました。

生活支援体制整備事業では、北部・中央・西部・南部（因島）・南部（瀬戸田）地域包括支援センターの各圏域において事業を実施し、因島地域、御調地域、美木中地域では第2層協議体が活動されています。他の地域においても地区社協と設立に向けた協議を進めた結果、第2層協議体を瀬戸田地域、久保地区、栗原・久山田地区で設立することができました。

小地域ネットワーク推進事業では、新たにモデル地区として高須地区を指定し、日比崎地区と合わせて、それぞれの実情にあった「支え合いの地域づくり」に取り組みしました。

生活困窮者自立支援事業（くらしサポートセンター尾道）では、様々な悩みごとを抱えている方の自立支援に向け、各種機関と連携した相談・支援に努めました。新規相談受付件数243件（前年度264件）、延べ対応件数で4,580件（前年度4,797件）となり就労相談、債務整理、家計管理などを実施し相談者の生活立て直しにつなげることができました。

ボランティア養成事業では、手話奉仕員養成講座ほか10講座で、延べ171回のボランティア養成講座を開催し、更なる地域ボランティアの育成を図りました。

ふれあいサロン事業では169カ所が登録され、新型コロナ感染症の5類移行を受け、サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行う等、ほぼ従前通りの活動が実施され、合計50,030名の方が参加されました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業では、認知症になっても安心して自分らしく暮らし続けることのできる共生の地域づくりを目指し、認知症の人や家族のニーズ・困りごとに対して、認知症サポーターや本人、家族、地域、専門職等と一緒に考え、支

援を行う「チームオレンジ整備事業」を新たに開始し、市内4カ所において「チームオレンジ」が整備されました。その他にも、認知症の方や家族を支援するため「やすらぎ支援員」を派遣するとともに、地域で認知症に対する正しい理解を深めるため「認知症サポーター」の養成や「認知症カフェ推進事業」等に取り組みました。

子育て支援事業では、生後4カ月の赤ちゃんへ絵本等をプレゼントする「ブックスタート事業」をはじめ、1歳6カ月児や3歳児に読み聞かせをしたうえで絵本をプレゼントする「ブックスタート・プラス事業」「ブック・ステップアップ事業」、市内15カ所の子育てサロンの活動を通して子育て中の親子の支援を行い、他機関と連携して子育て支援ネットワークづくりを推進することで、地域や家庭の子育て力向上を図りました。

令和5年5月より新型コロナウイルス感染症の取り扱いが、感染症分類の2類から5類へ移行されましたが、介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、その性質上、利用者や職員への感染防止を最優先に考慮しながら各種サービスの平常化に向けて、より慎重に取り組みました。

また、令和6年度の介護報酬改定に向けて、虐待及び身体拘束の防止、業務継続計画に必要な研修や訓練を行い、職員の対応能力を向上させると共に、必要な介護サービスを安定的に提供できるよう体制づくりを行いました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員会等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月12日(月) 出席者14名	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度一般会計決算について 議案第3号 理事及び監事候補者の推薦について 議案第4号 評議員候補者の推薦について 議案第5号 評議員選任・解任委員会委員の選任について 議案第6号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第7号 給与規程の一部改正について 議案第8号 定時評議員会の開催について 報告事項 職務執行状況報告について 報告事項 介護事業所運営規程の一部改正(専決事項)について 報告事項 社協事務局体制について

第2回 6月28日(水) 出席者14名	議案第9号 任期満了に伴う会長専任について 議案第10号 任期満了に伴う副会長専任について 協議事項 各委員会委員について その他1 尾道市共同募金委員会について
第3回 11月15日(水) 同意者16人 (決議の省略)	議案第11号 令和5年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第12号 評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について その他1 尾道市総合福祉センターの利用制限について ※書面による同意
第4回 3月15日(金) 出席者12名	議案第13号 令和5年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第14号 令和6年度事業計画について 議案第15号 令和6年度一般会計収支予算について 議案第16号 事務規程の一部改正について 議案第17号 介護事業所運営規程の一部改正について 議案第18号 役員等賠償責任保険契約について 議案第19号 評議員会の招集について その他1 職務執行状況報告書について

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月28日(水) 出席者26名	議案第1号 令和4年度事業報告について 議案第2号 令和4年度一般会計決算について 議案第3号 理事の選任について 議案第4号 監事の選任について 報告事項 社協事務局体制について
第2回 11月29日(水) 出席者28名	議案第5号 令和5年度一般会計補正予算(第1号)について 報告事項 おのみち福祉まつりについて 報告事項 人事異動について その他1 尾道市総合福祉センターの利用制限について
第3回 3月27日(水) 出席者26名	議案第6号 令和5年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第7号 令和6年度事業計画について 議案第8号 令和6年度一般会計収支予算について

③ 監事会

開催日	主な議題
5月26日(金) 出席者2名	(1) 令和4年度事業監査について (2) 令和4年度一般会計監査について

④ 評議員選任・解任委員会

開催日	主な議題
6月16日(金) 出席者 3名	議案第1号 評議員の選任について

⑤ 表彰審査委員会

開催日	主な議題
10月11日(水) 出席者 5名	(1) 令和5年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰について 市社協会長表彰として、社会福祉協議会関係者 18名、社会福祉施設・団体関係者 26名、ボランティア(個人) 17名、ボランティア(団体) 1団体、特別功労者 13名を決定した。

(2) 役員・評議員・監事研修会

福祉活動の推進に役立てるため、研修会へ参加した。

開催日	主な内容
10月30日(月) ～	第67回 「広島県社会福祉夏季大学」 息の長い緩やかな見守りや、それぞれが悩みを抱えこまない仕組みづくりが、助けあいのあり暮らしやすい地域づくりにつながることを学んだ。
12月27日(水) (視聴期間) [※オンラインにて開催。 参加者 36名]	講義1 「地域共生社会を考える、孤立、孤独を防ぐために地域でできること」 講師：同志社大学 社会学部 教授 永田祐さん 講義2 「地域で育てる社会的養育 ～重なりあう、つながり続ける厚みのある支援に向けて～」 講師：全国児童家庭センター協議会 会長 橋本達昌さん 講義3 「生き心地の良いまち ～つながりつつも縛らないという選択～」 講師：統計数理研究所医療健康データ科学研究センター 特任准教授 岡檀さん

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息等を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
① 積立状況	166,241,273	160,866,573	155,388,673
② 利息収入	1,061,004	1,504,147	1,522,438
③ 国債売買収益	1,126,950	2,212,100	0
④ 前期繰越金収入	68,247	0	24,934
⑤ 使途 法人運営事業	1,612,946	3,648,000	1,547,372
⑥ 次期繰越金	643,255	68,247	0

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息等を福祉大会、ボランティア養成、子育て支援などへ有効に活用し各種事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
① 積立状況	364,813,208	364,813,208	352,276,008
② 利息収入	4,748,994	5,043,028	4,345,421
③ 国債売買収益	0	20,549,320	0
④ 前期繰越金収入	26,954,646	4,487,040	2,523,756
⑤ 使途の内訳 (合計)	4,213,418	3,124,742	2,382,137
ア 認知症高齢者見守り事業	71,000	2,993	0
イ 福祉総合相談事業	132,859	94,130	39,301
ウ 福祉大会事業	700,000	635,902	205,272
エ 福祉まつり事業	170,000	148,843	0
オ 福祉人材養成事業	0	56,776	0
カ 福祉教育事業	31,000	31,000	10,542
キ ボランティア養成事業	446,099	332,397	317,921
ク 子育て支援事業	328,803	385,919	218,101
ケ 法人運営事業	2,333,657	1,436,782	1,591,000
⑥ 次期繰越金	27,490,222	26,954,646	4,487,040

(5) 金山基金の運用

金山基金は、法人事業運営費等へ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和5年度	令和4年度	令和3年度
① 基金年度末残高	80,000,000	97,000,000	106,074,704
② 利息収入	2,118	5,074	5,020
③ 基金取崩額	17,000,000	9,074,704	6,000,000
④ 前期繰越金収入	2,616,510	2,524,661	12,290,805
⑤ 使途の内訳 (合計)	10,834,493	8,987,929	15,771,164
ア 生活支援体制整備事業	60,905	0	1,873
イ ふれあいサロン事業	32,148	0	0
ウ いきいき大学事業	212,909	0	0
エ 老人センター事業	10,696	420,796	138,101
オ 障害者センター事業	17,489	46,586	226,130
カ 児童センター事業	0	427,732	469,698
キ 法人運営事業	10,500,346	8,092,815	14,935,362
⑥ 次期繰越金	8,784,135	2,616,510	2,524,661

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	26,692	4,003,850	1,956	293,400	4,900	735,000
団体会費	33	99,000	7	21,000	9	27,000
賛助会費 (事業所)	129	528,000	40	150,000	39	182,000
(個人)	146	315,000	3	13,000	4	14,000
合 計		4,945,850		477,400		958,000

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	7,779	1,166,850	3,476	521,400	44,803	6,720,500
団体会費	5	15,000	5	15,000	59	177,000
賛助会費 (事業所)	51	191,000	35	151,000	294	1,202,000
(個人)	7	23,000	6	22,000	166	387,000
合 計		1,395,850		709,400		8,486,500

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	94	4,660,092	34	715,000	48	569,000
地区社協指定分	85	3,087,497	23	485,000	88	1,434,000
合 計	179	7,747,589	57	1,200,000	136	2,003,000
(内訳)						
香典返し	142	4,814,250	56	1,190,000	131	1,965,000
一 般	37	2,933,339	1	10,000	5	38,000
物品寄付	2	34,000	1	247,500	0	0

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	3	60,000	14	403,200	193	6,407,292
地区社協指定分	34	440,000	0	0	230	5,446,497
合 計	37	500,000	14	403,200	423	11,853,789
(内 訳)						
香典返し	37	500,000	12	350,000	378	8,819,250
一 般	0	0	2	53,200	45	3,034,539
物品寄付	0	0	1	39,000	4	320,500

② 寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第1回 1月29日(月) 出席者5名	報告事項 (1) 令和4年度寄付金の取扱状況について (2) 令和4年度寄付金の使途について (3) 令和5年度寄付金の取扱状況について (4) 令和5年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 令和6年度寄付金の使途について

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤とした住民同士の見守りや支え合い活動の推進を目的に、令和5年度は1地区を新たにモデル指定し、指定2年目の1地区(継続)と合わせて2地区で小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は1地区につき年50,000円、モデル指定期間は2年間としている。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：高須地区

(イ) 継続の地区社協

旧尾道地域：日比崎地区(本通り第一町内会)

イ モデル指定地区の主な取り組み

(ア) 新規地区

a 高須地区

ささえ合いの輪が広がる地域づくりを目指して、「敬老会の分散化」、「既存サロン・カフェの拡充と新設」、「ちょっとした困りごとを支える仕組みづくり」に取り組まれた。

(a) 福祉事業部会の開催(12回)

(b) きずな委員会の開催(6回)

(c) 町内会長・民生委員・きずな委員の三者合同会議の開催

(d) きずな委員を中心とした敬老会の分散化開催

(e) サロンボランティア募集チラシの作成と掲示

(f) 「困っていること」「こんな手伝いならできます」アンケート実施

(g) ポロシャツの作成

(h) 生活支援グループ「AKASAKA」(福山市赤坂学区)の視察研修

(イ) 継続(2年目)地区

a 日比崎地区(本通り第一町内会)

地域のつながりを広め、安心して暮らせる地域づくりを目指して、住民の支え合いによる見守りサポート活動に取り組まれた。

(a) 小地域ネットワーク会議(10回)

(b) 75歳以上一人暮らし高齢者等を対象とした見守り訪問

(c) 町内会マップの作成、見守りグッズの配付

(d) 講演会(特殊詐欺対策)の実施

(e) 栗原・久山田地区久山田町内会との交流会

ウ 地区社協及び民生委員等を対象とした実践発表会

小地域ネットワーク活動の啓発と普及につなげるため、モデル指定2年目の地区社協による実践発表会を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月5日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの4会場をWebで接続	◇尾道市社協の事業説明 (生活支援体制整備事業+小地域ネットワーク推進事業) ◇小地域ネットワーク活動の実践発表 日比崎地区(本通り第一町内会)の取り組み 「地域のつながりを広げる見守り活動を」 ◇事例紹介 久保地区旭ヶ丘町内会の取り組み 「見守り活動から生まれた新たな助け合い(ゴミ出しサポート)」 ◇質疑応答	111名

【成果】

- ・モデル指定地区で小地域ネットワーク活動が展開され、地域での話し合いの場ができ、地域住民同士の見守り・支え合い体制の基盤及び体制が構築された。
- ・地域のつながりが広がるとともに、地区の住民に支え合いの意識が醸成された。
- ・実践発表会を通して、小地域ネットワーク活動の啓発・普及を図ることができた。

【課題】

- ・モデル指定地区において、地区社協や自治会、民生委員、地域ボランティア等が連携して活動が進められるよう側面的支援を行っていく。
- ・適正な活動範囲を意識しながら、地域のニーズにあった幅広い支え合い活動の展開を行っていく。
- ・新規モデル指定地区を確保していくための手法を検討する必要がある。

② 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開催日	内 容
4月10日(月)	・市社協職員の紹介 ・市社協事業について ・市社協役員(理事・監事)の推薦について ・情報交換
7月10日(月)	・令和5年度敬老会事業について ・市社協事業について ・情報交換

11月13日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度敬老会反省会 ・市社協事業について ・情報交換
2月19日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協事業について ・勉強会「地域の担い手不足について考えよう！」

イ 御調地域

開催日	内 容
5月12日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・新地区社協会長の紹介 ・尾道市社協理事推薦について ・令和5年度事業計画等 尾道市社協の事業について ・生活支援体制整備事業（協議体）について
7月6日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事務手続き等について ・地域づくりについて
11月9日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会事業の反省等について ・御調地域における協議体の設立について
2月16日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・御調地区 地域づくりについて

ウ 向島地域

開催日	内 容
5月11日（木）	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協会長自己紹介及び関係職員紹介 ・令和5年度世帯会費の協力依頼について ・理事・評議員の推せんについて ・地域福祉活動について ・寄付金の取扱いについて
7月12日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の説明及び事務手続きについて ・敬老会委託契約手続きについて
10月18日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の反省について ・令和5年度共同募金について

エ 因島地域

開催日	内 容
4月26日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・市社協会長あいさつ ・5月の行事予定について ・令和5年度の因島支所体制について（報告） ・理事及び監事の推薦について ・「いきいき大学」に関するアンケートについて ・その他
5月24日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・6月の行事予定について ・令和5年度地域福祉事業計画（因島支所）について ・令和5年度世帯会費の協力依頼について ・敬老会説明会及び会長会議の日程について

	<ul style="list-style-type: none"> ・その他
7月5日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・7月・8月の行事予定について ・表彰候補者の推薦について ・ケアネットフォーラム因島(第2層協議体)について ・その他
8月22日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・9月の行事予定について ・敬老会の実施計画について ・共同募金の配付資材希望数の集約について ・生活支援体制整備事業・第3層の取り組みについて ・その他(意見交換等)
9月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・10月の行事予定について ・第2層・第3層協議体のうごきについて(報告) ・共同募金の取組み(予定)について ・その他
10月25日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の行事予定について ・第3層協議体のうごきについて(報告) ・共同募金運動について(街頭募金活動の予定) ・その他
11月27日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の行事予定について ・街頭募金活動について ・第68回広島県社会福祉夏季大学視聴について ・第2層協議体および第3層協議体のうごきについて ・その他
12月25日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・1月の行事予定について ・共同募金の実施状況について(因島支所管内) ・「ケアネットフォーラム因島」の報告 ・第3層協議体の報告 ・夏季大学視聴について ・その他
1月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・因島支所の組織体制について(報告) ・2月の行事予定について ・令和5年度地区社協自主事業に対する配分金交付のための調査依頼提出について ・共同募金の実施状況について(因島支所管内) ・能登半島地震における義援金募集について(石川、新潟、富山、福井) ・生活支援体制整備事業(第2層・第3層)のうごきについて ・小地域ネットワーク推進事業実践発表について ・その他
2月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の行事予定について ・生活支援体制整備事業(第2層・第3層)のうごきについて ・報告事項 ・その他
3月22日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の行事予定について ・理事会(3/15)の報告について

	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金の実績額（因島分）について ・「ケアネットフォーラム因島」の報告 ・第3層協議体の報告 ・報告事項 ・その他
--	---

オ 瀬戸田地域

開催日	内 容
5月29日（月）	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市社協 令和5年度事業計画について ・生活支援体制整備事業について ・地区社協関連事業について ・令和5年度世帯会費及び戸別共同募金の依頼について ・地区社協 令和4年度事業報告書・決算書及び令和5年度事業計画書・予算書の提出について ・尾道いきいき大学のアンケートについて ・その他
7月14日（金）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会について ・生活支援体制整備事業について ・その他
10月4日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の事業完了について ・共同募金（街頭募金）について ・生活支援体制整備事業について ・第52回おのみち福祉まつりについて ・令和5年度尾道市社会福祉大会について ・その他
1月16日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度共同募金の実績について ・せとだでくらそう会アンケート調査の実施について ・その他
3月5日（火）	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度共同募金の配分状況について ・生活支援体制整備事業について ・その他

③ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて肥料をやり、草取りを行った。

イ 地域づくり講演会

地域住民とNPO法人が連携した取り組みを紹介し、地域の中でこういった活動団体と連携し、何ができるかを考える良い機会となった。

開催日	場 所	内 容	参加者
-----	-----	-----	-----

6月13日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、向島愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	演題 「尾道の空き家を活用したまちづくり」 講師 NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト 代表 豊田雅子さん	99名
----------	---	--	-----

④ 地区社協事業（自主事業）

尾道市内の全63地区社協で地域住民を対象とした社会参加、高齢者支援、子育て支援、広報等の自主事業が取り組まれた。

- ・58地区では、福祉健康まつり、スポーツ大会、清掃活動等の地域交流及び社会参加の取組が行われた。
- ・41地区では、地区内の高齢者を対象とした配食サービス、一人暮らし高齢者の見守り活動や食事会の開催、勉強会の実施等、高齢者福祉に関する取組が行われた。
- ・28地区では、登下校時のあいさつ運動、子どもの料理教室、生物観察会、稲刈りや野菜の収穫体験等、児童福祉に関する取組が行われた。
- ・45地区では、避難訓練や防災講座の開催、防犯パトロール等の見守り活動が行われた。
- ・29地区では、地区社協だよりの発行等による広報活動が行われた。

(2) ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年度 169 カ所が登録。新型コロナウイルス感染は5月に感染症法上の位置づけが2類相当から5類へ移行したことを受け、これまで遵守項目に沿った活動をお願いしていたが、各サロンの状況に応じ、感染予防に留意し実施していただくことをお願いし、ほぼ従来通りの活動に戻っている。サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行った。

旧尾道地域 29,138 名 (R4 年度 27,266 名)、御調地域 3,884 名 (R4 年度 3,365 名)、向島地域 6,026 名 (R4 年度 4,661 名)、因島地域 8,287 名 (R4 年度 7,920 名)、瀬戸田地域 2,695 名 (R4 年度 1,865 名)、合計 50,030 名 (R4 年度 45,077 名) がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年3回の専門講師を派遣した。内訳は、音楽指導 118 回、民謡指導 26 回、栄養指導 3 回、絵手紙指導 32 回、運動指導 98 回、お手玉指導 6 回、南京玉すだれ指導 16 回、ちんどん指導 32 回、メディカルアロマ指導 11 回、バルーンアート指導 5 回、ハーバリウム指導 10 回、チョークアート指導 6 回、陶芸指導 14 回、オカリナ指導 10 回、司法書士講座 3 回の計 376 である。これらの取組みによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防に寄与することができた。

また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	藤原信枝さん、杉原ともみさん、鮎本英治さん、幡地玲子さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、田中友紀さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、宮本孝子さん、河田尚子さん 柏原美保子さん
民謡指導	シルバー人材センター民謡同好会
栄養指導	なかの薬局
絵手紙指導	高畦八重子さん、あおかげの会
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原 潔さん
メディカルアロマ指導	田中早苗さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
ハーバリウム指導	高垣亜希子さん
陶芸指導	三島 博さん
オカリナ指導	きんもくせいの会
司法書士（遺言等）の講座	村上司法事務所

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

向島兼吉地区「兼吉 4 丁目サロンすみれ」、因島三庄地区「ふれあいサロンハッスル」、

「小用サロンの会」が新しく立ち上がった。

イ 郊外サロンの支援

郊外サロン助成金を利用したサロンは 88 サロンとなった。

ウ 支援体制

支援員は年間に 190 回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報などの発信、ニーズに応じた支援等を行った。今年度はこまめな訪問を行い、ボランティア、参加者の話を伺った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会を開催し、6/29（向島）・6/30（御調）・7/3（旧尾道）・7/4（因島）・7/5（瀬戸田）で、ふれあいサロンボランティアによる事例発表と、貸出レクリエーション道具の体験を行った。2/26（向島）・2/28（御調）、2/29（因島）・3/1（旧尾道）・3/4（瀬戸田）で、防災グッズカードゲームを実施した。

【成果】

- ・ ボランティア、参加者ともサロンの必要性を再認識することができた。
- ・ サロン支援員が各サロンへ出向くことにより、地域の様子をよく知ることができ、他の職員へ連携を図り、社協事業の推進へ繋がった。

【課題】

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛となったことで、事業展開の再検討の必要性のほか、サロン参加者のモチベーションや体調維持に懸念が生じる。

ふれあいサロンの開催状況一覧（令和6年3月末現在）

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数	
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	毎月1回	269
	今免北	ふれあいサロンピーチ	星の里 山波の家	毎月1回	237
	東 谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	毎月1回	100
新高山全域	さくらんぼ	いきいきサロン新高山	毎月1回	371	
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保 いきいきサロン防地	毎月1回	417
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	毎月1回	259
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	毎月2回	486
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	毎月1回	276
筒湯	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	毎週1回	365
		筒湯ふれあいサロン	いきいきサロン筒湯	毎月1回	324
長江		サロンひなたぼっこ	いきいきサロン筒湯	毎月1回	107
	全 域	ながえの集い	長江公民館	毎月1回	380
	和加礼・長江北	槇ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン槇ヶ峰	毎月1回	220
全 域	商店街サロンどんぐりの会	もりあげ隊	毎週1回	558	

		商店街サロンコスモス	もりあげ隊	毎月2回	274
		商店街サロン家族の会	もりあげ隊	毎月1回	259
栗原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	毎月1回	215
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	毎月1回	134
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	毎月1回	183
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	毎月1回	291
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	毎月1回	93
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	毎月1回	136
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	毎月1回	347
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	毎月2回	699
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	毎週1回	387
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	毎週1回	454
栗原北	三美園団地	三美園団地ふれあいサロン ひだまり	いきいきサロン三美園	毎月1回	348
	竹屋団地	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	毎月1回	0
	大迫団地	大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	毎月1回	250
	三美園住宅自治会	ふれあいサロン気楽	三美園団地住宅自治会集会所	毎月1回	0
	松 岡	松岡サロン	いきいきサロン栗原北	毎月1回	70
	三成ヶ丘	ふれあいサロン三成ヶ丘	三成ヶ丘町内会集会所	毎月1回	0
	松岡団地	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	毎週2回	630
	日比崎	天満、下組 南 本通り第1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	年間6回
三軒家南 ・北若宮		ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	年間6回	166
吉浦、巖通 新浜東 西之華		ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	年間6回	122
全 域		松ぼっくり	松ぼっくり	週2回	553
全 域		モリンガ	モリンガ	週3回	1071
平 原		平原はつらつサロン 平原ぼかぼかサロン	平原コミュニティセンター 西願寺分所	毎週1回 毎月1回	566 85
吉和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	毎月1回	198
	全 域	いきいきサロン吉和	いきいきサロン吉和	毎月1回	172
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	毎月1回	129
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	毎月1回	171
三成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館 ・山方公民館ほか	毎月1回	230
	才 原	なごみサロン	才原なごみ館	毎週1回	790
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	毎週1回	512
	下組・猪子 迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	毎週1回	599
木頃	全 域	ふれあいサロンきごろ	いきいきサロン木頃	毎月1回	264
	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	毎週1回	328
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	毎月1回	100
木ノ庄西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	毎月1回	211
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	毎月1回	233
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	毎月1回	146
	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	毎月1回	91
原田	小 原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	毎月1回	173
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A原田支所	毎月1回	220

高須	全 域	鶴羽会	東部公民館	毎月2回	490
		高須男性サロン	大田ふれあい館ほか	毎月1回	131
	太 田	太田ふれあいサロン	大田ふれあい館	毎月1回	177
	横 路	およねサロン	横路公民館	毎月1回	231
西 藤		西藤のつどい	福田ふれあい館	毎月1回	360
浦 崎	戸 崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	毎月1回	278
	上 組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	毎月1回	232
	下 組	サロン住吉	下組区クラブ	毎月1回	285
	灘	いきいきサロンなだ	灘区クラブ	毎週1回	489
	満 越	満越いきいきサロン	満越クラブ	毎月1回	248
	新 田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	毎月1回	128
	海 老	海月ふれあいサロン	海老公民館	毎月1回	101
	高 尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	毎月1回	189
向 東	矢 立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	毎週1回	712
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦一コミュニティセンター	毎月1回	254
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	向島リーフ	毎月1回	199
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上三区公民館	毎週1回	746
	肥 浜	ふれあい、いきいき「サロン」ひばま	肥浜公民館	毎月1回	167
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	毎月1回	140
	谷 水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	毎月1回	191
	堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	毎週1回	499
	森 金	ふれあいサロン森金	森金公民館	毎月1回	193
	寺 内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	毎月1回	217
	新 開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	毎週1回	807
	天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	毎月1回	0
	歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	ほぼ毎日	3673
	大 町	コミュニティ大町	大町公民館	毎月1回	241
	古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	毎月1回	108
	才 越	才越ふれあいサロン	才越公民館	毎月1回	186
	古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	毎月1回	866
	百 島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	年間7回	205

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
菅野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	年間6回	117
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	毎月1回	31
	大塔タンポポ	大塔集会所	毎月1回	132
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	概ね月1回	263
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	毎月1回	140
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	毎月1回	149
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	概ね月1回	315
	平なごみ会	平集会所	概ね月1回	96
	すみれ会江国	江国会会堂	毎月1回	275
河内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	概ね月1回	338
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	毎月1回	186
	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	毎月1回	325
今津野	きらく会	今津野公民館	概ね月1回	256
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	毎月1回	164
綾目	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	概ね月1回	188
大和	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	毎月1回	119
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	毎月1回	71
全域	にこにこサロン	市公民館	毎週1回	719

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
兼吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	毎月1回	356
	兼吉4丁目すみれ	4丁目公民館	毎月1回	173
江奥	文化サロン	ひだまり交流館	毎週1回	1,078
	イキイキ広場	ひだまり交流館	毎月1回	187
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館 ・烏帽子公民館	概ね月1回	50
東富浜	東富浜1・2区にこやか ふれあいサロン	東富浜公民館	年間6回	205
	東富浜3区いきいきサロン	東富浜3区コミュニティ センター	毎月1回	199
小歌島	さざなみ	サロンおかじま	毎月1回	328
中富浜	ふれあいいきいきサロン 「なかよし会」	中富コミュニティセンター	毎月1回	755
西富浜	西富浜ふれあいサロン	西富浜ふれあい交流センター	毎月1回	402
田尻	田尻いきいきサロン和楽	田尻公民館	毎月1回	58
土井	いきいきサロン土井	土井公民館	毎月1回	131
宇立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	毎月1回	171
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	毎月1回	163
有道	有道ふれあいいきいきサロン	有井公民館	毎月1回	135
津部田	津部田地区ふれあい いきいきサロン	津部田コミュニティセンター	毎月1回	262
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	1386
立花	立花いきいきサロン	いきいきサロン立花「和」	毎月1回	118

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地 区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ほぼ毎日	1,399
	語ろう会	安郷区民館	毎月1回	130
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	毎月1回	146
	すずの会	郷区会館	毎月1回	218
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会所	毎月1回	170
	土生健康サロン	土生公民館	毎月2回	659
田 熊	さわやかホーム	田熊公民館	毎月1回	397
	ひよこ会	竹長区民会館	毎月2回	476
	サロン絆	金山区民館	毎月1回	115
	サロンなごみ	西区区民館	毎月1回	212
三 庄	三庄サロン	三庄公民館	毎月1回	177
	ふれあいサロンハッスル	ふれあいセンター	毎週1回	459
	小用サロンの会	小用会館	毎月1回	216
	サロン棕浦	いきいきサロン棕浦	毎月1回	119
	千守サロン	千守地藏堂	毎月1回	278
	8区愛互会サロン	8区会館	毎月1回	145
	九区サロン	九区会館	毎月1回	177
中 庄	ふれあいサロン「たんぼぼ」	中庄公民館	毎月1回	482
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	毎月1～2回	304
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	毎月2回	164
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	偶数月	178
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	偶数月	148
	サロン外浦	外浦町集会所	偶数月	203
	サロン室陣	室陣集会所	毎月2回	451
重 井	喜楽会	重井公民館	毎月1回	171
	つどいの家	重井公民館	毎月1回	197
	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	毎月1回	128
大 浜	ラビット	大浜公民館	毎月1回	81
東生口	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	毎月1回	73
	レディサロン	いきいきサロン東生口	毎月1回	118
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	毎月1回	96

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地 区	サロン名	開催場所	開催回数	参加人数
名 荷	いきいきサロン名荷	名荷公民館	毎月1回	205
林	いきいきサロン	林公民館	毎月1回	286
中 野	つくし会	中野集会所	毎月1回	196
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	毎月1回	140
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	毎月1回	168
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	毎月1回	232
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	毎月1回	244
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	毎月1回	228
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	毎月1回	205
田高根	田高根なぎさ会	田高根なぎさ園	毎月1回	126
荻	荻 福々会	荻南風園	毎月1回	223
宮 原	ほのぼの会	生口島開発センター	毎月1回	131
御 寺	レインボー	御寺集会所	毎月2回	311

(3) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行及び日常的な金銭管理の援助や通帳の預かり等の支援をした。

生活支援員等のスキルアップや交流等を目的に、県社協主催の生活支援員等養成研修に2日間参加し、専門員及び生活支援員のスキルアップやモチベーションの向上に努めた。

今年度は、契約件数が増加し、関係機関等に役割の重要性が期待されている。今後も複雑な問題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりにあった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深め、契約締結審査会等も有効に活用して相談機能を強化していく。

① 相談・支援状況 (令和6年3月末現在)

問い合わせ・契約者対応件数・・・8,484件			
契約終了者	新規契約者	利用者(内生活保護)	生活支援員
8名	17名	69名(26名)	28名
利用者内訳	認知症14名、知的障害33名、精神障害19名、その他3名		
	旧尾道地域40名、御調地域3名、向島地域7名、因島地域14名、瀬戸田地域4名、福山市1名		

② 研修会等

ア 職員研修等

開催日	内 容	参加者
6月19日(月)	令和5年度かけはし事業推進会議・法人後見事業推進会議(県社協主催)	1名
8月18日(金)	自立支援型地域ケア会議	1名
8月23日(水)	施設利用説明会	1名
9月5日(火)	令和5年度第2回かけはし事業推進会議(県社協主催)	1名
12月4日(月)	令和5年度第3回かけはし事業推進会議(県社協主催)	1名
12月19日(火)	令和5年度家事関係機関との連絡協議会(オンライン)	2名
12月19日(火)	ひだまり運営推進会議	1名
12月26日(火)	令和5年度かけはし専門員・法人後見担当者等研修	1名
1月15日(月)	尾道市介護支援専門員協会研修会(WEB)	1名
1月30日(火)	市町社協かけはし事業担当課長等会議	1名
3月19日(火)	オレンジネットワーク会議	1名
3月22日(金)	尾道市地域共生包括化推進会議(権利擁護部会)	1名

イ 支援員研修

開催日	内 容	参加者
① 12月21日(木)	令和5年度かけはし事業生活支援員等養成研修	27名
② 1月23日(火)	2日間開催(広島県社協主催・オンライン)	

(4) 法人後見事業

法人後見人として4件受任している。その内、今年度は、新たに1件受任し、成年被後見人が安心して生活が送れるよう支援を進めている。

① 受任件数 (令和6年3月末現在)

補助	保佐	後見	法人後見支援員
0名(件)	0名(件)	4名(件)	6名
利用者内訳	認知症高齢者3名、知的障害者1名 尾道地域1名、向島地域2名、因島地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数39回、訪問回数36回、電話対応回数195回、ケア会議・同行・窓口対応等113回、死後事務0件 支援員：銀行支援回数20回、訪問回数10回、電話対応回数12回、ケア会議・同行・窓口対応等13回		

② 新規受任件数・終了件数

内訳	後見等新規受任件数(件)				後見等終了件数(件)				終了理由
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	
	1	0	0	0	0	0	0	0	

③ 研修会等への参加

関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。

- ア 令和5年度第1回かけはし事業・法人後見事業推進会議
- イ 令和5年度かけはし専門員・法人後見担当者等研修
- ウ 令和5年度第2回法人後見事業推進会議
- エ 第21回成年後見制度推進団体連絡会議
- オ 令和5年度中核機関体制整備に向けた市町研修会
- カ 令和5年度家事関係機関との連絡協議会
- キ 尾道市地域共生包括化推進会議(権利擁護部会)

(5) 認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者や介護している家族等に対し、やすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、支援を必要としている人に情報が伝わるよう事業の周知を図った。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、利用者本人の生きがい感の向上、家族の心身のリフレッシュに繋がった。また、やすらぎ支援員研修会を開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図った。あわせて2カ月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

訪問にあたっては、前年度からの「訪問にあたっての遵守項目」を継続。引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知し、年間を通して事業の推進を図った。

区 分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合 計
年間利用者数(人)	64	9	10	14	10	107
年間活動実績回数	789	113	158	186	91	1,337
登録やすらぎ支援員(人)	59	18	15	8	14	114

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
8月25日(金)	総合福祉センター、 他4会場	回想法の勉強会 「傾聴の技法と効果について」 参加者 29名
9月1日(金)	総合福祉センター、 他1会場	認知症の基礎知識 「認知症サポーター養成講座」 参加者 18名
1月26日(金)	総合福祉センター	認知症高齢者見守り事業について～現状報告～ 意見交換・交流会 参加者 26名

※9/25は、総合福祉センター、御調保健福祉センター、向島愛あいセンター、因島福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をつないだりモート開催

※9/1は、因島福祉保健センターでも開催。御調保健福祉センターでは9/8に開催

② やすらぎ支援員養成講座

開催日	場 所	内 容
8月4日(金)	総合福祉センター、 他3会場	「尾道市の高齢者の現状と課題について」 講師：尾道市高齢者福祉課 「認知症高齢者見守り事業とは」 講師：尾道市社協地域福祉課 参加者 47名
8月25日(金)	総合福祉センター、 他4会場	「回想法」 ～懐かしい記憶から引き出す生きがい、生きる力～ 講師：神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科教授 津田理恵子さん 参加者 110名
9月1日(金)	総合福祉センター、 他1会場	「認知症の基礎知識」～認知症の理解・接し方・予防～ 講師：尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会 参加者 100名
9月8日(金)	総合福祉センター、 他3会場	「事例発表」～やすらぎ支援員として活動して～ 講師：やすらぎ支援員 「やすらぎ支援員登録について」 講師：尾道市社協地域福祉課 参加者 72名

※8/4は、総合福祉センター、御調保健福祉センター、因島福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの4会場をつないだりモート開催

※8/25は、総合福祉センター、御調保健福祉センター、向島愛あいセンター、因島福祉

保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をつないだリモート開催

※9/1は、因島福祉保健センターでも開催。御調保健福祉センターでは9/8に開催

※9/8は、因島福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターでも開催

御調保健福祉センターでは9/22に開催

③ 認知症講演会

開催日	場 所	内 容
11月16日(木)	市民センター 一むかいしま文化ホール	内容：認知症にやさしいまちづくり講演会 「先手必勝！認知症の早期発見と対応」 ～認知症になっても、幸せに地域で暮らすために～ 講師：井門ゆかり脳神経内科クリニック 院長 井門 ゆかりさん 参加者約115名

④ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容	参加者
4月25日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「尾道市の高齢者のための在宅福祉サービスについて」 介護者同士の情報交換・交流会	17名
6月27日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「高齢者施設の種別について」、介護者同士の情報交換・交流会	17名
8月29日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「消費者トラブルについて」、介護者同士の情報交換・交流会	23名
10月24日(火)	総合福祉センター	介護の日イベント「日常生活での介護技術のポイントについて」「認知症の症状の理解」	33名
12月19日(火)	総合福祉センター	ミニ講話「認知症と物忘れの違いについて」 介護者同士の情報交換・交流会	17名
2月27日(火)	総合福祉センター	「介護体験発表」・交流会 若年性認知症の人と家族のつどい 「くつろぎ花❀花」 代表 升谷 千津子さん	37名

【成果】

- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上につながることができた。
- ・ 家族の話し相手として訪問し、介護者に心の余裕が生まれ笑顔が見られるようになった。
- ・ やすらぎ支援員研修会を開催し、事業目的や成果の確認を通して、やすらぎ支援員の活動意欲の向上につながった。

- ・ 2カ月に1回「在宅介護者の集い」を開催し、介護者の日頃のストレスを発散し悩みや思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返るよい機会となった。

【課題】

- ・ やすらぎ支援員派遣依頼件数の増加にともない、新規やすらぎ支援員とともに活動のない既存支援員の掘り起こしをおこなっていく必要がある。
- ・ 認知症の基礎知識や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図っていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員やケアマネジャーとの連携、情報交換を密に行い、チームの一員としての視点をもてるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。

(6) 認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が940名誕生し、市内の認知症サポーターは合計21,440名となった。また、小・中・高等学校においても認知症サポーター養成講座に取り組み、260名の学生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計5,923名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催し、講座の振り返りとともに講座内容の検討をおこなう等スキルアップを図った。

年間77講座を開催し、そのうち年間72講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。また、会場が狭く寸劇披露が出来ない会場では、撮影したDVDを用いて講座を実施し認知症の理解を図った。

認知症サポーター養成講座終了後には、おのみち見守りネットワーク徘徊等SOS情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカー等について情報発信し普及啓発に努めた。あわせて『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間60名の登録があり累計489名となった。

キャラバン・メイトが、オレンジカフェの開催やおのみち見守り訓練、オレンジネットワーク会議、認知症にやさしいまちづくり講演会、オレンジカフェ連絡会、チームオレンジの整備等に積極的にに関わり、認知症事業推進の一翼を担った。

講座開催にあたっては、引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で開催していただくよう周知し、年間を通して事業の推進を図った。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内77カ所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
4月13日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、研修部会、総会について	9名

5月 1日(月)	役員会	8名
5月 1日(月)	研修部会①(声掛け訓練の練習)	9名
5月 11日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、寸劇の練習について	11名
5月 30日(火)	研修部会②(ロールプレイ原稿読み合わせ)	6名
6月 1日(木)	総会&尾道グループと因島グループの交流会	21名
6月 1日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、研修部会について	19名
6月 23日(金)	研修部会③(寸劇「わたしのおばあちゃん」一人用台本読み合わせ)	8名
7月 13日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定について	12名
7月 28日(金)	研修部会④(寸劇ロールプレイ読み合わせ)	6名
8月 10日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、研修部会について	8名
8月 30日(水)	研修部会⑤(寸劇「わたしのおばあちゃん」読み合わせ・練習)	6名
9月 14日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、見守り訓練について	11名
9月 27日(水)	キャラバン・メイトの活動、研修部会について	3名
10月 12日(木)	新版「認知症サポーター養成講座標準教材」発行のお知らせ、活動の振り返り、今後の活動予定について	6名
11月 9日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、見守り訓練、認知症にやさしいまちづくり講演会について	9名
11月 29日(水)	新テキストの内容検討会	6名
12月 14日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、新テキスト内容共有、チームオレンジステップアップ研修について	7名
1月 11日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、チームオレンジについて	9名
2月 8日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、令和6年度ふれあいサロンへの講師派遣依頼、第6回認知症カフェ連絡会について	8名
3月 14日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、活動の振り返り、今後の活動予定、第6回認知症カフェ連絡会振り返り	10名

【因島グループ】

開催日	内 容	参加者
5月 18日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、学校講座の依頼について	9名
8月 10日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、アルツハイマーデーについて	7名
10月 27日(金)	活動の振り返り、今後の活動予定、新版「認知症サポーター養成講座標準教材」発行のお知らせ、認知症にやさしいまちづくり講演会について	9名

12月 7日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定等について	6名
2月 29日(木)	活動の振り返り、今後の活動予定、令和6年度ふれあいサロンへの講師派遣依頼について	12名

③ 認知症啓発イベント活動

開催日	内 容 等
9月1日(金) ～30日(土)	世界アルツハイマーデー月間パネル展示啓発活動 のぼり旗、認知症啓発グッズなど提供連携

④ 認知症関係事業への参加協力

開催日	場 所	内 容 等	参加者
11月8日(水)	道の駅クロスロード みつぎ、広島銀行御 調支店	御調地区見守り訓練(北部圏域)	25名
11月27日(月)	星の里にしぎこの家 駐車場、グループホ ームなでしこ駐車場	西迫地区見守り訓練(西部圏域)	50名
2月15日(木)	瀬戸田福祉保健セン ター2階作業療法室	オレンジネットワーク会議(南部圏 域瀬戸田)尾道市の認知症施策と現 状について、グループワーク等	23名
3月19日(火)	因島医師会介護老人 保健施設2階ビロー ドの丘研修室	オレンジネットワーク会議(南部圏 域因島)尾道市の認知症施策と現状 について、グループワーク等	40名

⑤ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を受講した小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店等を認知症サポーター認定所として登録、ホームページに掲載。

登録認定所数：202カ所

【成果】

- ・ 地域や職域、学校等で認知症サポーター養成講座を年間77講座開催し、認知症について正しい理解を深めることができた。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く講座を実施することができた。

【課題】

- ・ 町内会等、きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 各学校での講座を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。
- ・ 「オレンジメイト」が、認知症カフェの開催やチームオレンジの取り組みなど、地域での活動に結び付くような働きかけを継続しておこなっていく必要がある。

【認知症サポーター養成講座 開催一覧】

(敬称略)

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数*		キャラバン・メイト
1	因	4月11日(火)	ふれあいサロンあじさい	新開研修所	○	37	5	連絡会(因島G)
2	向	4月11日(火)	シルバーリハビリ体操(向島)	愛あいセンター2階	○	42	18	連絡会
3	向	4月18日(火)	シルバーリハビリ体操(向島)	愛あいセンター2階	×	39	3	連絡会
4	瀬	4月19日(水)	微助っ人	瀬戸田光照苑	○	29	17	連絡会(因島G)
5	因	4月26日(水)	尾道市更生保護女性会	田熊公民館	○	67	41	連絡会(因島G)
6	尾	5月8日(月)	サロンきぼう	サロンきぼう	○	15	12	連絡会
7	御	5月11日(木)	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	○	15	5	連絡会
8	御	5月12日(金)	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	○	10	5	連絡会
9	尾	5月14日(日)	日比崎地区老人クラブ連合会	日比崎公民館	○	36	8	連絡会
10	御	5月15日(月)	御調西小学校6年生	6年生教室	○	20	12	連絡会
11	尾	5月18日(木)	オレンジカフェ長江	長江公民館	×	17	5	松山慎太郎
12	向	5月24日(水)	サロンなかよしこよし (スキルアップ)	宇立公民館	○	20	0	連絡会
13	御	5月26日(金)	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	○	43	15	連絡会
14	尾	6月7日(水)	ふれあいサロン梶山田	旧JA原田出張所	○	30	18	連絡会
15	尾	6月14日(水)	鶴羽会	東部公民館	○	24	6	連絡会
16	因	6月14日(水)	ふれあいサロンハッスル	三庄ふれあいセンター	○	16	10	連絡会
17	御	6月16日(金)	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	○	20	6	連絡会
18	瀬	6月27日(火)	なでしこ会	垂水垂幸園	○	18	11	連絡会
19	尾	7月3日(月)	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	○	29	5	連絡会
20	尾	7月4日(火)	三美園団地ふれあいサロン ひだまり	いきいきサロン三美園	○	30	18	連絡会
21	向	7月5日(水)	めだかの学校	めだかの学校	○	38	10	連絡会
22	向	7月11日(火)	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	○	23	10	連絡会
23	御	7月12日(水)	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	○	20	15	連絡会
24	尾	7月14日(金)	尾道南高等学校	長江公民館1階会議室	○	52	45	連絡会
25	尾	7月15日(土)	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	○	33	10	連絡会
26	因	7月15日(土)	大浜地区社会福祉協議会	大浜公民館	○	45	34	連絡会(因島G)
27	尾	7月16日(日)	ヤングボランティアスクール	総合福祉センター2階会議室	○	87	72	連絡会
28	尾	7月21日(金)	いきいきサロン高尾	高尾集会所	○	20	7	連絡会
29	尾	7月25日(火)	旭ふれあいサロン	人権文化センター	○	30	17	連絡会
30	尾	7月26日(水)	太田ふれあいサロン	太田ふれあい館	○	20	9	連絡会
31	尾	8月3日(木)	ふれあいサロン矢立	いきいきサロン矢立	○	25	4	連絡会
32	尾	8月5日(土)	ふれあいサロン歌	歌公民館	○	27	6	連絡会
33	御	8月22日(火)	丸河南ふれあいサロンなごみ	丸河南集会所	○	21	2	連絡会
34	御	8月23日(水)	すみれ会江国	江国公会堂	○	25	5	連絡会

35	因	8月24日(木)	ふれあいサロンたんぽぽ	中庄公民館	○	46	26	連絡会(因島G)
36	瀬	8月28日(月)	高根ふれあいサロン	高根潮香園	○	28	4	連絡会(因島G)
37	因	9月1日(金)	因島会場	因島総合福祉保健センター	○	31	10	連絡会(因島G)
38	尾	9月1日(金)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	○	46	20	連絡会
39	御	9月8日(金)	御調会場	御調保健福祉センター	○	18	5	連絡会
40	尾	9月16日(土)	向東会場	サンボル尾道分館	○	22	12	連絡会
41	尾	9月19日(火)	浦崎中学校3年生	浦崎中学校音楽室	○	23	16	連絡会
42	因	9月28日(木)	サロンなごみ	西区区民会館	○	22	10	連絡会(因島G)
43	御	10月3日(火)	川上辺ふれあいサロン	川上辺公民館	○	29	18	連絡会
44	因	10月11日(水)	へんろ茶屋	へんろ茶屋	○	16	3	連絡会(因島G)
45	御	10月12日(木)	サロンうぐいす	川西集会所	○	18	1	連絡会
46	尾	10月13日(金)	フレンド大宮	いきいきサロン久保	○	29	1	連絡会
47	向	10月14日(土)	西富浜サロン	西富浜ふれあいセンター	○	34	12	河原順子
48	尾	10月18日(水)	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	○	15	3	連絡会
49	尾	10月22日(日)	吉浦さくらクラブ(老人会)	いきいきサロン吉浦	○	42	28	連絡会
50	尾	10月25日(水)	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	○	16	2	連絡会
51	尾	10月26日(木)	(株)サンキ尾道支店	サンキ尾道支店	×	9	6	川原奨二
52	瀬	11月7日(火)	レインボー	御寺集会所	○	24	18	連絡会(因島G)
53	因	11月8日(水)	因島高等学校	因島高等学校	○	20	14	連絡会(因島G)
54	尾	11月10日(金)	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	○	20	7	連絡会
55	尾	11月14日(火)	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	○	26	7	連絡会
56	因	11月17日(金)	大浜老人クラブ連合会	いきいきサロン大浜	○	41	14	連絡会(因島G)
57	尾	11月22日(水)	商店街サロンどんぐりの会	商店街サロン	×	15	5	小林富美子
58	瀬	12月5日(火)	名荷いきいきサロン	名荷公民館	○	22	4	連絡会(因島G)
59	尾	12月7日(木)	尾道刑務支所 篤志面接委員協議会	尾道刑務支所	○	9	8	河原順子
60	因	12月13日(水)	因北小学校4年生	因北小学校	○	49	44	連絡会(因島G)
61	因	1月15日(月)	サロン外浦	外浦集会所	○	37	5	連絡会(因島G)
62	尾	1月19日(金)	久保さくら会	いきいきサロン防地	○	40	6	連絡会
63	因	1月19日(金)	九区サロン	九区会館	○	24	2	連絡会(因島G)
64	御	1月23日(火)	御調中央小学校6年生	音楽室	○	35	29	連絡会
65	尾	2月2日(金)	ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	×	14	2	河原順子
66	尾	2月5日(月)	尾道福祉専門学校1年生	尾道福祉専門学校	○	29	22	連絡会
67	尾	2月6日(火)	久山田町内会	中央公民館久山田分館	○	16	7	住田八重 (西部地域包括)
68	因	2月8日(木)	さわやか会	田熊公民館	○	36	5	連絡会(因島G)
69	瀬	2月13日(火)	林いきいきサロン	林公民館	○	31	5	連絡会(因島G)

70	尾	2月16日(金)	則末ふれあいサロン	栗原公民館	○	24	18	連絡会
71	瀬	2月20日(火)	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	○	22	15	連絡会(因島G)
72	尾	2月21日(水)	才越ふれあいサロン	才越公民館	○	16	12	連絡会
73	御	2月21日(水)	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	○	14	1	連絡会
74	向	3月6日(水)	三幸小学校3～4年生 保護者関係者	三幸小学校 体育館	○	53	40	連絡会
75	尾	3月9日(土)	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	○	33	6	連絡会
76	瀬	3月12日(火)	荻福々会(スキルアップ)	南風園	○	20	0	連絡会(因島G)
77	尾	3月25日(月)	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	○	20	1	連絡会
				計		72	2,157	940
								計

注. *参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(7) 認知症カフェ推進事業

認知症の人ができるだけ住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、様々な主体が地域で自主的に運営する認知症カフェの取り組みを推進する事業。今年度は、新たな認知症カフェが1カ所開設し、合計30カ所の認知症カフェが開設。主催者内訳は、地域住民主催が20カ所、介護事業所主催が5カ所、医療機関主催が5カ所となる。

年間310回の認知症カフェを開催し、合計6,177名の参加があった。その内、4,881名が実績助成金交付対象者に該当し、一人当たり100円の実績助成金を交付した。

講座開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されたことを受け、「認知症カフェ開催にあたっての遵守項目」を廃止し、各カフェの状況に応じ引き続き基本的感染防止対策等を講じた上で開催していただくよう周知し、年間を通して事業の推進を図った。

今年度開催したカフェは、市内全30カ所の内、介護事業所主催の1カ所を除く29カ所である。

① 新規認知症カフェの立ち上げ支援

開設検討会議を開催し、今年度西部圏域に「オレンジカフェ吉浦」が1カ所新規開設。同じく西部圏域で「やまびこカフェ」(久山田)も開設検討会議を行い4月に新規開設予定。北部圏域では1カ所、介護事業所が開設を検討中。

名 称	開設日	開催日	場 所
オレンジカフェ吉浦	3月17日(日)	第3日曜日	いきいきサロン吉浦

② 既存認知症カフェの支援

年間75回各認知症カフェに出向き、カフェの運営や反省会等、開設運営方法等についての側面支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、主催者や参加者の安心・安全につながっている。

③ 認知症カフェ開催に向けての支援

開催日	場 所	内 容 等	参加者
11月17日(金)	御調保健福祉センター	オレンジカフェおお〜いでの今後の活動について	5名

④ 認知症カフェ連絡会

開催日	内 容 等	参加者
1月25日(木)	東部圏域オレンジカフェ連絡会 会場：高須町西新涯町内会集会所 内容：東部圏域オレンジカフェの活動状況について 意見交換・交流会	22名
3月4日(月)	第6回尾道市オレンジカフェ連絡会 会場：尾道市総合福祉センター4階 大会議室 内容：新規オレンジカフェの紹介、意見交換・交流会 チームオレンジの取り組みについて	76名

⑤ 認知症カフェ普及啓発活動

開催日	内 容 等	参加者
9月21日(木)	出張カフェ（歌声カフェ） 会場：重井公民館 内容：世界アルツハイマー月間にあわせ、公民館にて周知啓発、パネル展示	34名
10月28日(土)	出張カフェ（オレンジカフェひだまり） 会場：市民センターむかいしま 内容：むかいしま健康福祉まつりにて、カフェの周知啓発	27名

⑥ おのみち福祉まつりパネル展示

福祉まつりでのパネル展示を初めて試み、29か所のカフェの内12か所から展示希望あり。

開催日	内 容
10月15日(日)	内容：各カフェの取り組み紹介（12カ所） 【北部圏域1件】ありがとう三成 【東部圏域3件】菜の花カフェ、シニア・カフェ西しんがい、駅かふえ 【西部圏域1件】オレンジカフェ福祉センター・友 【中央圏域2件】やすらぎカフェ、きららカフェ 【向島圏域3件】オレンジカフェこれから、オレンジカフェひだまり オレンジカフェ天女浜 【南部圏域（因島）2件】しまの輪カフェ、歌声カフェ

【成果】

- ・ 地域住民主催の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの拠点となっている。さらに、軽度認知症と思われる人に支援者が早くに出会う場となっている。
- ・ 医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした勉強会や相談機能の充実が図られている。
- ・ 認知症カフェ連絡会やオレンジネットワーク会議を通して、カフェの意義や目的の再確認とともに、運営方法等について改めて振り返ることができた。
- ・ 各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催に繋がっている。

【課題】

- ・ 各包括圏域別や主催者別の交流会を細やかに開催し、認知症カフェの意義、目的の再確認をおこなうとともに、主催者の士気向上を図っていく必要がある。
- ・ 新規カフェ開設に向けて、引き続き地域包括支援センターと連携していく必要がある。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
①	オレンジカフェ長江 (明德町内会・ケアホーム長江)	第3木曜日 13:30~15:00	長江公民館1階会議室 (尾道市長江二丁目10-34)	137
		無し		
②	菜の花カフェ (チームオレンジ菜の花)	第4月曜日 10:00~11:30	小林宅 (尾道市高須町3794)	199
		100円		
③	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院)	第4木曜日 13:30~15:00	御調保健福祉センター2階機能訓練室 (尾道市御調町市107-1)	163
		100円		
④	オレンジカフェ商店街 (尾道市認知症の人と家族の会)	第1・2金曜日 13:00~15:00	本通り もりあげ隊 内 (尾道市土堂二丁目3-29)	320
		無し		
⑤	オレンジカフェむかいしま♥愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00~12:00	向島愛あいセンター (尾道市向島町5888-1)	353
		100円		
⑥	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30~15:00	尾道市総合福祉センター1階和室 (尾道市門田町22-5)	386
		100円		
⑦	シニア・カフェ西しんがい (高須町西新涯町内会)	第2金曜日 13:30~15:30	高須町西新涯町内会集会所 (尾道市高須町西新涯)	270
		100円		
⑧	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00~14:30	こころ尾道駅前クリニック6階 (尾道市土堂一丁目11-6)	180
		100円		
⑨	オレンジカフェむかいひがし	第3月曜日 10:00~11:00	サンボル尾道 2階会議室	419

	(オレンジメイトむかいひがし)	100円	(尾道市向東町8670-2)	
⑩	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	毎週火曜日 14:00~15:00 (お一人様約30分/祝日:休み) 無し	電話とオンライン(ZOOM・LINE) による開催 (尾道市久保町1718)	88
⑪	レモンカフェ (ボランティアレモン)	第4金曜日 13:00~15:00 無し	出口宅 (尾道市瀬戸田町垂水1411-1)	104
⑫	オレンジカフェびんご倶楽部びんご茶屋 (有)ブレイクスルー びんご倶楽部)	不定期 無し	びんご倶楽部 (尾道市因島三庄町3472)	0
⑬	因島医師会ビロードカフェ (一社)因島医師会)	第4土曜日 13:30~15:00 100円	ビロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町1955)	256
⑭	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00 100円	澤田宅 (尾道市御調町貝ケ原72-2)	161
⑮	オレンジカフェおお〜いで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:00 100円	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹611-4)	19
⑯	きららカフェ (きららラポール尾道)	第3木曜日 13:30~15:00 100円	きららラポール尾道 (尾道市十四日町59-8)	51
⑰	かぐら 浦崎カフェ (オレンジメイトかぐら)	第1火曜日 10:00~11:30 100円	浦崎公民館 (尾道市浦崎町2102-5)	255
⑱	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:00 100円	ケアホームひだまり (尾道市因島中庄町3805-1)	150
⑲	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日 13:30~15:00 100円	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根595)	206
⑳	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30 100円	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島1498-1)	334
㉑	ひかりカフェ原田 (福)原田ヒカリ会 高齢者総合ケアセンター ひかり苑)	第3水曜日 15:00~16:00 無し	住宅型有料ホームひかり苑 (尾道市原田町梶山田3581-1)	224
㉒	カフェ「集」 (医療法人社団 精彩会)	第3土曜日 13:30~15:00 100円	地域ネットワークコミュニティ「集」 (ニチエー三成店敷地内)	165
㉓	オレンジカフェひだまり (オレンジメイトひだまり)	第1木曜日 13:30~15:00 100円	江奥コミュニティセンター(ひだまり交流館) (尾道市向島町1919-2)	255
㉔	オレンジカフェみにみに (オレンジメイトみにみに)	第2木曜日 10:00~11:00 無し	寺内公民館 (尾道市向東町2621-1)	185
㉕	歌声カフェ (歌声カフェ運営委員会)	第3木曜日 13:30~15:00 100円	重井公民館 (尾道市因島重井町2978)	211
㉖	オレンジカフェ天女浜	第3木曜日 13:30~15:00	天女浜公民館	199

	(オレンジメイトはごろも)	無し	(尾道市向東町天女浜9225-2)	
⑳	駅かふえ (ボランティアはなみずき)	第3金曜日 10:00~11:30	東部公民館高須南分館	408
		1000円	(尾道市高須町4750-2)	
㉑	オレンジカフェサンサンくぼ (久保地区社会福祉協議会)	第2火曜日 10:00~11:40	いきいきサロン久保	306
		1000円	(尾道市西久保町24-23)	
㉒	ありがとう三成 (オレンジメイトありがとう)	第1水曜日 10:00~11:30	中国鍼灸ビル1階	134
		1000円	(尾道市美ノ郷町三成874-1)	
㉓	オレンジカフェ吉浦 (チームオレンジ吉浦)	第3日曜日 13:30~15:00	いきいきサロン吉浦	39
		1000円	(尾道市吉浦町26-16)	

※ 令和6年3月末現在/開設の早い順に記載

(8) 尾道市チームオレンジ整備事業

令和5年度より新規事業として受託した。認知症になっても安心して自分らしく暮らし続けることができる共生の地域づくりを推進することを目的に、認知症の人や家族のニーズ・困りごとに対して、認知症サポーターや本人・家族、地域、専門職等が一緒になって考え、支援をつなぐ仕組みである「チームオレンジ」を地域ごとに整備する事業。

市内では、チームオレンジとして令和4年度から準備していた「チームオレンジ菜の花」が令和5年度に正式登録をおこない、他3チーム「チームオレンジやまびこ」、「チームオレンジ吉浦」、「チームオレンジひだまり」とともに、令和5年度4カ所のチームオレンジが整備された。

4カ所のチームオレンジの総活動回数は128回(個人102回、地域26回)、総活動者数は727名(個人207名、地域520名)。

登録順	登録年月日	チーム名称	包括圏域
①	10月1日(日)	チームオレンジ菜の花	東部圏域
②	2月6日(火)	チームオレンジやまびこ	西部圏域
③	2月18日(日)	チームオレンジ吉浦	西部圏域
④	3月1日(金)	チームオレンジひだまり	中央圏域

① 尾道市との協議

チームオレンジ登録票やチームオレンジ構成員名簿、活動記録、活動報告書、チームオレンジ整備の進め方、各機関の役割イメージ(市・包括・社協との連携)、啓発チラシ、チームオレンジ立ち上げ目標等について連携会議をおこない、事業推進に向けての基盤を固めた。

開催日	場 所	内 容	参加者
4月19日(水)	総合福祉センター	第1回尾道市との協議	5名
5月9日(火)	尾道市役所	第2回尾道市との協議	5名
5月31日(水)	尾道市役所	第3回尾道市との協議	5名
9月14日(木)	尾道市役所	第4回尾道市との協議	6名

② 「チームオレンジ菜の花」の取り組み

菜の花カフェを拠点に準備を行い、チームオレンジを整備

ア チームオレンジ事前説明会・立ち上げ検討会議の開催（令和4年度6回）

イ ステップアップ講座の受講（令和4年10月24日）

ウ 活動内容

・個人：自宅訪問・傾聴、電話、相談、専門機関へのつなぎなど

・地域：菜の花カフェの開催、笑食の会の開催

エ 延活動回数100回（個人81回、地域19回）

オ 延活動者数486名（個人165名、地域321名）

カ リーダー会議（3カ月に1回）の開催（4回）

③ 「チームオレンジやまびこ」の取り組み

オレンジカフェ（認知症カフェ）開設にあたり、チームオレンジを整備

ア チームオレンジ事前説明会・立ち上げ検討会議の開催（4回）

イ ステップアップ講座の受講（令和6年2月6日）

ウ 活動内容

・地域：やまびこカフェの開催（令和6年4月2日オープン予定）

④ 「チームオレンジ吉浦」の取り組み

オレンジカフェ（認知症カフェ）開設にあたり、チームオレンジを整備

ア チームオレンジ事前説明会・立ち上げ検討会議の開催（3回）

イ ステップアップ講座の受講（令和6年2月18日）

ウ 活動内容

・地域：オレンジカフェ吉浦の開催（令和6年3月17日プレオープン）

エ 延活動回数1回（地域1回）

オ 延活動者数28名（地域28名）

カ リーダー会議（カフェの振り返りを兼ねて月1回）の開催（1回）

⑤ 「チームオレンジひだまり」の取り組み

サロン「ひだまり防地」を拠点に、チームオレンジを整備

ア チームオレンジ事前連携・事前説明会・立ち上げ検討会議の開催（3回）

イ ステップアップ講座の受講（令和6年3月1日）

ウ 活動内容

・個人：自宅訪問・傾聴、電話、声かけ、専門機関へのつなぎなど

・地域：サロン「ひだまり防地」「フレンド大宮」「さくら会」の開催、
「オレンジカフェサンサンくぼ」の開催

地域づくり研修会への参加

エ 延活動回数27回（個人21回、地域6回）

オ 延活動者数213名（個人42名、地域171名）

カ リーダー会議（毎月1回）の開催（2回）

【成果】

- ・ チームオレンジ整備事業の周知啓発を図り、4カ所のチームオレンジの整備に繋がった。
- ・ チームを組むことで、より一層の連帯感の深まりとともに、お互いに気にかけて支え合う意識が醸成された。
- ・ 訪問や傾聴、電話、声かけ等を通して、認知症の人及び家族の支援ニーズを把握し、早期からの継続支援につながっている。

【課題】

- ・ リーダー会議等を継続し、引き続き伴走支援をおこないながらチーム員の士気向上を図っていく必要がある。
- ・ カフェ開催（地域活動）を目的に立ち上がったチームオレンジについては、地域の心地よい居場所となるよう継続した支援を行うとともに、その居場所を通じた取り組みから認知症の人及びその家族の支援ニーズを把握し、個人の支援につながるよう働きかけていく必要がある。
- ・ 新たなチームオレンジの整備に向けて引き続き地域包括支援センターなど各関係機関と連携していく必要がある。
- ・ 啓発チラシ等を活用し、チームオレンジ整備事業の周知啓発をおこなっていく必要がある。

[チームオレンジ登録一覧]

包括圏域	地域	番号 (登録順)	登録年月日	チーム名 (運営母体)	活動拠点	活動内容
東部圏域	高須	①	R5.10.1	チームオレンジ菜の花	小林宅	【個人】 自宅訪問・傾聴、電話、見守り、声かけ、相談、専門機関へのつなぎなど
				(菜の花カフェ)		【地域】 菜の花カフェ、笑食の会(各月1回)
西部圏域	久山田	②	R6.2.6	チームオレンジやまびこ	中央公民館 久山田分館	
				(やまびこカフェ)		【地域】 やまびこカフェ (月1回)
西部圏域	吉浦	③	R6.2.18	チームオレンジ吉浦	いきいき サロン吉浦	
				(オレンジカフェ吉浦)		【地域】 オレンジカフェ吉浦 (月1回)
中央圏域	久保	④	R6.3.1	チームオレンジひだまり	いきいき サロン防地	【個人】 自宅訪問・傾聴、電話、見守り、声かけ、相談、専門機関へのつなぎなど
				(久保地区社会福祉協議会)		【地域】 サロン「ひだまり防地」「フレンド大宮」「さくら会」(各月1回) オレンジカフェサンサンくぼ(月1回) 地域づくり研修会への参加

※令和6年3月末現在

(9) 住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士で互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員とサービス会員が、直接利用料を授受することとし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、買い物等）、外出支援、草取り等の利用が多かった。またゴミ捨ての依頼も多く、独居でゴミ捨てに行かれないなど、在宅で生活を送る上での課題を抱えた世帯が増えている。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	118名	サービス回数	延1,760回
利用会員登録者	216名	サービス時間	延2,461時間

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方や障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行などで一時使用される方などに介護器具等の貸し出しを行った。

【延べ貸出数】

器具の種類	本所	御調	向島	因島	瀬戸田	計
車椅子	161	46	42	25	58	332
ポータブルトイレ	8	1	11	1	—	21
チャイルドシート ジュニアシート	21	4	2	12	11	50
杖	3	0	—	—	—	3
計	193	51	55	38	69	406

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、司法書士を毎月各1回）を実施した。また、毎週月曜日に実施している傾聴ボランティア「コスモス」による「こころの悩みごと相談」では、コロナ禍に対する対応も兼ねて電話相談の受付を継続した。その他、日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

相談事項	件数	相談件数明細	
		電話(件)	来訪(件)
暮らし・ 住まい	生計	0	0
	日常生活	30	8
	年金	0	0
	職業・生業	3	3
	住宅	1	1

					〔専門相談の実績〕		
家族	家族	4	0	4	内 訳	弁護士相談	24 件
	離婚	1	0	1			
健康・医療	健康、衛生	0	0	0			
	精神保健福祉	1	0	1			
法律	人権、法律	15	0	15		合計	41 件
	財産	24	0	24			
	事故	0	0	0			
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0	0	こころの悩みごと 相談	38 件	
	教育・青少年	0	0	0			
	心身障害者（児）	0	0	0			
	母子・父子福祉	0	0	0			
	高齢者福祉	0	0	0			
	社会参加	0	0	0			
その他		0	0	0			
合計		79	22	57			

《こころの悩みごと相談員養成講座》

こころの悩みごと相談員の養成を目的とした講座を全3回企画し、傾聴ボランティア「コスモス」会員、みらいサポーター及び一般市民が参加し、延べ58名の受講があった。

養成講座では、傾聴の知識や技術を講義やロールプレイ、座談会形式で学んだ。

養成講座全体を通して、参加者同士のコミュニケーションを図ることができ、お互いの傾聴スキルを高め合える交流の場となった。また、ロールプレイの中で参加者自身が相談者の立場を体験し、改めて傾聴について振り返る機会となった。

日時	内容	講師
2月15日（木）	傾聴について【基礎編】	臨床心理士 浮田明子さん
3月7日（木）	傾聴について【応用編】	臨床心理士 浮田明子さん
3月14日（木）	傾聴について【実践編】 ロールプレイ・座談会	臨床心理士 浮田明子さん

(12) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により生活に困っている方、働きたいけど働けない等不安を抱えている方、誰にも頼ることが出来ず悩み事をひとりで抱え込んでいる方などの自立に向けた相談支援を行うため各種関係機関と連携した支援を実施した。また、経済的な困窮だけに関わらず、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、生活の安定と自立に向けた自立相談支援及び家計改善支援を行った。

相談対応実績		年間合計
相談対応件数（延べ件数）		4,580
（内訳）	電話相談・連絡	1,428
	訪問・同行支援	782
	面談	1,027
	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	998
	他機関との電話照会・協議	

	その他	345
所内会議		12
支援調整会議（プラン策定及び評価実施）		1
新規相談受付件数（総数）		243
プラン作成件数（総数）		1
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		5
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	4
	一時生活支援事業	0
	家計改善支援事業	2
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	1
その他	生活福祉資金等による貸付	5
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0
就労者数（一般就労総数）		11
うち就労支援対象プラン作成者分		0

【成果】

- ・今年度の新規相談件数は、243件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、社会的孤立の方への居場所支援や、長く失業している方や働いた経験の無い不安な方へ、ハローワークや働く人全力応援ステーション（はたすて）などと連携し就労支援を行った。
- ・就労相談の結果、11名の就労が決定した。また、税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して債務整理のため、弁護士事務所への同行支援や家計改善支援などのきめ細やかな支援を継続的に行い、家計改善に向かうことができた。その他、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へつなぐなど、他事業と連携した支援を行い適切な家計管理につなげることができた。
- ・生活困窮者支援の社協独自事業の充実を図るために生活困窮者特別支援事業「きりふだ」（緊急食糧等一時支援事業、リサイクル事業、フードバンク事業及び代用品レンタル事業）を実施した。その結果、緊急的な危機状況を回避するだけでなく、就労活動などが円滑に進むなどスムーズな生活の立て直しにつながった。
- ・「居場所につながる地域づくり」のテーマで居場所の新たな創出と運営者のつながり作りを目的に、くらしサポートセンターと子どもの居場所ネットワークが合同でシンポジウムを開催した。関心のある一般市民や福祉関係者など多くの参加者が相互に意見交換を行い、今後の活動のきっかけ作りにつながった。

【課題】

- ・相談件数の増加に伴い、相談員を増員したが相談員間のスキル差が生じないように職員の増員に加え、資質の向上を目指すことが必要である。
- ・複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例が増加の一途を辿っているため、職員の負担軽減を図る必要がある。その為には、多機関との連携体制のほか、予防的支援の仕組みを行政や関係機関と連携し社協ならではの強みを生かしたネットワークの充実を図る中で構築していくことが必要である。

(1) 生活困窮者特別支援事業「きりふだ」

令和3年度より新たな事業として、『き・り・ふ・だ』は、困窮状態により生活や生命の安全を図ることが困難である方を対象として始める。自立に対する意欲があるにもかかわらず、環境や物品が揃っていないが故に自立に向けた就労活動や家計改善、生活改善等が困難になっている方を一時的に事業で支えることで、自立に向けた生活環境（健康面含む）を整え、且つ就労活動範囲を広げるなど、生活や生命の安全を図り確実に自立へとつなげることを目的として行った。

※「き・り・ふ・だ」は「緊急食糧等一時支援事業」、「(生活用品)リサイクル事業」、「フードバンク事業」、「代用品レンタル事業」のひと文字目を取り命名した。

① 緊急食糧等一時支援事業

食べるもの等に困る一時的な生活困窮者・世帯に対して、食糧等を提供し、生活の自立に向けた緊急一時的な支援を行い、危機回避を図った。

(件)

	本所	御調支所	向島支所	因島支所	瀬戸田支所	合計
対応件数	20	2	4	6	5	37

② (生活用品)リサイクル事業

不要となった福祉(生活)用品を「譲りたい方(譲り渡し)」と「譲ってほしい方(譲り受け)」の橋渡しを行い、福祉(生活)用品の有効活用並びに生活困窮者の生活の安定を図った。

(件)

	譲りたい	譲ってほしい	合計
対応件数	11	8	19

③ フードバンク事業

スーパーや企業及びNPO団体から、フードバンクに寄付を受けた食糧等を無償提供し、生活の自立や継続的な福祉活動の実施につなげ地域福祉の向上を図った。

(件)

提供件数	406
------	-----

④ 代用品レンタル事業

生活の維持や就労活動に必要な物を代用品としてレンタルし、生活維持と就労活動を円滑に進め、生活環境の一時的な安定を図った。

(件)

内訳 対応件数	自転車	炊飯器	電気ポット	電子レンジ	カセット コンロ	合計
本所	1	0	0	0	1	2
因島支所	0	0	0	0	0	0

(2) 居場所づくり事業

相談者の「自分たちの悩みを共有できる居場所がほしい。」との声を受け、コミュニケーションの機会や仲間づくりができる場（居場所）として2カ月に1回の頻度で『なごやかカフェ』を開催した。また、「女性ならではの悩みや話ができる場がほしい。」という要望を受け、女性限定の「おのみち女子会『クローバー』」を毎月開催した。

① なごやかカフェ

様々な原因により社会とのつながりが希薄な状況にある方々が、「地域で自分らしく生活していくこと」を目指し、同じような状況にある人同士が集まり悩みや情報の共有を行う場を提供した。幅広い年齢層のボランティアスタッフと協力して運営した。

回数	開催日	参加者数	内容
第1回	4月26日(水)	2名	レクリエーション、藍の苗植え
第2回	6月28日(水)	3名	持光寺散策
第3回	8月29日(火)	2名	藍染
第4回	10月25日(水)	0名	ストレッチ
第5回	12月25日(月)	1名	しめ縄づくり
第6回	2月28日(水)	6名	クッキング(クレープ)

【成果・課題】

同じ悩みを持った仲間と協働して活動する中から、徐々に人とのコミュニケーションを図ることができた。参加者が自分のペースで参加ができるようボランティアとも意識統一を図り、安心して参加しやすい場になるよう取り組んだ。10年程ひきこもり状態であった方がカフェを通して、他者とかかわり、外に出るきっかけにもなり、就職へつながった。就職した方にも、安心して一息つける場があるとのつながりを伝え、就職後も安心できるつながりの場として運営した。一方で、参加者が集まらず中止になることもあったため、周知方法に工夫が必要である。

② おのみち女子会「クローバー」

コロナの影響が和らぎ、予定していた全12回の開催ができた。自らの経験やつらい思い、女性特有の問題、悩みなどを女性同士で語り合い、思いを共有する。お互いの経験を「話す・聞く」をくり返しながらか気持ちがふっと軽くなるつどいの場を目指して当事者スタッフと協力し、運営した。

回数	開催日	参加者数	内容
第1回	4月14日(金)	6名	散策、花見
第2回	5月12日(金)	5名	フリートーク
第3回	6月9日(金)	3名	フリートーク
第4回	7月14日(金)	5名	フリートーク
第5回	8月18日(金)	2名	フリートーク
第6回	9月8日(金)	5名	フリートーク
第7回	10月20日(金)	2名	フリートーク
第8回	11月17日(金)	2名	フリートーク、寄付・募金
第9回	12月8日(金)	4名	フリートーク、クリスマス会
第10回	1月12日(金)	4名	フリートーク
第11回	2月9日(金)	3名	フリートーク
第12回	3月8日(金)	4名	フリートーク

【その他】

- ・ おのみち福祉まつりへの参加・・・ポップコーン販売
- ・ 尾道市総合福祉センター一斉清掃への参加

【成果・課題】

参加者からの「行きたい気持ちはあるけど体が動かない。」「参加しないことに罪悪感が残る。」との声を受け、参加しやすい取り組みとして、オンライン参加を実施した。

オンライン参加者からは、「行けなくても雰囲気を感じられてよかった。」との声があった。また、出欠連絡についても利用登録者にメールで開催のお知らせと参加の有無確認を2～3日前に行い、選択肢を「参加・オンライン参加・検討中・不参加・その他」と工夫をしたことで、回答しやすいと好評で、継続的な参加につながった。

女子会のその他の活動として、地域の行事や総合福祉センターの清掃活動に参加したことで、参加者の自信となり、積極的に個々の課題に取り組むようになった。

さらに、LINE公式アカウントでは、SNSを活用することにより、支援情報等を必要とする当事者に、確実に情報を発信できるようなネットワークの構築を図った。

(13) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援及び生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業と連携し、相談者に適切な支援を提供することに努めた。

令和5年度よりコロナ特例貸付の相談については、コロナ特例貸付フォローアップセンターで相談対応を行っている。

12月より生活福祉資金業務システム(PC)を導入し、借受人世帯の償還状況などを直接確認できるようになった。

① 相談・申請件数

相談件数	376件
決定件数	5件

② 決定件数内訳

総合支援資金	福祉資金	緊急小口資金	教育支援資金	不動産担保
0件	3件	1件	1件	0件

(14) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業

令和5年4月より、コロナ特例貸付フォローアップセンターを開設し、コロナ禍の影響により経済的に困っている方への貸付(コロナ特例貸付)の借受人世帯を対象としたフォローアップ支援を行った。特例貸付に関わる相談だけに限らず、生活全般での困りごとや課題に対して、関係機関との連携を行い、きめ細やかな相談支援を行うよう努めた。

借受人からの相談支援対応だけでなく、世帯の生活状況を把握することを目的として、年2回のアンケートや訪問などのアウトリーチ支援で借受人世帯の課題やニーズを掘り起こすよう努めた。

また2週間に1回の支援担当者の内部会議を開催し、訪問、面談状況や広島県社協からの情報の共有を行った。

① 相談・支援状況

(令和6年3月末現在)

相談対応実績		年間合計
相談対応件数(延べ件数)		3,871
(内訳)	電話相談	962
	面談	653
	訪問	574
	文書	1,666
	その他	16

② 現況報告実施状況

コロナ特例貸付の借受人世帯の現況確認を目的として、年2回（3月、11月）に借受人全世帯に現況報告のアンケートを送付した。文書、電話だけではなく、Google フォームなどを活用し、より回答しやすいような工夫も行った。

現況報告に相談希望の有無の項目を入れ、相談希望ありと回答があった世帯には、くらしサポートセンター等と連携しながら相談支援を行った。

<回答状況>

	発送数	回答数	回答率	相談希望数
3月発送	599	165	28%	31名
11月発送	577	252	44%	44名

③ 尾道市生活困窮者応援給付金

8月1日より、尾道市から特例貸付の免除者、猶予者を対象とした尾道市生活困窮世帯応援給付金支給事業の業務委託を受け、給付金の受付業務を行った。

給付金申請者の受付業務（面談等）を通して、コロナ特例貸付の借受人の世帯状況の把握や支援ニーズの掘り起こしを行い、支援が必要と思われる世帯には、くらしサポートセンターと連携し、相談支援につなげた。

<申請受付件数>

（令和6年3月末現在）

申請件数	内 訳	
298件	免除者 236件	猶予者 62件

④ 研修・説明会・訪問協議

日時	内 容	場 所
6月5日（月）	第1回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館
6月28日（水）	コロナ特例貸付フォローアップ支援訪問協議	尾道市総合福祉センター
8月25日（金）	フォローアップ相談支援研修①	広島県社会福祉会館
9月15日（金）	第2回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館
11月15日（水）	コロナ特例貸付フォローアップ支援訪問協議	尾道市総合福祉センター
12月21日（木）	第3回コロナ特例貸付償還促進説明会	広島県社会福祉会館
2月1日（木）	フォローアップ相談支援研修②	広島県社会福祉会館

【成果・課題】

- ・尾道市生活困窮者応援給付金の受付や現況報告を通して、一定数の借受人世帯と接触することができた。
- ・面談などで接触することができた世帯を除いた借受人世帯に対しては全ての世帯を訪問し、生活状況の把握に努めた。平日かつ日中の訪問ということもあり、訪問時に借受人本人と接触できたのは1割程度であったが、訪問することで家族から情報を得ることができたり、実際に訪問することで住所地に住んでいないこと、自宅周りの環境など現地に訪問することでしか得られない情報を得ることができた。自宅に不在だった世帯へ

は訪問後に電話を数回入れることで、連絡をとることができた世帯もあった。

反面、住所地に家がない、住んでいる形跡がない等住居を確認できない、電話でも連絡がとれない世帯が一定数あり、そのような世帯へ支援アプローチが課題として残っている。

- ・面談、訪問などを通して得た借受人の世帯情報から、借受人世帯状況や支援ニーズをアセスメントし、支援の優先度を尾道市独自の基準で整理した。整理方法は1件ずつケース検討を行い、フォローアップ支援に関わる職員で協議し決定した。支援優先度や個々のケースの状況に基づき、さらなる電話、面談、訪問など世帯によって効果的な方法を検討しアプローチを行った。

(15) 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして、尾道市は生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に委託し、内5圏域を本会が受託している。

令和3年度から、尾道市が、第2層協議体設立エリアについて、旧尾道地区は地区社協圏域に見直しをされ、これにより地域への取組がしやすくなってきている。

また、各圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めてきた。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、栗原・久山田地区で第2層協議体「あんしん栗原・久山田」を設立することができた。他地区においても西部地域包括支援センターと情報共有を図りながら、地区社協で説明会を実施した結果、吉和地区や栗原北地区では、地区社協等を中心に第2層協議体の設立に向けて協議、検討中である。

南部（因島）圏域では、第2層協議体「ケアネットフォーラム因島」の定例会を年4回開催した。また、昨年引き続き、地域づくり講演会を開催し、東広島市高美が丘町内会の実践発表を行ったところ、受講者数が増え、地域づくりの関心の高さが伺えた。第3層協議体のモデル地区である田熊地区、三庄地区では、定期的な例会を開催し、それぞれの生活課題から居場所づくりや朝市等の活動につながった。令和4年度から年4回発行している情報紙「こんにち輪（和）」では、地域の活動の様子や住民向けの福祉情報を掲載し、地域回覧や各種団体等に説明を行い、活動の周知啓発を図った。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）の御調エリアの協議体「いきいきみつぎの会」では、地域交通や高齢者活動などについて話し合うとともに、令和5年10月から、みつぎ乗合タクシーの実証運行の利用についての話し合いを行っている。また、美木中エリア（原田地区、木ノ庄東地区、木ノ庄西地区、木頃地区、三成地区）の第2層協議体「住み良くする会みきはら」では、住民アンケートをもとに連携しながら地域づくりを進めていこうと話し合いを継続している。

中央圏域では、久保地区において第2層協議体「支合せコネくぼ」を設立することができ、令和6年3月には久保ミニフェスタと、地域づくり研修会を開催した。また、山波地区や筒湯地区では、地区社協役員会や地域の集まりの場などで事業説明を行った。

南部（瀬戸田）圏域では、第2層協議体を「せとだでくらそう会」という名称で設立した。「せとだでくらそう会」の会議を3回開催し、瀬戸田町在住の75歳以上の方に各地区社協

の協力を得ながら、アンケート調査を行った。引き続き地域のニーズ把握や情報収集に努めるとともに、高根地区の買物支援もサポートしていく。

各圏域ともに、包括の介護予防・生活支援部会との合同会議を開催し、現時の取組状況や困っていることなどをお互いに報告し合い、改めて情報共有の重要性を認識したところである。

また、3市1町（三原市、尾道市、福山市、世羅町）の生活支援コーディネーター会議を開催し、それぞれの課題を共有しながら、お互いのスキルアップを図った。

【成果】

- ・ 新たに第2層協議体を3地区で設立できた。
- ・ 地域での見守り活動の意識向上が図られた。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業を重層的に行うことで、地域への働きかけや活動がつながりやすかった。
- ・ 地域の情報の共有を図り、地区社協行事等に参加するなかで、住民のコーディネーターへの認識が高まっている。
- ・ 情報紙の発行を継続することで、活動の周知啓発につながり、住民の地域づくりの意識を高めることにつながっている。
- ・ 地域づくり講演会による他市町の実践発表が活動の参考になり、意識醸成につながった。

【課題】

- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。
- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半である。若い人たちは、地域活動とは疎遠になりがちである。若い方を取り込む方策が引き続き必要である。
- ・ 本事業を進めていくにあたり、行政及び包括との連携は不可欠である。今後も各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。
- ・ 協議体の仕組みづくりが手探りの状態であり、今後、住民主体の運営方法及び第1層協議体とのつながりを構築していく必要がある。

(16) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催

① 第52回おのみち福祉まつり

昨年度同様、総合福祉センターが新型コロナウイルスワクチン接種会場となっていたため、規模を縮小して開催した。

日 時	10月15日（日） 9:00～12:00
場 所	尾道市総合福祉センター
内 容	○ 開式 加納会長による挨拶、副会長の紹介後、オープニングアトラクションとして、障害者福祉センター「楽しむハーモニカ教室」参加者によるハーモニカ演奏を行った。

	<ul style="list-style-type: none"> ○ オカリナ演奏 オカリナ同好会によるオカリナ演奏を事前に撮影し、ロビーの大型モニターで繰り返し上映した。 ○ 赤い羽根共同募金 各スタンプコーナーに赤い羽根共同募金の募金箱を設置し、PRと募金の協力を呼び掛けた。また、バルーン募金やガチャガチャ募金など新しく取り組み、たくさんの方の協力を得られた。 ○ 模擬店・即売会コーナー ボランティア団体や福祉事業所等7団体が出店し、バザーやお弁当等の販売を行った。また、子ども向けにスーパーボールすくいやポップコーンの販売、水消火器体験を行った。 ○ 作品展 尾道市内の老人クラブが作成した絵画や陶器等を展示した。また、児童福祉、高齢者、障害者施設等の利用者が作成した作品の展示や施設紹介のパネル展示をした。 ○ ボランティア体験コーナー 手話・点字・要約筆記等の体験コーナーを設けた。ハンディキャップ体験コーナーでは、車椅子体験、高齢者疑似体験により、多くの方にバリアフリーの認識を持って頂くきっかけとなった。 ○ 社協事業パネル展 事業ごとにパネルを作成し、社協事業の啓発を行った。 ○ その他 子どもいけばな展、絵本のへや、紙芝居コーナー、子育てサロンパネル展、授乳・おむつ替えコーナー、高齢者総合相談、障害者よろず相談、スタンプラリーなど
--	---

② 尾道市社会福祉大会等の開催

ア 尾道市社会福祉大会

永年にわたり福祉活動に功労のあった方等を表彰し、引き続き記念講演を行った。

日 時	11月21日(火) 13:30~14:00
場 所	尾道市民センターむかいしま文化ホール
内 容	<p>1 福祉功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈</p> <p>① 尾道市社会福祉協議会会長表彰 74名・1団体</p> <p>社会福祉協議会関係者 18名</p> <p>社会福祉施設・団体関係者 26名</p> <p>ボランティア(個人) 17名</p> <p>ボランティア(団体) 1団体</p> <p>特別功労者 13名</p>

	<p>② 尾道市社会福祉協議会会長感謝状 高額寄付者 12名6団体 匿名4名</p> <p>2 記念講演 「健康で笑顔のある毎日は、食卓から」 料理研究家・食プロデューサー 浜内千波さん 「シンプルな料理でも、手作りだと愛情につながる。心のこもった料理をお願いしたい。食べ物はすべてにつながっているので、元気な身体・病気の予防等、健康寿命を延ばす食事を意識しながら毎日笑える日々を過ごしてください。」と話された。 (参加者 140名)</p>
--	--

イ 広島県社会福祉大会

日 時	11月13日(月) 13:30~15:40
場 所	JMS アステールプラザ
内 容	福祉活動功労者表彰状の贈呈 広島県社会福祉協議会会長表彰 27名

ウ 全国社会福祉大会

日 時	11月15日(水) 13:00~15:00
場 所	浅草公会堂
内 容	福祉活動功労者表彰状の贈呈 全国社会福祉協議会会長表彰 4名

③ 第39回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10月28日(土)
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター
内 容	手話サークル「ひよこ」、朗読録音ボランティア「ひばり会」、おはなしラッコ、子育てほっとサポート、介助ボランティア「どんぐりの会」の5グループが、障害者体験コーナー・ボランティア体験コーナーを設け参加を呼びかたけた。また、ふれあいサロンや学校の活動状況のパネル展示を行った。

④ むかいしま健康福祉まつりへの参加

日 時	10月28日(土) 9時30分~12時30分
場 所	尾道市民センターむかいしま

内 容	<p>コロナ禍が続き、今年は、4年ぶりにむかいしま健康福祉まつりを開催した。今回は、出張オレンジカフェひだまりの協力により、オレンジカフェの啓発及び学びのコーナーとして、30分の講話を行った。</p> <p>ボランティア体験コーナーでは、80名の方が参加され、アイマスク、車いす、点字、手話、朗読の5つのコーナーをスタンプラリー方式により体験した。各活動状況として、いきいきサロン7カ所、オレンジカフェ3カ所によるパネル展示を行った。ボランティアバザーコーナーでは、遊休品や手作りの小物等を販売し、ボランティア活動の資金源を確保した。</p>
-----	---

⑤ 地区福祉健康まつりへの協力

日比崎地区で行われた福祉健康まつりへの協力として、ボランティアを派遣しての手話・点字・高齢者疑似体験コーナーの設置や防災グッズの展示等を行った。小学校を会場に開催され、地域住民同士の交流や福祉・健康等についての学びにつながる内容であった。

(17) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第287号～第292号を発行し、全世帯に配布して、地域福祉に関する情報の発信、各種行事の案内やボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページ

各種行事や教室の案内、職員募集、既存ページの更新など、必要に応じてタイムリーな情報発信を行った。

(18) 民生委員児童委員協議会との連携

連民児協会長会議に出席し、新任職員のあいさつ、市社協事業の説明、共同募金の協力依頼と実績報告、ボランティア保険の情報提供等を行った。また、尾道市内18区の単位民児協会議に各地域担当職員が出席し、連携を図った。

因島、瀬戸田地域では、月1回の因瀬会長連絡会議に市社協、南部地域包括支援センターの職員が出席し、地域課題の共有を図ると共に、情報の提供を行った。

(19) 福祉まるごと相談窓口事業

どこに相談すればいいかわからない、8050問題やダブルケアなど多くの課題を抱えて悩んでいらっしゃる方に相談員が寄り添い、関係機関へつなぐなど、解決に向けて取り組んだ。

単一機関だけでは解決が困難な複合化した課題の解決を図るために、多機関協働の円滑化を目的とした尾道市地域共生包括化推進会議(重層の支援体制整備移行準備事業)を設置し、本会議、実務者会議、個別ケース会議、課題解決会議等を開催した。

福祉まるごと相談窓口実績

相談件数	相談内容
44件	180項目（例示は次のとおり。） 病気、けが、障害（手帳有）、障害（疑い）、自殺企図、その他メンタルヘルス、住まいの不安定、経済的困窮、債務、家計管理の問題、就職活動困難、就職定着困難、生活習慣の乱れ、社会的孤立（ひきこもり含む）、家族関係、介護、子育て、不登校、非行、ひとり親、DV・虐待、外国籍、コミュニケーションが苦手、本人の能力の課題、その他（ごみ屋敷、8050問題など）

令和5年度 尾道市地域共生包括化推進会議 実績

	本会議	実務者会議	個別ケース会議	課題解決会議	事務局会議
4月					開催
5月	第6回	第12回	1ケース	第7回	
6月				第8回	開催
7月					開催
8月		第13回		第9回	開催
9月			1ケース		開催
10月		第14回		第10回	開催
11月	第7回		1ケース		開催
12月					開催
1月		第15回			
2月	第8回		1ケース	(↓権利擁護)	開催
3月		第16回		第1回	

■包括化推進会議

月日・会議名	内容
5月15日（月） 第6回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現にむけて ・尾道市の取り組み状況について ・尾道市地域共生包括化推進会議の実績から見る現状について
11月14日（火） 第7回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度各種会議の取り組み状況（中間報告）について ・尾道市重層的支援体制整備事業実施計画について
2月20日（火） 第8回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度の取り組みについて ・尾道市重層的支援体制整備事業実施計画について ・災害時個別避難計画について

■実務者会議

月日・会議名	内 容
5月15日（月） 第12回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生社会の実現にむけて ・尾道市の取り組み状況について ・尾道市地域共生包括化推進会議の実績から見る現状について
8月4日（金） 第13回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース会議に関する整理について ・課題解決会議の新テーマについて ・福祉まるごと相談会/研修交流会について
10月18日（水） 第14回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決会議「権利擁護」部会について ・研修交流会及び福祉まるごと相談会の開催について ・尾道市重層的支援体制整備事業実施計画について
1月16日（火） 第15回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・研修交流会及び福祉まるごと相談会の開催について ・個別ケース会議事例について ・尾道市重層的支援体制整備事業実施計画について
3月18日（月） 第16回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・研修交流会及び福祉まるごと相談会の開催結果について ・個別ケース会議事例について ・要支援者の個別避難計画について ・権利擁護部会における検討課題について

■個別ケース会議

開催月・地区ケース	参 加 団 体
5月 瀬戸田3人世帯	はなはな、じゃんぷ、三原わいわい工房、くらサポ、因島総合支所福祉係、瀬戸田交番、沢区長、民生委員副会長、瀬戸田地区保健師、社会福祉協議会瀬戸田支所
9月 御調1人世帯	弁護士、御調保健福祉センター、市健康推進課（こころサポート）、警察、東部保健所
11月 向島4人世帯	尾道市立向東小学校、尾道市立向東中学校、尾道市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、尾道市子育て支援課、尾道市社会福祉課保護係、東部こども家庭センター、尾道市社会福祉協議会向島支所、くらしサポートセンター尾道
2月 向島4人世帯	尾道市立向東小学校、尾道市立向東中学校、尾道市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、尾道市子育て支援課、尾道市社会福祉課保護係、弁護士、民生委員、主任児童委員、尾道市社会福祉協議会向島支所、くらしサポートセンター尾道

■課題解決会議

昨年度に引き続き「ひきこもり」をテーマとしたみらいネット会議を開催した。一定の方向性と支援の土台を形成する事ができたため、全10回をもって課題解決会議としては終了した。

そして、新たに「権利擁護」をテーマとした課題解決会議の立上げが本会議で決定したことを受けて、第1回の会議を開催した。

開催月・会議名	内 容
テーマ：ひきこもり	
5月22日（月） 第7回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター養成講座の開催 ・ひきこもりサポーターシンボルマークデザイン公募について ・みらいネット会議のあり方について ・ひきこもりサポーター養成テキストについて
6月26日（月） 第8回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・サポーター養成講座及びシンボルマークの広報について ・ひきこもりサポーター養成講座 ・ひきこもりサポーターシンボルマークデザイン公募 ・ひきこもりサポーター養成テキスト案について
8月9日（水） 第9回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーターシンボルマークの審査結果について ・ひきこもりサポーター支援パンフレット第2案について ・みらいネット会議のあり方について
10月4日（水） 第10回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりサポーター支援パンフレット第3案について ・今後のみらいネット会議の開催について ・意見交換（これまでの振り返り、今後の取組課題などについて）
テーマ：権利擁護	
3月22日（金） 第1回会議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共生包括化推進会議について ・中核機関・権利擁護センターの設置の動向 ・各関係機関の取り組みについて情報共有

■その他

開催月	内 容
2月29日（木） 福祉まるごと相談会 in 北部 つながる茶談会	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会「精神疾患・精神障害について」 ・支援機関の自己紹介 ・お茶を飲みながらの座談会
3月13日（水） 研修交流会 in 瀬戸田	<ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制整備事業について ・各分野事業（所）の紹介 ・他分野・多職種とのまるごと交流会

【成果】

- ・各種会議を運営していく中で、課題の複雑化に対応できる多機関協働の体制整備に向けた取り組みを行うことができた。
- ・課題が重度化する大きな要因の一つである「孤独・孤立」について、本事業のスキームが

中核となり取り組む形となり、内閣官房主催の「孤独・孤立シンポジウム」に登壇することで本事業について広く知ってもらいきっかけにつながった。

- ・試験的な取り組みとして実施した「研修交流会、福祉まるごと相談会」は、支援機関や地域住民がお互いの顔の見える関係構築のきっかけを作ることができた。
- ・重層的支援体制整備移行準備事業の最終年度において、次年度から本格実施に向けた実施計画の策定を行うことができた。

【課題】

- ・本事業の周知が十分に行えているとは言い難く、今後も継続して様々な媒体で広く各関係機関や地域住民に広報していくことが必要である。
- ・多機関に共通する課題も社会情勢の変化に伴い変わっていくため、改めて共通する課題の洗い出しを行っていくことが必要である。

(20) 尾道市ひきこもり支援ステーション事業

ひきこもりに関する相談対応、課題整理を行ない、ひきこもり状態にある当事者やその家族と一緒に、本人のペースを大切にしながら、寄り添った支援に取り組んだ。

高齢者福祉、障害福祉、保健医療及び教育委員会等の行政機関や公共職業安定所、包括支援センター、基幹相談支援事業所、若者サポートステーション、民生委員連合会及び学識経験者等の様々な関係者との連携によるネットワーク会議を開催し、尾道市におけるひきこもり支援ハンドブックを作成した。

広く市民にひきこもりに関する理解啓発を目的にひきこもりサポーター養成講座を開催した。サポーター養成講座開催に合わせて、尾道市ひきこもり支援シンボルマークデザインも公募し、市内の小中高等学校へもひきこもりについて早期段階から関心を持つきっかけとなるよう取り組んだ。

そして、ひきこもりの当事者・家族の支援に関わるサポーターの育成として、サポーター養成講座修了者を対象に「みらいサポーター（傾聴支援員）」養成研修を実施した。

また、従来のネットワーク会議（みらいネット会議）を全体会議として位置づけ、ひきこもりに関して抽出された課題の整理検討する検討部会（みらいネット会議コア会議）を新たに設置し、不登校からひきこもりにつながる課題をテーマに協議検討し取り組んでいる。

活動実績		年間合計
相談対応	実件数	45
相談対応	延べ件数	587
(内訳)	電話相談・連絡	120
	訪問・同行支援	144
	来所面談	230
	メール	54
	その他居場所支援、zoom面談等	39

課題解決会議（みらいネット会議） ※会議内容については、課題解決会議を参照。	4
みらいネット会議 コア会議	2
ひきこもり支援連絡会（情報共有、ケース検討）	6

●「尾道市ひきこもりサポーター養成講座」及び、「尾道市ひきこもりシンボルマークデザイン表彰式」

開催日時：8月24日（木）13：30～15：10

※15：10～15：30 ひきこもり支援シンボルマークデザイン表彰式

開催場所：総合福祉センター2階会議室（尾道市門田町22-5）

参加者：77名（10代：6名／20代：5名／30代：8名／40代：12名／50代：13名
60代：16名／70代：12名／80代：2名／不明：3名）

シンボルマークデザイン 応募総数59作品（年齢層5歳～69歳）

※尾道ケーブルテレビにおいて養成講座及び表彰式を放映。

内容：「ひきこもりってどんなこと？ ひきこもり状態の方とかかわる上で大切なことって何？」

講師：ノートルダム清心女子大学准教授 中井俊雄さん

「広島県内のひきこもりの状況を知る」

講師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課課長 河内広行さん

「尾道市のひきこもりの状況・今後の取り組みについて」

講師：尾道市ひきこもり支援ステーションみらサポ 係長 高橋望

●みらいサポーター養成研修 全4回

開催場所：総合福祉センター 4階 集団指導室（尾道市門田町22-5）

対象者：尾道市ひきこもりサポーター養成講座修了者

受講者：22名

開催日	内容
第1回 11月22日(水)	「傾聴支援員に関する基礎知識を学ぼう」 講師：ノートルダム清心女子大学准教授 中井俊雄さん
第2回 12月6日(水)	「傾聴支援活動を行うための対人関係スキルを学ぼう」 講師：尾道まなび村事務局長 加藤千政さん 傾聴支援コスモス会長 新谷恵さん 健康推進課専門員 黒飛史絵さん コーディネーター：尾道ひきこもり支援ステーションみらサポ 高橋望
第3回 12月20日(水)	「ひきこもり支援において大切にすること」 講師：広島ひきこもり支援センター東部サテライト 得能千佳さん
第4回	「傾聴支援・サポーター活動を知ろう」

12月27日(水)	<p>～当事者の声から、自分たちの活動について考えよう～」</p> <p>講師：どりいむスイッチ</p> <p>中村友紀さん、栗木原薫さん、石井貴紀さん</p> <p>コーディネーター</p> <p>ノートルダム清心女子大学准教授 中井俊雄さん</p>
-----------	--

【成果】

- ・ 今年度の相談対応延べ件数は587件であった。ひきこもり状態にある本人や、その家族に継続的な相談支援を実施した。
- ・ ひきこもりに関する正しい理解啓発として、県内初のひきこもりサポーター養成講座を開催した。養成講座開催にあたり、学校関係にも広報し、学生等の参加があり、ひきこもりに対する理解啓発として若い世代にも発信できた。
- ・ 尾道市ひきこもりシンボルマークを公募し、5歳から小・中・高・大学生、社会人、ご高齢の方まで幅広い年齢層の方が、デザインという形からひきこもりについて考えていただける機会になった。応募された方々のデザインに対するコメントから、ひきこもりについての様々なイメージがあることも把握できた。選ばれたデザインを尾道市ひきこもりサポーター修了者に缶バッジにし配布した。受講者がバッジを付けることで、周知の一環としても活用されるよう取り組んだ。
- ・ ひきこもり支援ネットワーク会議（みらいネット会議）において、ひきこもりサポーター向けのひきこもり支援ハンドブックを作成し配布した。
- ・ ひきこもりサポーター養成講座修了者を対象に、ひきこもり支援について学びを深め、支援にかかわっていきたい方を対象とした養成研修（みらいサポーター）も実施した。ひきこもり当事者や家族等に、サポーターであることが伝わりやすいよう、修了者には、活動時につけて頂くひきこもりシンボルマークのピンバッジを作成し配布した。

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業

行政、ハローワーク、尾道福祉専門学校、福祉施設、高等学校等と連携して尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議を開催した。会場に集まるのが難しい方も参加していただけるよう、オンラインやリモート形式を取り入れながら事業を展開した。また、人材定着率の向上を目的に「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」を開催し、昨年に引き続きコミュニケーションスキルの向上を目指した研修を行った。

ア 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議

年2回（6月、2月）を開催し、協議会の実施事業について、協議及び報告を行うとともに、委員同士の情報交換と交流を図った。

開催日	場 所	内 容	参加者
6月15日（木）	総合福祉センター	①令和4年度事業報告及び収支決算 ②おのみち福祉ツアー2023 Online について ③介護施設の管理者向け研修会について ④情報交換	11名
2月22日（木）	総合福祉センター	①令和5年度実施事業について ②令和6年度事業計画及び収支予算について ③情報交換	9名

イ 福祉・介護職理解促進説明会（福祉出前授業）の実施

福祉・介護を取り巻く現状を伝えるとともに、介護職のやりがい・魅力を発信した。

開催日	場 所	内 容	参加者
9月27日（水）	御調高等学校	演題：福祉出前講座 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	1年生 35名
2月2日（金）	尾道商業高等学校	演題：絶対介護時代 ～この時代を生きる全ての人たちへ～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	1年生 166名

ウ 「おのみち福祉ツアー2023 Online」の開催

高等学校の生徒、保護者及び教員に福祉職場に関する情報を発信することで、実情や魅力について理解を深めて頂き、一人でも多くの生徒が福祉職を進路の一つとして考えて頂けるよう開催した。

開催日	開催方法	内 容	参加者
7月26日(水)	オンライン	「保育・障害・高齢の3分野の施設」と「介護職員を養成する専門学校」について紹介し、職場の現状、仕事の魅力・やりがい、職員の声などを発信した。 【発表施設】 ①保育分野：社会福祉法人愛和会 ②障害分野：社会福祉法人若菜 ③高齢分野：社会福祉法人原田ヒカリ会 ④専門学校：社会福祉法人尾道さつき会 尾道福祉専門学校	6校7名 (生徒4名、 教員3名)、 県職員1 名、 福山市社 協1名

エ 「福祉・介護職員の管理職向け人材育成研修会」の実施

人材定着率向上のため、働きやすい職場づくりに必要な取り組みや、管理職と職員との円滑なコミュニケーションスキルについて、学びや気づきを促した。

開催日	場 所	内 容	参加者
11月24日(金)	総合福祉センター オンライン	講義：自分のコミュニケーションの特性を知ろう 職員との活発なコミュニケーションを図る方法 部下との面談の仕方のポイント 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	尾道市内の高齢者および障害者施設・事業所の管理職または管理者 26名

(2) 大学、専門学校等ソーシャルワーク実習生等の受け入れ

大学、専門学校から見学実習4名、ソーシャルワーク実習3名の実習生を受け入れた。

学 校 名	内 容	期 間	人 数
川崎医療福祉大学	施設見学	8月30日(水)	4名
穴吹国際みらい専門学校	ソーシャルワーク実習Ⅱ	12月5日(火)～12月21日(木) (8日間・60時間)	1名
福山平成大学	ソーシャルワーク実習Ⅱ	2月19日(月)～2月29日(木) (8日間・60時間)	2名

(3) 日本赤十字社講習会

ア 旧尾道地域…10月13日(金)栗原北地区、11月17日(金)吉和地区、2月8日(木)高須地区で、幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子が受講した。もしもの事故や怪我に備え、AEDの使用法や応急処置について学ぶことができた。

- イ 御調地域……7月6日(木)に保育ボランティアと養成講座受講生、13名が受講した。
0歳から3歳の幼児に起こりやすい事故や怪我への対応、誤飲の防ぎ方、AEDの使用方法について学ぶことができた。
- ウ 向島地域……10月20日(金)に向島地区で、幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子22名が受講した。応急手当の方法や気道に物が詰まった時の対処の仕方など、具体的に学ぶことができた。
また、子どもの誤飲についての勉強も行った。
- エ 瀬戸田地域…9月19日(火)に「生口島子育て支援センターはっぴい」と共催で、幼児安全法講習会を開催した。子育て中の親子と子育て支援に関わるボランティア16名が受講した。もしもの事故や怪我に備え、AEDの使用方法や応急処置について学ぶことができた。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア活動実践校事業

ア 指定校

各指定校は、コロナ禍でも工夫をしながら、清掃活動や花植え、地域住民との交流、共同募金活動などを行った。

(指定校)

小学校(18校)	長江小、土堂小、栗原小、吉和小、山波小、日比崎小、三成小、美木原小、西藤小、浦崎小、栗原北小、御調中央小、御調西小、高見小、向島中央小、三幸小、因島南小、瀬戸田小
中学校(9校)	長江中、栗原中、日比崎中、高西中、浦崎中、向東中、御調中、向島中、瀬戸田中

イ ボランティア実践校会議

(ア) 計画発表会

コロナ禍で令和2年度より中止していたが、3年ぶりにオンライン形式で実施した。今年度の活動計画や、地域と学校のつながりで心がけている事をテーマに、グループワークを行った。

(イ) 報告会

オンライン形式で実施した。今年度の取り組みや、工夫した点・困った点、来年度取り組みたい活動についてグループに分かれて共有した。

② 出前福祉教室の開催

ア 旧尾道地域

「体験」を通して高齢者・障害者理解を深めるために、ボランティアが講師として車イス・高齢者疑似体験・アイマスク(白杖)体験を実施。

- (ア) 浦崎中学校（9月29日（金））
生徒（3年生15名）を対象に、2グループに分かれ車イス・高齢者疑似体験とアイマスク（白杖）体験を行った。
- (イ) 浦崎小学校（2月27日（火））
生徒（4年生14名）を対象に、2グループに分かれ車イス・高齢者疑似体験とアイマスク（白杖）体験を行った。
- (ウ) 日比崎中学校「サバイバルプロジェクト」
（事前学習日：12月8日（金）、本番：12月11日（月））
日比崎中学校の防災学習「サバイバルプロジェクト」において、生徒（1～3年生90名）を対象に、視覚障害者・高齢者誘導体験学習の補助、見守りを行った。
事前学習では、視覚障害者・高齢者の誘導、介助方法を説明した。本番では、災害時を想定した障害物を設置し、アイマスク体験と高齢者疑似体験コースに分かれて体験した。

イ 御調地域

- (ア) 御調中央小学校（1月23日（火））
障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高めることを目的に、ボランティアを講師として、手話、朗読録音、アイマスク（白杖）、車椅子操作などの体験を、4グループに分かれ、（6年生27名）がスタンプラリー形式で体験した。
- (イ) 御調西小学校（5月15日（月））
高齢者や障害者の思いについて考え、福祉への関心を高めることを目的として、児童（6年生9名）を対象に、2グループに分かれ車イス・高齢者疑似体験とアイマスク（白杖）体験した。

ウ 向島地域

- (ア) 向島中学校（8月22日（火））
生徒（1年生107名）を対象に向島地域の福祉ボランティアについて知ろうというテーマにより向島で活躍している6ボランティア団体から活動内容を報告した。
福祉総合学習は、昨年度から向島地域でどのような人たちがどんな思いで、ボランティア活動をされているかを知り、地域のために自分ができる社会貢献について考えを深める学習をした。
- (イ) 三幸小学校ボランティア体験学習（10月24日（火））
児童（4年生16名）を対象に、朗読録音、手話、点字、点字ブロック、車椅子の4つのコーナーをスタンプラリー形式による体験をし、ボランティア意識の高揚と啓発を図った。
- (ウ) 高見小学校ボランティア体験学習
児童（5年生14名）を対象に、12月7日（木）車イス体験、12月8日（金）点字体験、12月11日（月）手話体験を各ボランティアサークルから活動体験を通じて、ボ

ランティアの方々の思いを知り、ボランティアのあり方について貴重な体験を学んだ。

(エ) 向島中央小学校ボランティア体験学習 (1月18日(木))

児童(3年生62名)・保護者を対象に、朗読、点字、手話、点字ブロック、車椅子の5つのコーナーを親子で体験し、人のやさしさや温もりを感じ取り、誰にでもやさしく接しようという意欲をもつとともに、社会の一員としてともに生きる社会を実現していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行った。

エ 因島地域

(ア) 因北小学校4年生(12月15日(金))

生徒(4年生42名)を対象に、因島で気持ちよく住み続けるための福祉体験の一環で、認知症の学習をした後、高齢者の体の動きについて、疑似体験と車椅子体験を行った。コロナ禍から久しぶりの出前福祉体験に子どもたちはとても熱心に学んでいた。

(イ) 重井中学校3年生(9月26日(火))

SDGsに関する調べ学習の中で、市社協の事業について電話でのインタビューを受けた。

(ウ) 重井小学校3年生(2月7日(水))

生徒(3年生17名)を対象に、高齢者の特徴や体の動きについて高齢者疑似体験グッズを使用して行った。車いす体験やアイマスクを装着して白杖で点字ブロックの移動を行い、貴重な体験から高齢者に対する理解が深まった。

オ 瀬戸田地域

(ア) 瀬戸田小学校(6月28日(水))

身体の不自由な方や障害のある方の体験を通して、福祉への関心を高めることを目的として、4年生60名を対象に、2グループに分かれ車イス・高齢者疑似体験、アイマスク(白杖)体験を行った。

③ 夏休みヤングボランティアスクール

今年度は、センター行事のボランティア体験に加え、コロナ禍で中止していた福祉施設でのボランティア体験を再開させた。高校生・専門学生・大学生を対象に、ボランティア体験を実施した。

日時	場所	行事	参加者
7月16日(日) 13:00~15:00	総合福祉 センター	事前説明会 (夏休みヤングボランティアスクール に参加する市内中学生・高校生・専門学 生に活動時の注意事項やボランティア 活動について説明を行った。)	79名

7月25日(火) 10:30~11:30	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「海のお仕事体験」	2名
7月27日(木) ①10:30~11:30 ②13:30~14:30	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ランプシェードを作ろう！」	①2名 ②2名
7月28日(金) 10:30~11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「モルックであそぼ〜！」	2名
7月29日(土) 13:30~14:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「世界最古のすごろく「セネット」を作ろ う！」	3名
8月1日(火) 10:30~11:30	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「ウン知育教室〜ウンチは健康のバロ メーター〜」	2名
8月2日(水) 10:30~11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「あみあみ手芸「サコッシュ」を作ろ う！」	2名
8月9日(水) 10:15~11:45	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「みんなで楽しくダンス！」	2名
8月10日(木) 10:30~11:30	総合福祉 センター	児童センター夏休みチャレンジ教室 「スクイーズを作ろう！」	2名
8月18日(金) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	総合福祉 センター	夏休み特別企画 「手作りなぞとき迷路に挑戦しよう！」	①4名 ②5名
8月19日(土) ①10:00~12:00 ②13:30~15:30	総合福祉 センター	夏休み特別企画 「手作りなぞとき迷路に挑戦しよう！」	①4名 ②4名

福祉施設体験

施設名称等	参加者
児童施設 (14施設)	51名
障害者施設 (4施設)	15名
高齢者施設 (3施設)	8名

④ Let's 食育！御調グループの取り組み

御調地区の関係団体（尾道市地域おこし協力隊、御調保健福祉センター、子育て支援センターみっけ、みつぎ子ども図書館「すくすく」、第11区主任児童委員、子育てオープンスペ

ース 0123、尾道市社会福祉協議会) の協働開催で1～3歳児までの親子を対象に「食」についての大切さを伝えた。

日 時	場 所	内 容	参加者
11月24日(金) 10:00～12:00	御調保健福祉センター	「Let's 米粉 de クッキング！」 ～楽しく美味しく作ろう～	7組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、地域の実情に応じた相談対応を行い、交流会の開催や情報発信等を通じてボランティアの育成や新規会員確保に取り組んだ。

(1) ボランティアセンターの運営(相談・派遣・ネットワーク・広報等)

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティアの新規活動希望や派遣依頼等の対応を行うとともに、ボランティア団体に向けた各種ボランティア情報の発信や助成金、研修会等の情報提供を行った。

② ボランティア依頼への対応

登録ボランティア数1,131名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は託児22件、介助1件、点字指導1件となっている。また、点訳と朗読録音依頼については次のとおりである。

区 分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が30件、個人的な依頼が25件あった。公的書類の通知文書、バスや電車の時刻表、川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活の充実につながるものを点訳した。	11名
朗読録音依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ、新聞の社説、身障通信などを朗読したCDを視覚障害者の希望で送付した。	23名

③ 各地域ボランティア連絡協議会の活動

ア 尾道ボランティア連絡協議会(参加サークル13団体、個人ボランティア2名)

定例会を毎月1回開催し、意見や情報の交換、ボランティア同士の交流を図りながら、次の活動を行った。

- ・ 定例会の開催(毎月第4木曜日)

※11月の定例会では、移動例会として、福山市ボランティア連絡協議会との交流や鞆の浦散策、福山城の見学を行い、会員の親睦を深めた。

※2月の定例会は市役所職員(社会福祉課、政策企画課)を招いて開催し、ボランティア活動について知って頂く機会とした。

- ・ 共同募金運動への協力。
- ・ 会員に書籍の寄付を募り、尾道市総合福祉センターボランティア室内に自由に貸出できる書籍コーナーを設置。
- ・ 能登半島地震災害義援金として広島県共同募金会を通じて 50,000 円の寄付を行った。

イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 4 団体）への協力

町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。

- ・ 共同募金街頭募金への協力 10 月・12 月 1 日、2 日
- ・ 御調中央小学校ボランティア体験学習 1 月 23 日
- ・ 御調西小学校ボランティア体験学習 5 月 15 日
- ・ 御調地区ボランティア連絡協議会会議実施（年 8 回）
- ・ ボランティア交流会 3 月 11 日
- ・ 御調健康福祉展 ボランティア体験コーナー 10 月 28 日
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
- ・ 活動展示パネルの掲示（御調保健福祉センター）

ウ 向島ボランティアグループ連絡会「花あかり」（参加サークル 6 団体）への協力

「花あかり」は 5 団体が参加。毎月 1 回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動を行った。

- ・ 「花あかり」役員会……毎月第 1 金曜日
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
- ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
三幸小学校 4 年生にスタンプラリーによるボランティア体験学習
向島中央小学校 3 年生にボランティア体験学習
高見小学校 5 年生にボランティア体験学習
- ・ 向島中学校出前福祉講座 8 月 22 日
- ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動（16 年目）
- ・ 向島ボランティアグループ連絡会移動例会 11 月 10 日
4 年ぶりにボランティア会員同士による視察研修及び交流を兼ねて、福山の鞆の浦・さくらホームを視察研修した。
- ・ 喫茶クッキング 毎月第 4 水曜日
よろずボランティア「たんぽぽ」のサークルが 3 人体制で月 1 回、特別養護老人ホーム橘花苑へ喫茶クッキングのお手伝いを実施。
- ・ 向島中学校点字クラブと向島点字サークル「きずな」との交流
- ・ むかいしま健康福祉まつり 10 月 28 日
- ・ 街頭募金への協力
- ・ 能登半島地震災害義援金として広島県共同募金会を通じて 20,000 円の寄付を行った。

エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 7 団体）への協力

原則 2 カ月に 1 回、定例会を開催し、尾道市ボランティアネットワークの報告及び因島ボランティア連絡協議会の活動内容の検討、各サークルの情報交換を行った。今年度は少しずつではあるが、コロナ禍前の活動ができるようになった。毎年恒例となっている「大浜しまなみビーチ清掃活動」も開催した。

6 月に「IT 研修会」、11 月にボランティア活動実践者の「講演会」を実施。地元の公民館まつりに因島ボランティア連絡協議会の活動を紹介するパネル展示を実施した。広島県共同募金会を通じて、能登半島地震災害義援金募金を行った。

今後もボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。

オ 瀬戸田ボランティア連絡協議会（参加サークル 3 団体）への協力

尾道市ボランティアネットワーク役員会を受けて、報告及び活動内容の検討、各サークルの情報交換を定期的に行った。

瀬戸田ボランティア連絡協議会で福山視察研修を企画し、NPO 法人どりいむスイッチでの研修では、若者の相談支援や居場所づくり、就労支援等の活動の説明をしていただいた。ボランティア同士の交流と学びの場となった。

来年度も参加サークルの活動がより活性化できるよう支援していきたい。

④ 尾道市ボランティアネットワーク事業

尾道市ボランティアネットワークを立ち上げてから 16 年目となり、加入ボランティア団体数は 32 団体となっている。年 4 回の定例会を開催し、各ボランティア連絡協議会の活動の共有や意見交換を行いながら交流を深めた。

その他、市社協だよりを活用して情報発信を行った。

ア 尾道市ボランティアネットワーク会議の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
4 月 10 日（月）	総合福祉センター	・2023 年度新役員候補の決定 ・2023 年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・おのみちボラネット交流会“2023”について ・各 V 連の情報交換	11 名
6 月 26 日（月）	総合福祉センター	・地域づくり講演会&ボラネット総会のふりかえり ・おのみちボラネット交流会“2023”について ・各 V 連の情報交換	9 名
10 月 4 日（水）	総合福祉センター	・おのみちボラネット交流会“2023”について ・各 V 連の情報交換	12 名

2月26日(月)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ボラネット交流会“2023”の振り返り ・ボランティア応援ブックの発行について ・2024年度市社協だよりの担当V連について ・2024年度地域づくり講演会&尾道市ボランティアネットワーク総会について ・2024年度ボラネット研修会について ・各V連の情報交換 	11名
----------	----------	--	-----

イ 尾道市ボランティアネットワークの活動

開催日	場 所	内 容	参加者
6月13日(火)	総合福祉センター、御調保健福祉センター、愛あいセンター、因島総合福祉保健センター、瀬戸田福祉保健センターの5会場をWebで接続	<p>◆2023年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会</p> <p>【講演会】 演題「尾道の空き家を活用したまちづくり」 講師：NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト 代表 豊田雅子さん</p> <p>【総会】 ①2022年度事業報告及び2023年度事業計画 ②2023年度役員紹介</p>	99名
11月3日(金)	市民センターむかいしま文化ホール	<p>◆第7回 おのみちボラネット交流会</p> <p>内容 ボランティア活動紹介 手話サークルつくし 國友弘美さん 映画「ヒゲの校長」上映会</p>	154名

ウ 市社協だよりの記事提供

尾道市ボランティアネットワークや各ボランティア連絡協議会の取り組み、行事のお知らせ、ボランティアの活動紹介や募集など、尾道市民に向けて情報の発信を行った。

エ 寄付の実施

尾道市ボランティアネットワークより、能登半島地震災害義援金として広島県共同募金会を通じて、10,000円の寄付を行った。

【成果】

- ・ 定例会で各ボランティア連絡協議会の活動や課題を共有することで、各地域の状況を理解し、今後の活動を考える機会となった。
- ・ 地域づくり講演会では、空き家再生を通じて尾道らしいまちづくりを展開している尾道空き家再生プロジェクトの活動を知り、ボランティアとして地域の中で何ができるかを

考える機会となった。

- ・ ボラネット交流会では、手話をテーマとした映画の上映をおこなった。「手話」が現在のように使われるようになった歴史について学び、地域で生活する障害者への理解を深めることで、互いを認め合う「共生社会」の意識を醸成し、自身のボランティア活動につなげることができた。

【課題】

- ・ 多くの団体でボランティアの高齢化や担い手不足が課題となっている中で、新規ボランティア会員の確保及び後継者の育成、既存活動の見直しなど新たな取り組みを検討していく。
- ・ ボランティアの存在や活動を幅広く市民に周知できるよう、尾道市や各種団体との連携を図りながら、情報発信の手法を検討していく。
- ・ ボランティア活動者同士の交流や親睦を図りながら、活動の悩みや成果を共有し、尾道市全体でボランティアの課題解決に向けて考えていく。

⑤ ボランティア活動保険・行事用保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、研修会や民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険 加入者数	2,507名	316名 事故1件	804名 事故2件	352名 事故1件	582名
ボランティア行事用保険 加入件数	110件 事故2件	20件	28件	3件	3件
送迎サービス補償保険 加入件数	—	2件	—	—	—
福祉サービス総合補償保険 加入件数	6件	1件	—	—	—
社協の保険(ふれあいサロン・ 社協行事障害補償保険) 加入件数	212件 事故3件	—	—	—	—

⑥ 福祉活動機材等の貸し出し

車椅子や高齢者疑似体験グッズ、パネル、テントなどを貸し出し、地域行事や学校での福祉教育、各種イベントで活用された。

(2) ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

1月19日（金）に助産師、利用者支援専門員による講座を行い、新規申込者7名、おのママサポーターズ20名が参加された。新規参加者は2～3月にブックスタート、おやこタイムで体験実習を行った。

イ 御調地域

6月29日（木）、7月6日（木）、8月17日（木）の全3回、幼児安全法、おのみちわらべによる講座と保育体験を行い、「子育てほっとサポート」へ2名が新規登録された。

② 読み語りボランティア養成講座

ア 御調地域

10月5日（木）にひろしま子どもの読書活動団体等ネットワーク協議会副代表田中いづみさんを講師に迎え絵本の読み語りボランティア入門を、10月12日（木）にブックスタートの見学を行い、「おはなしラッコ」へ1名が新規登録された。

③ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げてから13年目となった。隔月で年5回の定例会を開催し、活動についての情報共有をおこなった。

活動依頼に対しては、事前の現地確認をはじめ、ボランティアを調整しスムーズな活動につなげた。また、民生委員や地域包括支援センター等に協力支援を図った。

環境ウォーキングは、向島地区で2グループに分かれて清掃活動を実施した。活動後にいきいきサロン立花「和」で昼食を食べながら交流を行った。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
5月17日（水）	愛あいセンター	・お掃除ボランティア「さわやか」総会 ・令和4年度事業報告及び収支決算について ・令和5年度事業計画及び収支予算について ・交流会	26名
7月19日（水）	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・活動中の名札について ・クリーンセンター見学の参加について	9名
9月20日（水）	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・お掃除ボランティアの規則改正（案）について	10名

1月17日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度環境ウォーキング&交流会の振り返り ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和6年度総会及び交流会について(案) ・令和6年度環境ウォーキングについて ・令和6年度定例会開催日程(案) 	9名
3月13日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア活動報告及び活動予定 ・令和6年度役員改選について ・令和6年度総会及び交流会について(案) ・令和6年度環境ウォーキングについて 	9名

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
7月20日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(7/19)の報告 ・令和4年度お掃除ボランティア「さわやか」活動報告 ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・活動中の名札について ・その他・情報共有 	9名
10月5日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(9/20)報告について ・令和5年度環境ウォーキング&交流会について ・その他・意見交換 	9名
1月18日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(1/17)の報告 ・令和6年度総会及び交流会について(案) ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について ・令和6年度定例会開催日程(案) ・その他・意見交換 	11名
3月14日(木)	因島総合福祉保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・お掃除ボランティア定例会(3/13)の報告 ・令和6年度環境ウォーキング&交流会について ・その他・情報交換 	11名

ウ お掃除ボランティア「さわやか」 in みつぎ養成講座の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
11月22日(水)	ク リ ー ン セ ン タ ー、 御 調 保 健 福 祉 セ ン タ ー	・尾道市クリーンセンターの見学 ・お掃除ボランティア「さわやか」の活動 説明	11名

エ お掃除ボランティア「さわやか」交流会

開催日	場 所	内 容	参加者
11月15日(水) 10:00~12:30	立花臨海公園か らいきいきサロ ン立花「和」	・令和5年度環境ウォーキング&交流会 目的地を目指して歩きながら、道端 や溝などに落ちているゴミを拾い、会 員同士のコミュニケーションを凶つ た。清掃活動後、いきいきサロン立花 「和」で昼食を食べながら交流を行っ た。	29名

オ お掃除ボランティア「さわやか」活動実績

実 施 月	旧尾道 地区		御調 地区		向島 地区		因島 地区		瀬戸田 地区		合 計	
	件 数	ボラン ティア	件 数	ボラン ティア	件 数	ボラン ティア	件 数	ボラン ティア	件 数	ボラン ティア	件 数	ボラン ティア
4月	1	5									1	5
7月					1	4					1	4
12月					1	6					1	6
1月	1	19			1	2			0	0	2	21
2月					1	5					1	5
3月	2	6			1	3					3	9
合計	4	30	0	0	5	20	0	0	0	0	9	50

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用： 9 回

【成果】

- ・ 尾道市内全域において9件の活動を実施し、利用者宅の衛生環境を整えるとともに、ボランティア自身の充実感を高めることができた。
- ・ 尾道市清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズに行えた。
- ・ 環境ウォーキングを通して、市内の環境美化及びお掃除ボランティア会員同士の交流を図ることができた。
- ・ お掃除ボランティア「さわやか」 in みつぎ養成講座の開催により、新たに4名の会員が加入した。

【課題】

- ・ 高齢化に加え、障害や生活困窮等、複合的な課題を抱えているケースもあり、時代のニーズに合わせて柔軟に対応していく必要がある。
- ・ 地区社協や民生委員、地域包括支援センター、ケアマネジャー等と連携を深め、幅広い情報発信を行い、活動を周知していく必要がある。
- ・ 会員の高齢化や担い手不足という課題があり、今後は、新規会員の発掘や育成について検討していく。
- ・ 清掃活動をする際は、当日スムーズな活動が行えるよう、ゴミの分別や運び出しの動線確認など、事前の調整を丁寧に行う。
- ・ 因島、瀬戸田圏域では、依頼ケースがなく、活動の機会がない。地域の状況を把握し、広く、お掃除ボランティアの活動を啓発する必要がある。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第49期尾道いきいき大学

尾道市在住、60歳以上の方を対象に、生涯学習として尾道いきいき大学を開講した。

《大学の概要》

期 間：令和5年4月14日（入学式）～各講座の最終日

会 場：尾道市総合福祉センター・尾道市人権文化センター・おのみち生涯学習センター・しまなみ交流館・むかいしま文化ホール

学生数：実技講座 242名、教養講座 98名、合計 340名

教養講座：5講座（下表参照）

実技講座：9講座（次頁表参照）

その他の主な行事

- ・ 尾道いきいき大学についてのアンケートの実施
4月10日（月）～5月29日（月）
- ・ あり方検討委員会：8月18日（金）、10月17日（火）
- ・ 運営委員会：11月20日（月）
- ・ 実技講座講師会：12月4日（月）
- ・ 実技講座作品展示：1月15日（月）～3月10日（日）

教養講座

開催日	テーマ・演題	講 師
5月12日（金）	心元気に！さあ、あなたの番ですよ	紙芝居「夢屋」代表 中村由利江さん
7月14日（金）	笑って健康！免疫力アップ！	お笑い芸人 ジャンボ亭ばずーかさん
9月8日（金）	大切にしたい方言の暮らしと思い出 ～母の言葉から～	尾道市立大学 日本文学科 学科長 灰谷謙二さん
11月10日（金）	SDGsで考える持続可能な尾道と わたしたちの暮らし	サステナブルみはら 代表 安藤志保さん
1月12日（金）	若く見られる人は本当に若い！ ～老化を防ぐ食事法～	医学博士 管理栄養士 健康 運動指導士 廣田孝子さん

第49期尾道いきいき大学 修了生数

講座名	講師名	修了生			合計	3年間 皆勤者
		1年生	2年生	3年生		
書道かな	友宗 杉径	3	19	9	31	0
書道漢字	楨本 緑水	10	13	10	33	2
絵 画	山根 悦	11	8	12	31	1
自由花	進來 せい子	16	6	3	25	0
野 菜	金野 省三	9	5	2	16	1
英 会 話	能登セドリック	11	16	6	33	0
俳 句	郷坪 敏幸	9	15	14	38	4
茶 道	武田 宗純	6	3	9	18	1
パソコン	百島 裕司	10	/	/	10	/
実技講座合計		85	85	65	235	9
教養講座		98				
合 計		333				

修了証書授与者数・・・実技講座3年生65名、野菜講座1年生9名、2年生14名
 茶道講座1年生6名、2年生9名、パソコン講座1年生10名 合計 98名
 皆勤賞授与者数・・・9名

(2) 敬老会

尾道市と連携し、地区社協や町内会が主体となって地域の実情に応じた可能な取り組みがなされるよう事業を展開した。

開催概要

- ・開催地区及び箇所数

地域名	地区社協または町内会単位等で式典開催した地区（箇所数）	地区社協単位で記念品配付した地区	町内会単位等で記念品配付した地区（箇所数）
旧尾道	久保、筒湯、長江、土堂、吉和、栗原・久山田（7）、栗原北（2）、木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田、西藤、高須（9）、浦崎（6）、百島、向東（1）	山波、新高山、日比崎、三成	栗原・久山田（10）、栗原北（10）、浦崎（1）、向東（6）
御調	菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和		
向島	兼吉、小歌島、中富浜、西富浜、川尻、津部田、岩子島、立花	江奥、東富浜1・2区、東富浜3区、田尻、土井、宇立、有道	
因島	田熊、三庄（1）、中庄（1）、大浜	土生、重井、東生口	三庄（1）、中庄（3）
瀬戸田		御寺、宮原、荻、田高根、垂水、福田、港、瀬戸田、高根、沢、鹿田原、中野、林、名荷	

- ・箇所数において、2箇所以上の地区社協又は町内会が合同で実施した場合は、1箇所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と直接契約する）
- ・招待者数・・・27,755人（男性11,234人、女性16,521人）
- ・出席者数・・・3,205人

令和5年度 敬老会実施状況（招待者人数）

(人)

	地区名	開催日	開催時間	会場	男性	女性	合計	出席者
旧尾道	山波	記念品のみ配付			297	452	749	—
	新高山	記念品のみ配付			153	209	362	—
	久保	9月17日(日)	9:30~11:30	久保中学校体育館	324	495	819	106
	筒湯	9月18日(月)	13:30~15:30	尾道市役所2階	169	306	475	80
	長江	10月1日(日)	9:00~12:00	長江中学校体育館	266	429	695	480
	土堂	9月18日(月)	13:00~16:00	しまなみ交流館大ホール	175	314	489	105
	日比崎	記念品のみ配付			434	689	1,123	—
	吉和	9月17日(日)	9:30~11:30	吉和小学校体育館	537	889	1,426	197
	栗原・久山田	【「詳細」表参照】			999	1,454	2,453	206
	栗原北	【「詳細」表参照】			466	690	1,156	47
	三成	記念品のみ配付			237	365	602	—
	木頃	9月18日(月)	11:30~13:30	美木中学校	159	194	353	45
	木ノ庄西	9月18日(月)	10:00~14:00	尾道市農村環境改善センター	98	118	216	33
	木ノ庄東	9月17日(日)	10:30~13:00	木ノ庄東公民館	71	116	187	48
	原田	9月18日(月)	11:00~12:00	旧原田中学校体育館	109	154	263	56
	西藤	9月17日(日)	13:30~16:00	福田ふれあい館	120	155	275	99
	高須	【「詳細」表参照】			495	754	1,249	198
	浦崎	【「詳細」表参照】			308	449	757	221
	百島	9月18日(月)	9:30~12:00	いきいきサロン百島	63	133	196	42
	向東	【「詳細」表参照】			802	1,113	1,915	32
小計				6,282	9,478	15,760	1,995	
御調	菅野	9月10日(日)	10:30~12:30	菅野公民館	30	57	87	25
	上川辺	9月10日(日)	10:00~12:00	上川辺公民館	86	111	197	32
	市	9月10日(日)	10:00~12:30	市公民館大ホール	183	246	429	59
	河内	9月18日(月)	10:00~13:30	河内公民館	126	198	324	51
	今津野	9月18日(月)	11:00~14:00	今津野公民館大ホール	62	84	146	49
	綾目	9月10日(日)	10:00~13:15	綾目公民館大ホール	49	78	127	22
	大和	9月10日(日)	11:00~13:50	大和公民館	35	38	73	19
小計				571	812	1,383	257	
向島	兼吉	9月10日(日)	10:00~12:00	やすらぎ荘	132	208	340	60
	江奥	記念品のみ配付			206	300	506	—
	東富浜1・2区	記念品のみ配付			35	50	85	—
	東富浜3区	記念品のみ配付			25	50	75	—
	小歌島	9月17日(日)	10:00~11:30	サロンおかじま	24	40	64	30
	中富浜	9月10日(日)	10:00~11:30	中富コミュニティセンター	97	136	233	55
	西富浜	9月10日(日)	10:00~11:15	西富浜塩田の里ふれあいセンター	64	80	144	52
	田尻	記念品のみ配付			60	97	157	—
	川尻	9月18日(月)	10:00~12:00	川尻コミュニティセンター	93	132	225	110
	土井	記念品のみ配付			18	26	44	—
	宇立	記念品のみ配付			95	122	217	—
	有道	記念品のみ配付			161	219	380	—
	津部田	9月10日(日)	9:00~11:00	津部田コミュニティセンター	117	180	297	70
岩子島	9月18日(月)	13:30~15:30	岩子島農業構造改善センター	60	105	165	43	
立花	9月18日(月)	13:30~15:30	いきいきサロン立花「和」	72	98	170	42	
小計				1,259	1,843	3,102	462	
因島	土生	記念品のみ配付			470	774	1,244	—
	田熊	9月16日(土)	9:30~12:00	田熊西スポーツ広場体育館	386	518	904	260
	三庄	【「詳細」表参照】			425	581	1006	130
	中庄	【「詳細」表参照】			470	654	1124	46
	大浜	9月10日(日)	13:00~15:00	大浜公民館	78	125	203	55
	重井	記念品のみ配付			296	422	718	—
	東生口	記念品のみ配付			130	161	291	—
小計				2,255	3,235	5,490	491	
瀬戸田	御寺	記念品のみ配布			41	54	95	—
	宮原	記念品のみ配布			45	64	109	—
	荻	記念品のみ配布			42	50	92	—
	田高根	記念品のみ配布			27	39	66	—
	垂水	記念品のみ配布			65	73	138	—
	福田	記念品のみ配布			113	133	246	—
	港	記念品のみ配布			16	26	42	—
	瀬戸田	記念品のみ配布			69	117	186	—
	高根	記念品のみ配布			60	103	163	—
	沢	記念品のみ配布			51	57	108	—
	鹿田原	記念品のみ配布			13	21	34	—
	中野	記念品のみ配布			64	89	153	—
	林	記念品のみ配布			109	137	246	—
	名荷	記念品のみ配布			152	190	342	—
小計				867	1,153	2,020	—	
合計				11,234	16,521	27,755	3,205	

(人)

	町内会等	開催日	開催時間	会 場	男性	女性	合計	出席者		
旧尾道	栗原久山田	下組北	記念品のみ配付		23	49	72	-		
		本通り第2	9月16日(土)	13:00~14:30	いきいきサロン栗原	57	88	145	-	
		本通り第3	記念品のみ配付				52	80	132	-
		本通り第4					6	8	14	-
		本通り第5					2	7	9	-
		則末町内					171	271	442	-
		則末第4					3	6	9	-
		向ヶ峠					94	153	247	-
		向 山	9月18日(月)	10:00~12:00	向山クラブ	55	84	139	25	
		竹 屋	9月18日(月)	11:00~14:00	竹屋会館	103	106	209	27	
		川 上	記念品のみ配付				130	179	309	-
		大 地	9月18日(月)	10:00~11:00	大地公民館	26	23	49	22	
		緑ヶ丘	記念品のみ配付				7	12	19	-
		門 田	9月17日(日)	9:30~12:00	門田コミュニティセンター	140	240	380	52	
		竜王台	9月18日(月)	10:00~12:00	竜王台集会所	26	33	59	9	
		大 迫	9月17日(日)	10:00~12:00	中央公民館久山田分館	8	9	17	8	
		久山田	9月17日(日)	9:00~11:30	尾道市立大学第一体育館	96	106	202	63	
	小 計					999	1,454	2,453	206	
	栗原北	三美園団地	9月16日(土)	11:00~14:00	尾道国際ホテル	115	189	304	25	
		大迫団地	記念品のみ配付				82	118	200	-
		三成ヶ丘	9月23日(土)	11:00~13:00	栗原北公民館	54	68	122	22	
		松岡団地	記念品のみ配付				28	44	72	-
		堂 面					15	26	41	-
		三美園住宅					19	31	50	-
		竹屋東					19	25	44	-
		松 岡					37	66	103	-
		竹屋団地					64	86	150	-
内 郷						1	1	2	-	
幸が丘					25	28	53	-		
幸ヶ丘					7	8	15	-		
小 計					466	690	1,156	47		
高須	関屋大新	9月18日(月)	10:00~11:00	東部公民館	70	105	175	41		
	阿 草	9月18日(月)	13:30~15:00	いきいきサロン阿草	31	38	69	10		
	横 路	9月17日(日)	13:30~15:00	横路公民館	8	10	18	6		
	ポレスター ブロード シティ高須	9月18日(月)	10:00~10:30	マンション内ラウンジ	5	9	14	2		
	今 宮	9月18日(月)	10:00~11:00	いきいきサロン大元山	44	63	107	14		
	横 浜 唐 一丁田 県営自治会 グリーンヒルズ ピアンカ	9月17日(日)	10:00~11:00	東部公民館	83	126	209	36		
	尾道東駅前 東新涯 ソラリス	9月17日(日)	10:00~11:00	東部公民館南分館	73	130	203	24		
	太 田	9月16日(土)	13:30~15:00	大田ふれあい館	104	171	275	42		
	西新涯	9月15日(金)	13:30~15:30	西新涯集会所	77	102	179	23		
	小 計					495	754	1,249	198	
浦崎	上 組	9月17日(日)	11:00~14:00	上組集会所	43	62	105	221		
	灘	9月17日(日)	11:00~14:00	灘クラブ	44	57	101			
	高 尾	9月17日(日)	11:00~14:00	高尾集会所	35	54	89			
	浦 崎	9月17日(日)	11:00~14:00	浦崎公民館大会議室	91	145	236			
	満 越	9月17日(日)	11:00~14:00	満越集会所	25	30	55			
	戸 崎	9月17日(日)	11:00~14:00	戸崎区民会館	41	49	90			
	海 老	記念品のみ配付				29	52	81	-	
小 計					308	449	757	221		
向東	彦ノ上二	9月17日(日)	10:00~11:30	向島リーフ	45	67	112	32		
	彦ノ上三	記念品のみ配付				36	44	80	-	
	堤					23	43	66	-	
	寺 内					73	120	193	-	
	谷 水					19	24	43	-	
	古江奥					19	24	43	-	
	向 東					587	791	1,378	-	
小 計					802	1,113	1,915	32		

因島	三庄	三庄	9月17日(日)	9:00~12:00	三庄公民館	411	561	972	130	
		棕浦	記念品のみ配付				14	20	34	—
		小計					425	581	1,006	130
	中庄	中庄	記念品のみ配付				345	455	800	0
		鏡浦					19	25	44	0
		外浦	9月18日(月)	10:00~12:00	外浦集会所	40	65	105	46	
		西浦	記念品のみ配付				66	109	175	0
		小計					470	654	1,124	46

7. 障害者福祉事業

障害者が地域で安心して暮らせるよう、ボランティア活動の促進、福祉人材の育成等を行った。また、当事者団体への支援等を行い、あらゆる機会を通じて障害者の自立と社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

障害者の自立と社会参加を推進するため、各種講座やボランティアの養成を行った。

① 各種養成講座

ア 手話奉仕員養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	5月18日～3月7日	毎週木曜日 38回	10名	6名

イ 手話講習会 (※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月19日～9月15日	毎週金曜日 17回	6名	4名
御 調	5月20日～7月22日	毎週土曜日 10回	6名	5名
向 島	5月24日～9月20日	毎週水曜日 17回	7名	7名
因 島	5月23日～7月25日	毎週火曜日 10回	6名	5名

ウ 尾道市登録手話通訳者学習会〈専門研修〉

外部講師：広島県ろうあ連盟、尾道ろうあ協会、尾道市健康推進課、総務課

受講者：延べ102名 12回

対象者：手話通訳派遣に登録している方

エ 子ども手話教室

日 時：12月3日、10日（日）

講 師：尾道ろうあ協会、手話サークルつくし

受講者：18名（小学4～6年生）

オ 点字一日体験講座

日 時：5月9日（火）

受講者：2名

カ 点字講習会 (※講師は、点字サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月16日～7月18日	毎週火曜日 10回	3名	2名
因 島	5月10日～10月25日	第2・4水曜日 10回	2名	2名

キ 朗読録音講習会 (※講師は、朗読ボランティア会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	10月10日～2月27日	第2・4火曜日 10回	7名	7名
御 調	6月 1日～ 8月 3日	毎月木曜日 5回	2名	2名
向 島	6月 9日～10月27日	第2・4金曜日 10回	1名	1名

ク 朗読録音講習会〈専門研修〉

講 師：武田智子さん

受講者：104名 12回

対象者：旧尾道地域朗読録音ボランティア会員

② 手話通訳者、要約筆記者派遣事業

ア 手話通訳者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	101件	165時間	病院・学校行事等	6名	9名
御 調	17件	42時間	病院・葬儀等	4名	3名
向 島	0件	—	—	—	—
因 島	12件	19時間	病院・手続き等	6名	2名
市 外	14件	40時間	病院・葬儀等	5名	6名

イ 手話通訳者派遣（尾道市手話通訳者設置事業）

設 置 日：毎月第3火曜日 13時～16時

設置場所：尾道市役所社会福祉課

通訳者数：2名

ウ 要約筆記者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	1件	4時間	葬儀	2名	1名

③ 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加人数
旧尾道	水中ウォーキング	中止
	スポーツ吹き矢	中止
	ボッチャ	94名
	モルック	21名
御 調	障害者ふれあい交流会	14名
因 島	水泳教室	19名
	ふれあい運動会	中止
	グラウンドゴルフ大会	13名
	卓球教室	312名

④ 啓発普及事業

第30回「障害者週間」尾道福祉大会

ア まちなか福祉まつり 2023 in おのみち

日 時	12月16日（土）11：00～16：00
場 所	まちなか文化交流館

内 容	<p>◇体験イベント（スタンプラリー） 手話、要約筆記、点字、白杖、ボッチャを体験していただき、抽選会では、市内福祉事業所で製造された商品（お菓子、さをり織り等）をプレゼントした。</p> <p>◇演奏会 ・あすなろ太鼓 ・楽しむハーモニカ教室 ・ポエラニ尾道（フラダンス） ・ルーリーズ（バンド演奏）</p> <p>◇作品展示、動画上映（仕事とくらしの福祉事業所説明会、オカリナ同好会、楽しむハーモニカ教室）</p>
-----	---

イ 作品展

日時：①12月 2日（土）～12月13日（水）

②12月14日（木）～12月18日（月）

場所：①尾道市役所、総合福祉センター

②まちなか文化交流館

⑤ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

開催日時	内 容
1月21日（日） 13：30～14：20	テーマ：「高齢者の現状」～こうすれば良かった高齢者の対応～ 講 師：西部地域包括支援センター職員 社協 訪問介護事業所職員
1月21日（日） 14：30～15：30	テーマ：「知的障害の理解」 講 師：社会福祉法人 若葉 生活介護事業所にじ 施設長 亀田和久さん
1月28日（日） 13：30～15：00	テーマ：①介助を実際に体験しよう ～車いすの扱い方、白杖体験など～ ②「どんぐりの会について」 講 師：介助ボランティア「どんぐりの会」

イ チャレンジタイム（11回） 参加者 115名

チャレンジクッキングの代替えの教室を開催した。

知的障害者を対象に介助ボランティアと一緒にレクリエーションや創作活動の教室と年度後半は調理実習を行い達成感・充実感を味わい、休日の居場所づくり・仲間づくりの場となった。

ウ は一とらんど（11回） 参加者 65名

知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりを目指して開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。

エ 簡単料理教室（向島：6回、瀬戸田：1回）

向島と瀬戸田地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動となった。

参加者：向島 104名、瀬戸田 9名

⑥ 障害者 IT 総合推進事業

ア パソコン入門（42回） 参加者 261名

障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。参加者のレベルにあわせた講座で、パソコンの操作技術を習得した。

イ タブレット体験会（2回） 参加者 15名

広島県障害者 IT サポートセンターによるデジタル活用ワークショップを開催した。視覚障害者を対象としたタブレットの基本操作と便利な機能の体験会と肢体障害者を対象に塗り絵のアプリを使った体験会を行った。

⑦ 芸術文化講座開催事業

ふでふで工房（12回） 参加者 148名

月1回知的障害者を対象に習字教室を11回、絵手紙教室を1回開催。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立つ教室となった。尾道市役所1階市民交流スペースで作品展を行い、日頃の成果を多くの方に見て頂くことで、参加者の意欲向上につながる機会となった。

（2）障害者当事者団体への支援・協力

ア 障害者団体等に協力した。

イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、研修会等を支援した。

ウ 尾道市身体障害者福祉連合会及び福祉協会の各活動の支援を行った。

8. 児童福祉事業

(1) 子育て支援

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこタイムやおやこ広場、子育てサロンの充実や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① ブックスタート事業（4カ月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、民生委員児童委員、読み語りボランティア、保育ボランティアなどが協力して実施し、518人の赤ちゃんへ絵本等のプレゼントを行った。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間26回	年間7回	年間8回	年間6回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	428名	19名	49名	22名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	受付等	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員	民生児童委員
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	「おのママサポーターズ」	民生児童委員	民生児童委員	「ほっとレモン瀬戸田」

② ブックスタート・プラス事業

1歳6カ月児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、660人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間31回	年間6回	年間8回	年間6回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	556名	17名	65名	22名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	分役担割
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会	ひよこちゃん

③ ブック・ステップアップ事業

3歳児健診の幼児に図書館、読み語りボランティアの協力を得て、721人に絵本を読み聞かせしたうえでプレゼントした。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田
実施回数	年間34回	年間6回	年間6回	年間6回

場 所		総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター
対象児数		605 名	23 名	67 名	26 名
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中央図書館	みつぎ子ども図書館	因島図書館	瀬戸田図書館
	読み語り	なのはな	おはなしラッコ	さざなみ会	ひよこちゃん

④ ブックスタート関連取組み

ア 会議

11 月 1 日（水） ブックスタート絵本選定会議の開催

イ 研修会

10 月 20 日（金） ブックスタート全国研修会 2023（オンライン）

ウ 講演会

6 月 30 日（金） 親と子を結ぶ絵本の力

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、家庭で絵本を読む機会が増え、親子で向き合う時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。
- ・ 民生委員児童委員協議会のご案内や子育て支援情報をお伝えいただくことで、親子に地域で見守ってくれる存在を周知することができている。
- ・ 今年度より、ブックスタートでの保育ボランティアによる赤ちゃんの抱っこを再開した。少しずつコロナ前の状態に戻っており、親子に心やすらぐひとときを過ごしていただいている。

【課題】

- ・ コロナ禍より 1 歳 6 カ月児、3 歳児は 3 冊の絵本のうち 1 冊しか読み聞かせしておらず、残りの 2 冊は紹介のみにとどめている。

⑤ 子育てサロンの推進事業

市内 15 カ所で原則毎月 1 回以上サロンを開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のために各サロンへお願いしていた、活動に際しての遵守項目は廃止したが、各サロンで必要に応じて感染対策をしながら活動を行った。

子育てサロン連絡協議会と協力しながら、サロン同士の情報交換や連絡調整を目的に行う子育てサロン交流会の開催や、福祉まつりへ参加し、サロン同士の交流を図った。

交流会の企画等について各サロンの意見を反映させ、より良いサロンの運営を行うための子育てサロン運営委員会を、初めて開催した。

子育てサロン連絡協議会が各子育てサロンを巡回し、サロン運営について相談、助言を行った。

[子育てサロン一覧]

サロン名	場 所	回 数	参加人数
高須子育てサロン「らっこクラブ」	東部公民館	月1回	177
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	月1回	117
久保子育てサロン「クッピル」	いきいきサロン久保	月1回	107
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	月1回	56
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	月4回	307
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	月1回	125
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	栗原公民館	月1回	65
栗原子育てサロン「ちえりいクラブ」	いきいきサロン栗原	中 止	—
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	月1回	50
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	月1回	86
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	月1回	229
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・浦崎認定こども園	月2回	164
向東子育てサロン「びよびよ」	向東公民館	月1回	255
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	月1回	218
因島子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	月2回	550
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	月4回	292

⑥ おやこタイム、おやこ広場等子育て支援事業（母子・父子福祉センター事業参照）

乳幼児の親子の子育て支援を行った。

⑦ 関係機関との連携

ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加

イ 「尾道子育て支援ネットワーク」の会議へ月1回の参加、活動への協力

ウ Let's 食育！御調グループのイベント（1回）、協働会議（年3回）への参加

【成果】

- ・ 近年、地域のつながりの希薄化が進み、子育てへの不安や孤立感が高まる中、子育てサロンの必要性が再認識され、つながり、支え合いの場となり、地域と家庭の子育て力の向上等の役割を担っている。

【課題】

- ・ 少子化、共働き家庭の増加の影響で、子育てサロンへ参加する親子が減少しており、活動継続が困難となってきた子育てサロンが数カ所ある。

(2) 子どもの居場所づくり

① 子どもサポート事業

近年、社会構造や家族形態、働き方の変化などにより、「たくさんの経験をわが子にさせたいが、思いが叶わない」「家庭の事情で子どもと関われる時間が十分でない」「子どもの成長や家族のことで、周囲に相談できる人がいない」といった悩みをもつ親が増えている。

本事業は、そのような社会課題を受け、旧尾道地域及び因島地域に2カ所の拠点を開設した。平日の放課後から夜間までを開設時間とし、主に小学校低学年を対象に、学習支援や夕食提供をはじめとした生活習慣形成の支援、体験機会の提供などを行っている。

令和5年度は、尾道拠点が11世帯18人、因島拠点が12世帯14人の登録があり、子どもたち一人ひとりに寄り添ったサポートを実施した。日々の生活支援に加え、野外活動や社会見学など、年間を通じて様々な活動を実施し、児童の成長を後押しした。

両拠点ともに、生活習慣が整い、検定試験に合格するなど、学力向上した子どもが増えている。「将来、社会の一員として生きていくための自立につながる力を身に着ける」という事業目標が達成できるよう、これからも運営の工夫を継続する。

b & g 尾道 開設時間：月～金 放課後～19時（長期休業時は12時～19時）

登録：11世帯18名 実施回数：256回 延参加人数：3,289人

b & g 因島 開設時間：月～金 放課後～19時（長期休業時は12時～19時）

登録：12世帯14名 実施回数：242回 延参加人数：1,954人

② 子どもの居場所づくりネットワーク事業

子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援等の居場所づくりに取り組む団体の連携体制の整備、活動支援を行った。

ア 意見交換会、研修会の開催

今年度は、計画通り年間6回の意見交換会を実施し、情報や課題の共有を行った。研修会として、NPO法人こどもステーション 奥野しのぶ理事長をお迎えし、「団体の作り方・育て方」についてご講演いただき、座談会形式で『スタッフの巻き込み方について』『スタッフのスキルアップについて』会員同士のグループワークを実施した。また、くらしサポートセンター尾道と合同で、「居場所支援」についてのシンポジウムを開催した。

シンポジウムの第2部を子どもの居場所づくりネットワーク研修会とし、2回の研修と1回の講演会を実施したことで、「居場所支援」への理解が深まり、居場所（支援者）がつながったことで活動の活性化につなげることができた。

■令和5年度くらしサポートセンター尾道&子どもの居場所づくり事業シンポジウム

「居場所のでつながる地域づくりシンポジウム」

日時：令和6年1月31日（火）9：30～12：30

9：30～10：40 講演会「居場所のでつながる地域づくり」

講師：県立広島大学保健福祉学科人間福祉学科

田中聡子さん

10:40～11:20 活動報告

一般社団法人 UME プロジェクト 高橋真理子さん
おのみち女子会「クローバー」 藤本里沙

11:20～12:30 グループワーク

イ フードドライブの実施

予定していた全4回を実施した。食品などを期間中に82件、期間外に92件、合計174件の寄付をいただいた。その他、昨年に引き続き、企業や団体から自社で行ったフードドライブで集まった食品の寄付もあった。集まった食品は、生活困窮世帯の子どもたちや子ども食堂などの子育て支援団体へ渡した。

(件)

実施日程	6/19～23	9/11～15	12/4～8	3/11～15	合計
寄付件数	29	14	24	15	82

ウ 相談支援

子ども食堂等の開設を検討している個人・団体への相談対応を行い、本年度は1団体が本ネットワークに参加いただくこととなった。

9. 母子・父子福祉事業

尾道市総合福祉センター事業のうち、「(4) 母子・父子福祉センター事業」を参照

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

階	室名等		市社協	福祉センター	無料登録団体	市	有料	合計	件数	総合計
1階	作業室	午前	0	0	0	0	0	0	(件) 0	(人) 0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	会議室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	小会議室	午前	230	300	556	1,054	66	2,206	561	4,720
		午後	552	115	350	984	79	2,080		
		夜間	18	42	261	20	93	434		
	和室	午前	224	3,426	631	603	0	4,884	458	8,146
		午後	859	404	877	629	0	2,769		
		夜間	237	0	256	0	0	493		
	ボランティア室	午前	0	0	752	0	0	752	248	1,217
		午後	0	0	465	0	0	465		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
機能回復訓練室	午前	0	1,045	0	0	0	1,045	529	1,777	
	午後	17	693	6	0	0	716			
	夜間	16	0	0	0	0	16			
2階	会議室	午前	2,399	1,449	580	632	54	5,114	554	13,355
		午後	1,529	2,656	884	2,061	90	7,220		
		夜間	351	0	259	381	30	1,021		
	小会議室	午前	350	246	362	288	66	1,312	501	3,133
		午後	378	44	484	713	16	1,635		
		夜間	0	0	141	17	28	186		
	教養娯楽室	午前	937	0	0	0	0	937	287	1,992
		午後	1,040	0	0	10	0	1,050		
		夜間	5	0	0	0	0	5		
	創作室	午前	77	76	859	54	0	1,066	319	1,981
		午後	266	43	431	158	0	898		
		夜間	0	0	15	2	0	17		
	技能習得室	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
児童センター	午前	0	14,599	0	0	0	14,599	271	14,599	
	午後	0	0	0	0	0	0			
3階	保育室	午前	1,419	928	0	1,633	0	3,980	298	7,992
		午後	1,810	697	0	1,475	0	3,982		
		夜間	0	0	0	30	0	30		
	調理実習室	午前	20	46	15	24	0	105	25	216
		午後	41	55	0	15	0	111		
	集會会議室	午前	927	459	315	1,561	117	3,379	516	7,152
午後		458	183	493	2,210	38	3,382			
夜間		38	0	313	10	30	391			

	健康相談室	午前	3	0	4	1,766	0	1,773	355	3,649
		午後	0	0	5	1,871	0	1,876		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	栄養指導室	午前	155	0	173	1,382	26	1,736	371	4,126
		午後	67	0	44	1,851	9	1,971		
		夜間	13	0	406	0	0	419		
	保健指導室	午前	0	0	5	1,724	0	1,729	350	3,590
		午後	0	0	5	1,856	0	1,861		
	4階	集団指導室	午前	82	14	53	131	0	280	63
午後			173	14	181	299	0	667		
夜間			5	0	20	58	0	83		
会議室		午前	81	14	192	1,303	10	1,600	221	2,933
		午後	117	18	63	1,107	0	1,305		
		夜間	3	0	0	25	0	28		
大会議室		午前	33	448	260	90	0	831	0	1,702
		午後	445	0	95	121	0	661		
		夜間	40	0	170	0	0	210		
共有	全館	午前	950	15	0	600	0	1,565	0	1,790
		午後	150	15	0	60	0	225		
	1Fロビー	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
合計			16,515	28,044	10,981	28,808	752	85,100	5,980	85,100

(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理

愛あいセンター使用状況（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

室名等	利用件数（件）	利用人数（人）
第1会議室	120	691
第2会議室	181	3,609
第3会議室	127	983
ロビー	27	246
ひまわり	25	579
コショウラン	18	31
コスモス	25	140
カーネーション	42	316
はなみずき	47	252
アーモンド	63	367
相談室	181	409
合計	856	7,623

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況 (令和5年4月1日～令和6年3月31日)

室名	利用件数(件)	利用人数(人)
調理室・和室	438	2,013
プレイルーム	147	1,152
相談室	162	683
会議室	383	2,402
合計	1,130	6,250

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

市内在住の障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ人を対象に、障害者福祉センター事業として各種の教室、講座を開催した。

平日の教室は、主として身体・精神の障害者への外出支援と社会参加の促進、リハビリに役立つ講座や場の提供を、土・日曜日の教室は、知的障害者の安心安全な居場所と、仲間づくりに役立つ教室を開催した。安定して教室等に参加する障害者同士の交流が深まり、身体のリハビリだけでなく生活に張りが出て、他行事への参加意欲にもつながっている様子が伺えた。コロナワクチン接種の関係で使用できなかった会議室が順次使用できるようになり教室の内容に幅ができた。特に3階調理実習室が使用できるようになってからは利用者の興味を引き参加意欲につながった。コロナの流行前に開催していた料理教室の代替えの教室「あったかタイム」「チャレンジタイム」の中で調理実習を行った。参加者は料理をしながら自然に交流しでき上がった料理を囲んでさらに交流が深まった。

スポーツ教室「スポーツを楽しもう」では「ボッチャ」「モルック」を開催し、体を動かしながら頭の体操にもなって爽快感を楽しんだ。4階大会議室が使えるようになってからは、広い場所での開催となり運動量が増えて健康維持増進につながった。新規の参加者も加わり、顔なじみになり利用者間の和が広がっている。

介助ボランティアの資質や人数を充実するために「介助ボランティア養成講座」を開催した。新規受講者向けと現在活動中のどんぐりの会会員向けにスキルアップを図れるよう配慮した講座内容で行い数人がどんぐりの会に入会し福祉人材確保につながった。

知的障害者のための習字教室「ふでふで工房」では今年度も市役所での作品展を開催した。たくさんの方に1年間の成果を見てもらい、寄せ書きに励ましの言葉をたくさん頂き達成感を味わうことができた。

引き続き、障害者に寄り添い、安心・安全に教室を開催し、日頃から気軽に相談などができる関係を築けるよう努める。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	294回	(障害者) 405名
	あったかタイム	2回	24名
IT総合推進事業	パソコン入門	42回	261名
芸術文化講座	ふでふで工房（知的障害者のための習字クラブ）	12回	148名
本人支援事業	チャレンジタイム	11回	115名
	はーとらんど	11回	65名
社会参加活動	うたの花束	10回	89名
	つどい	11回	114名
スポーツを楽しもう	かるやか水中ウォーク 中止	0回	0名
	スポーツ吹き矢 中止	0回	0名
	ポッチャ	7回	94名
	モルック	2回	21名
更生相談	福祉生活相談	1回	2名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	11回	106名
	交流会「まんまるの会」	1回	16名
	介助ボランティア養成講座	2回	41名
同好会	友遊パソコン	41回	221名
	栗クラブパソコン	44回	252名
	習字同好会	21回	83名

(2) 老人福祉センター事業

市内在住の60歳以上の方を対象に体力の維持・増進、仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室を企画・実施した。新型コロナウイルス感染症による制限が緩み、1年を通して教室開催ができた。今年度も引き続きフレイル予防、介護予防・認知症予防のために身体を動かす体操教室や脳を刺激する脳トレ教室、歌を唄う教室など様々な内容を行った。

コロナ禍4年目にもなると教室参加の流れが浸透し慣れた様子で利用された。年度途中にはワクチン接種会場が閉鎖し、広い会場が使用できるようになったため、「ぼかぼか体操」と「スマイルの時間」は部屋を移動し、開放的な空間で楽しく体操ができた。しかし、長引くコロナ禍で体操する機会や人に逢う機会がめっきり減り、活動意欲の低下やフレイルや認知症の進行など健康状態が悪化していったとの課題も出てきたので、外出支援や社会参加の促進、活動の場や人との交流の場となるよう努めた。男性の外出支援では「男のストレッチ」を開催し、男性が気兼ねなく集まれる雰囲気づくりや、運動習慣のない方のために支援した。「囲碁・将棋クラブ」は開催日を決め、共通の娯楽を楽しむ居心地のよい居場所になった。囲碁には女性も加わって意欲的に知の競技を学ぶ姿が見られた。音楽療法「うたを楽しもう」では、生伴奏に合わせて童謡・唱歌・懐かしの歌謡曲など、幅広いジャンルの曲をリズムに乗って手拍子や身体を揺らして楽しそうに唄い、爽快感を味わった。曲が作られた経緯や時代背景、作詞家や作曲家が込めた思いなどを知り、あの頃の感情を再び蘇らす回想

法の効果もあった。歌うことで免疫力向上、口腔機能の維持など健康面で様々な効果をもたらし、音楽を通してリラックス効果や不安やストレスの軽減を図った。他では多様化するニーズに応え、「ランプシェードづくり」「三日月リースづくり」「しめ縄飾り」「切り絵」など創作活動を精力的に開催した。指先を使うことで脳を活性化させるとともに、趣味を通して達成感や生きがいを感じられたととても好評だった。

毎年、期待されている行事となっている夏休みチャレンジ教室では「〇×クイズアドベンチャー迷路」を実施した。創意工夫した飾りが本格的で世代を超えて盛り上がるイベントとなり、市民の方に喜んでいただいた。次年度も多世代が交流できる内容を引き続き開催していきたい。どの教室も健康維持のため多くの方が教室を求めて積極的に活用された。また開催曜日を決めて教室を行うことで生活リズムが付き、曜日感覚の乱れも防いだ。仲間と体操に励んだり、歌を唄ったりして楽しい時間を共有し合い、他者とつながりを持つことで生きがいを感じ、友だちの輪を広げる機会になった。今後も高齢者が健康な状態を維持できるよう介護予防・フレイル予防(運動・栄養・口腔・社会参加)、遅発性障害の予防など健康寿命を延伸する取り組みを引き続き実施していく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	294回	1,912名
高齢者の社会参加事業	むつみ会	11回	231名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	48回	1,858名
	男のストレッチ	15回	337名
音楽療法	うたを楽しもう	20回	786名
啓発事業	体操とセルフケア	22回	799名
	呼吸法と体操	6回	197名
	脳もいきいき	19回	802名
	生き生き脳のためのアロマハンドマッサージ	1回	23名
創作・趣味活動	切り絵を作ろう(辰)	1回	25名
	ランプシェード作り	2回	34名
	ぬりぬり塗り絵	1回	13名
	三日月リースを作ろう	2回	21名
	粋な☆しめ縄づくり	1回	30名
	米ぬかカイロづくり	1回	17名
心と体の健康づくり事業	スマイルの時間	22回	958名
	ここからケア	6回	172名
	ぼかぼか体操	19回	685名
	じんわりストレッチ	22回	629名
三世代交流	布で小物作り	1回	32名
	〇×クイズ◇アドベンチャー迷路	2回	131名
同好会	絵手紙同好会	12回	117名
	クッキング同好会	休止	0名
	男の手料理同好会(火・水コース)	休止	0名

(3) 児童センター事業

今年度も引き続き1日の開館時間を3回に区切り、利用制限の措置を実施した。予約なしで自由来館できることが利用者から大変喜ばれた。感染対策を徹底し、安心・安全に遊べるように配慮した。

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とカプラ・ボードゲーム・すごろく・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有した。一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。

今年度で2年目になる三世代交流「卓球大会」では、地域の方とつながり親睦を深めた。卓球の礼儀やルールの知識を高め、様々な年代の方と真剣勝負をして交流を図った。

また、四季折々の工作・歳時記体験で昨年に引き続きしめ縄作りを行い、日本の伝統文化に親しんだ。華道は定例の教室に加え、発表の場を設け、多くの方に観てもらい、褒めてもらう事で自信や達成感につながった。茶道は単発ではなく、年間の教室開催として継続的に行った。特に、新年おたのしみ会で日頃のお点前の成果を参加者に披露した。そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュやストレス発散できる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

保護者の子育ての不安や日常生活に寄り添うことで、安心して子育てができる場所、信頼できる関係性を結んだ。子どもの遊びの拠点・居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じた機能や役割の充実と関係機関との連携を密にし、適切に対応することができた。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし地域ボランティアの方々と連携を図りながら、いかに子どもたちと関わるかを最優先にし、実施できることに一つ一つ取り組む。「あそび」を通して体験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育てて逞しく生きていく学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を継続していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	24回	239名
	あーと・らぼ	30回	481名
	親子あそび(ぬりえ・ままごと・知育玩具)	292回	9,813名
児童・生徒の健康・体力に関すること	卓球	225回	2,635名
	一輪車	153回	672名
	竹馬	163回	653名
	カプラ	95回	473名
	けん玉教室・けん玉	196回	1,072名
	ボードゲーム (オセロ・人生ゲーム・カロム・将棋)	292回	8,048名
	コマ	157回	770名
	ねころびシアター	40回	392名

他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	10回	316名
	子ども茶道教室	12回	145名
	新年おたのしみ会	1回	95名
	カブラであそぼ～！	1回	29名
	夏休みチャレンジ教室	10回	226名
	世界のボードゲームであそぼ～！	10回	219名
	夏の特別企画「手作りなぞとき迷路に挑戦しよう！」	4回	200名
三世代交流	卓球大会	1回	35名
健全な情緒育成に関すること	コンサート（クリスマス・七夕）	2回	94名
	子ども歳時記体験（工作・しめ縄・料理）	3回	76名
	お手玉であそぼ～！	1回	18名
	レッツ！フラダンス	1回	37名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
610名 (463)	80名 (112)	9名 (11)	633名 (652)	1,332名 (1,238)

*（ ）内は前年度

① 防犯・不審者対策について

子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。
また、毎月1回、災害や火災の想定で避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重要度に注意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどに留意したほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

(4) 母子・父子福祉センター事業

ひとり親（母子・父子）家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・調剤薬局事務講座・簿記入門講座・日商簿記3級検定対策講座・パソコン教室を開催した。今年度は医事コンピュータ講座を企画していたが、受講生が集まらず開講できなかった。調剤薬局事務講座では託児依頼があり、受講生は子どもを預け安心して授業に取り組むことができた。講師は、一人ひとりに目を向けて、丁寧な指導をされ、講義終了後、残って質疑応答の対応も行われた。回数を重ねるたびに講師との距離も縮まり、和やかな雰囲気での授業が進行し、勉強だけではない良い交流も図れていた。

また、昨年度からひとり親家庭の就労支援として、就職活動時の託児を設けた。子育て支援課からの紹介で6件の託児を行った。ハローワークでの面談や面接を集中して受ける

ことができた」と好評だった。

子育て支援事業としては、おやこタイム・おやこ広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。4カ月健診後のおやこタイムでは、同じ月齢の子を持つ父・母達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。他の親子とのつながりを求める親が積極的に参加し、最近では、父親の参加も増え、主体的に子育てに関わっている様子が伺える。

少子化の影響で参加人数自体は減少しているが、少人数は一つの輪になりやすく、全体的に落ち着いて交流できている。おやこ広場ではゆったりと遊びながら、親子の時間を過ごし、毎週続けて来る方が多く、安心して楽しく遊べる場所になっている。離乳食や卒乳の話、また保育所選びや手続きなど、よい情報交換の場になっている。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度は7回の開催となった。調理実習室が使用できるようになったので、にこにこクッキングを4年ぶりに開催した。久しぶりのクッキングで、料理好きな親子がたくさん集まった。その他、初挑戦のポーセラーツ、ちぎり絵、毎年恒例のクリスマスリース作りなど幅広い内容の交流会を開催した。就学前の子どもから高校生まで、様々な年齢の参加者が集まり良い交流の場となった。顔馴染みも増え、笑顔で挨拶する様子が見られるようになった。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	10回	34名
	医療事務講座	21回	144名
	簿記入門講座	10回	107名
	日商簿記3級検定対策講座	10回	49名
	調剤薬局事務講座	8回	48名
	託児	8回	23名
子育て支援	おやこタイム	48回	914名
	おやこ広場	45回	656名
	ひとり親家庭の親子交流会	7回	73名
	託児	6回	6名
母子・児童センター 合同企画	ハッピー子育て講座	1回	49名

(5) 福祉センター事業「よりあい広場」

尾道市在住の方ならどなたでも参加できる「よりあい広場」を企画・実施した。福祉センターが新型コロナワクチン接種会場になっていたため、限られた部屋での開催となったが、定期的を実施することができた。どの企画も多く市民から申し込みがあり、中でも音楽鑑賞は人気が高く幅広い年齢層の方が集まった。新たな企画としては、「バレエ発表会」、「新春邦楽コンサート」〈尺八と箏の演奏〉を開催した。バレエ発表会では、普段見る機会がない方たちが鑑賞し、華麗な衣装を身に纏った子どもたちがかわいらしく踊る姿に目を細めて眺めた。尺八と箏の演奏会では、新春を祝う曲を伝統楽器の流麗な演奏の世界に引き込まれ、新春を飾るいい企画となった。さらに恒例となっている「たおるマジック」では、毎年欠かさず参加する方がおられ、一枚のタオルに命を吹き込み可愛い人形制作を楽しんだ。1年を通して様々な内容を企画し、広く市民の方に福祉センターを知ってもらおう機会になった。次年度も引き続き市民の方々を対象に魅力ある講座を開催していく。

事業（よりあい広場）の内容

事業名	開催日	参加人数
いやしのハワイアン・フラ	6月23日(金)	58名
二胡のコンサート	7月14日(金)	75名
あなたと僕と音楽と	9月10日(日)	69名
バレエ☆発表会	10月29日(日)	79名
たおるマジック～干支の“タツ”を作ろう～	12月12日(火)	34名
新春邦楽(器)コンサート	1月20日(土)	64名
スマイル(器)コンサート	3月26日(火)	80名
合計		459名

12. 共同募金事業

(1) 赤い羽根共同募金

各地区・自治会からの戸別募金をはじめ、尾道駅や店舗前での街頭募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置などの募金活動を実施した。様々な工夫をしながら活動を展開したが、人口減少や物価高騰、町内会組織の変化等厳しい状況であり、募金実績額は前年度より減少した。

令和4年度募金実績による令和5年度配分金は、各地区社協やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

ア 監査・実施委員会会議の開催

- ・ 監査 5月26日（金）
- ・ 審査委員会会議 8月9日（水）
- ・ 運営委員会会議 9月25日（月）
- ・ 目標額と実績 令和5年度 [参考] 令和4年度

目標額	21,500,000円	目標額	21,500,000円
実績額	18,208,216円	実績額	18,327,143円

イ 募金実績の内訳

(単位：円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
戸別	6,731,000	568,200	1,372,500	2,092,400	1,042,800	11,806,900
街頭	637,390	105,251	126,516	581,647	58,893	1,571,984
法人	1,292,000	330,639	554,000	163,000	306,000	2,662,666
学校	162,191	12,785	31,519	20,043	19,893	246,431
職域	1,110,502	110,625	109,453	361,317	307,652	1,920,235
合計	9,933,083	1,127,500	2,193,988	3,218,407	1,735,238	18,208,216

ウ 令和5年度配分実績（令和4年度の募金を、令和5年度の事業費として活用）

- 1 地区社協に配分（63地区社協） 6,421,000円
 - (1) 募金実績助成金（3,489,000円）
 - (2) 自主事業助成金（2,932,000円）
- 2 ボランティア・福祉団体等に配分 1,485,000円
 - (1) ボランティア・福祉団体助成金
 - 手話・朗読・点字・介助・読み語りボランティア団体等 28団体
 - (2) 当事者団体助成金
 - 尾道市老人クラブ連合会、身体障害者福祉連合会等 11団体
 - (3) 地域福祉団体助成金
 - 尾道市連合民生委員児童委員協議会、因島地区区長連合会 2団体
 - (4) ボランティア団体等特別事業への助成金
 - 尾道市手をつなぐ連合育成会 1団体

3 市社協事業費に配分 3,436,258 円

福祉総合相談、福祉まつり、福祉教育、ボランティア養成、子育て支援、ふれあいサロンの6事業

4 広島県共同募金会より県内の福祉活動に配分 8,016,000 円

(2) 能登半島地震災害義援金

本会では、令和6年能登半島地震により被災された方々を支援することを目的に、本所・各支所にて義援金を受け付けた。

【総額=1,948,910円】(令和6年3月31日現在)

皆様から寄せられた義援金は、中央共同募金会を通じて被災地へ届けられます。

13. 災害支援事業

(1) 被災者生活サポートボラネット推進事業

災害時において迅速な連携のもと被災者支援が行えるよう、被災者生活サポートボラネット推進会議や勉強会を開催した。

また、「マニュアル改訂ワーキングチーム会議」で、被災者支援のあり方について協議を重ね、災害ボランティアセンターの設置検討に必要な被災状況等の情報収集の仕組みを構築した。

《会議・勉強会》

開催日	場 所	内 容	参加者
2月14日(水)	総合福祉センター	「尾道市被災者生活サポートボラネット推進会議」 ・災害時における市災ボラネットと組織団体の取り組みについて ・勉強会「被災者生活サポートボラネットによる被災者支援の展開」 講師：広島県社会福祉協議会 地域福祉課主任 松井寛泰さん	11名

14. 地域包括支援センター事業

新型コロナウイルス感染症に対する不安は引き続きあったが、職員9人体制で徐々に地域での活動や研修を再開し、介護予防支援及び包括的支援事業（介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、介護予防普及啓発事業、介護予防把握事業、認知症地域支援・ケア向上事業を実施した。

(1) 総合相談・支援業務

相談内容														
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入院時連携	入院入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	介護離職防止	その他	計
実件数	99	35	20	60	77	29	557	68	41	12	24	0	57	1,079
延件数	259	121	61	171	208	69	1,374	165	85	44	49	0	129	2,735
区域外	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(2) 介護プラン作成件数（延べ） 5,139 件

介護予防		総合事業	
直営作成	2,050件	直営作成	1,644件
委託作成	864件	委託作成	581件
合計	2,914件	合計	2,225件

(3) 介護予防普及啓発事業

月 日	事 業	参加者数
4月5日(水)	平原はつらつサロン・平原台ぼかぼかサロン「予防体操」「脳トレ体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	27名
4月26日(水)	いきいきサロン新浜「地域包括ケアシステムについて」 講師：有元 愛 土橋健太郎	8名
5月15日(月)	モリंगा「知ろう認知症支えよう大切な人」「予防体操」 講師：住田八重 楠千賀子	13名
5月18日(木)	むつみ会「暑熱順化・熱中症予防について」「タオル体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	15名
5月19日(金)	福寿会「熱中症予防について」「タオル体操」「予防体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	15名
5月25日(木)	シルバーリハビリ体操西部地区定例会「熱中症予防について」 講師：兼長亜実	18名
5月31日(水)	男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	24名
6月1日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：小林雅子	16名
6月5日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：楠千賀子 赤瀬真由美	9名

6月5日(月)	ふれあいサロンもみじ「成年後見制度について」「終活について」 講師：小林雅子 赤瀬真由美	16名
6月6日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：有元 愛 土橋健太郎	26名
6月15日(木)	平原はつらつサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	18名
6月20日(火)	福寿会「栄養について学ぼう」 講師：尾道市健康推進課栄養士 生田殊子さん 兼長亜実 有元 愛	15名
6月28日(水)	平原台ぼかぼかサロン「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	9名
7月1日(土)	にこにこクラブ「熱中症予防について」「消費者被害について」 講師：兼長亜実 住田八重	23名
7月5日(水)	尾道健志塾「熱中症予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	15名
7月5日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：有元 愛	21名
7月7日(金)	吉浦さくらクラブ 「熱中症予防について」「認知症の基礎知識・対応方法について」「認知症に関する社協事業について」「頭と身体の体操」 講師：西部圏域生活支援コーディネーター 柏原有利菜 兼長亜実 住田八重 楠千賀子	31名
7月12日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友 「熱中症予防について」「コグニサイズ」 講師：住田八重 楠千賀子 有元 愛	28名
7月14日(金)	門田ほほえみサロン「熱中症予防について」「オーラルフレイルについて」「口腔体操」「脳を使ったゲーム」 講師：兼長亜実 有元 愛	25名
7月20日(木)	シルバーリハビリ体操吉浦教室 「熱中症予防について」「頭と身体の体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	13名
7月24日(月)	尾道市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 講師：尾道市健康推進課 中国労働衛生協会 第一生命 有元 愛 赤瀬真由美	21名
9月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友「口腔について」 講師：野田知子	25名
9月15日(金)	イオンイベント「ころばぬ先のフレイル対策」 講師：尾道市地域包括支援センター 半田蓮斗さん 兼長亜実 住田八重 楠千賀子	9名
9月15日(金)	イオンイベント「ころばぬ先のフレイル対策」「コグニサイズ」 講師：尾道市地域包括支援センター 半田蓮斗さん 兼長亜実 住田八重 楠千賀子	13名
9月19日(火)	福寿会「シルバーリハビリ体操」 講師：シルバーリハビリ体操指導士 有元 愛 土橋健太郎	10名
10月3日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛 土橋健太郎	25名

10月4日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：有元 愛 住田八重	23名
10月11日(水)	男のストレッチ「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	20名
10月16日(月)	ふれあいサロン松岡団地「インフルエンザ予防について」「認知症についての話し」「コグニサイズ」「脳トレ」 講師：住田八重 楠千賀子	10名
10月17日(火)	福寿会「インフルエンザ予防について」「認知症についての話し」「コグニサイズ」「ゲーム」 講師：住田八重 楠千賀子	12名
10月18日(水)	ふれあいサロン吉和「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	18名
10月19日(木)	むつみ会「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	19名
10月26日(木)	シルバーリハビリ体操西部地区定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	19名
10月27日(金)	スマイルの時間「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	23名
11月1日(水)	健志塾「インフルエンザ予防について」「予防体操」「脳トレ」 講師：兼長亜実 有元 愛	16名
11月2日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会 「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	15名
11月4日(土)	にこにこクラブ「インフルエンザ予防について」「ヒートショックについて」「成年後見制度について」 講師：兼長亜実 小林雅子	28名
11月9日(木)	川上さくらんぼ会「インフルエンザ予防について」 「終活について」「介護保険制度について」 講師：赤瀬真由美 小林雅子	7名
11月10日(金)	尾道市高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業 講師：尾道市健康推進課 中国労働衛生協会 第一生命 兼長亜実 土橋健太郎	10名
11月13日(月)	門田ほほえみサロン「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	32名
11月15日(水)	平原台ぼかぼかサロン「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実 有元 愛	8名
11月16日(木)	シルバーリハビリ体操吉浦教室「インフルエンザ予防について」「ACPについて」「脳トレ体操」 講師：兼長亜実 有元 愛	15名
11月21日(火)	福寿会「ヤクルト健康教室～うんちは健康のバロメーター」 講師：株式会社ヤクルト山陽 栗木原史弥さん 兼長亜実 有元 愛	12名
11月22日(水)	平原はつらつサロン「インフルエンザ予防について」 講師：兼長亜実	19名

11月28日(火)	尾道市老人クラブ連合会 「ACP・終活について」「成年後見制度について」 講師：赤瀬真由美 小林雅子	43名
12月12日(火)	いきいきサロンひまわり「インフルエンザ予防について」 「介護保険制度・施設について」 講師：小林雅子 土橋健太郎	13名
1月28日(日)	日比崎地区老人クラブ連合会「介護認定を受ける前に利用できるサービスについて」「地域づくりについて」 講師：尾道市地域包括支援センター 半田蓮斗さん 西部圏域生活支援コーディネーター 柏原有利菜 土橋健太郎	21名
2月19日(月)	福寿会「身体を動かそう」 講師：赤瀬真由美 小林雅子	12名
3月6日(水)	健志塾「ACPについて」 講師：兼長亜実 有元 愛	23名
3月6日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会 「口腔ケア・非常時の口腔健康管理について」 講師：有元 愛	20名
3月21日(木)	シルバーリハビリ体操吉浦教室 「脳トレ体操」「脳と身体を使ったゲーム」 講師：兼長亜実 有元 愛	11名
3月27日(水)	平原台ぼかぼかサロン 「脳トレ体操」「脳と身体を使ったゲーム」 講師：兼長亜実 有元 愛	7名

(4) 地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月4日(火)	第3区民協定例会	オレンジカフェの案内について	28名
4月5日(水)	第4区民協定例会	オレンジカフェの案内について	23名
4月6日(木)	第9区民協定例会	オレンジカフェの案内について	18名
4月26日(水)	ねんりんはうす運営推進会議	スライドによるご利用者様の状況について	9名
5月2日(火)	第3区民協定例会	通いの場での安心・安全のための活動ポイント	28名
5月8日(月)	第10区民協定例会	通いの場での安心・安全のための活動ポイント	11名
5月10日(水)	第4区民協定例会	尾道市高齢者のための在宅福祉サービスについて	24名
5月31日(水)	にしごこの家運営会議	高齢者虐待防止の指針について	7名
6月1日(木)	第9区民協定例会	熱中症予防について	18名
6月5日(月)	第10区民協定例会	熱中症予防について	12名
6月6日(火)	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修部会	年間の研修計画について	6名
6月6日(火)	第3区民協定例会	熱中症予防について	28名

6月24日(土)	栗原本通り第一町内会 第2回役員会	小地域ネットワーク事業・町内会マップ作成・見守り活動について	14名
6月24日(土)	ねんりんほうす運営会議	コロナ対策について	9名
7月3日(月)	第10区民協定例会	特殊詐欺について	13名
7月4日(火)	第3区民協定例会	9月12日開催の介護支援専門員との意見交換会について	28名
7月5日(水)	第4区民協定例会	熱中症予防について	22名
7月6日(木)	第9区民協定例会	見てわかる在宅医療・在宅介護について	20名
7月21日(金)	尾道市地域包括支援センター運営会議	包括支援センター機能評価等について	23名
7月21日(金)	介護予防一体化事業	第1回西則末ふれあいサロン「おのみちフレイル予防チャレンジ」	21名
7月26日(水)	にしぎこの家運営会議	ヤングボランティアの受け入れについて	9名
7月27日(木)	第9期介護保険事業計画ヒヤリング会議	第9期介護保険事業計画西部圏域の現状について	13名
8月1日(火)	第3区民協定例会	尾道市服薬情報通知事業について	27名
8月2日(水)	第4区民協定例会	尾道市服薬情報通知事業について	24名
8月3日(木)	第9区民協定例会	尾道市服薬情報通知事業について	17名
8月7日(月)	第10区民協定例会	尾道市服薬情報通知事業について	11名
8月22日(火)	令和5年度市町等苦情処理ブロック別連絡会議	国保連への苦情・相談の現状について	17名
9月4日(月)	第10区民協定例会	救急の日 市民公開講座について	11名
9月6日(水)	第4区民協定例会	救急の日 市民公開講座について	24名
9月7日(木)	第9区民協定例会	救急の日 市民公開講座について	20名
9月12日(火)	第3区民協定例会	介護支援専門員との意見交換会	62名
9月16日(土)	栗原本通り町内会 第4回役員会	小地域ネットワーク推進事業・協議体の説明	7名
9月27日(水)	にしぎこの家運営会議	おのみち見守り訓練について	6名
9月28日(木)	なでしこ運営推進会議	コロナ対策について	15名
9月29日(金)	令和5年度第2回おのみちこころネットワーク協議会	対応に苦慮している2事例について検討	18名

10月2日(月)	第10区民協定例会	福祉まつりについて 12月開催予定の介護支援専門 員との意見交換会について	13名
10月3日(火)	第3区民協定例会	インフルエンザ予防啓発	27名
10月4日(水)	第4区民協定例会	インフルエンザ予防啓発	24名
10月5日(木)	第9区民協定例会	在宅介護者の集いについて	18名
10月24日(火)	尾道市地域包括ケア連絡協議 会研修部会	令和6年2月の研修会につい て	6名
10月28日(土)	ねんりんほうす運営会議	入所者の利用状況について	7名
11月1日(水)	第4区民協定例会	認知症にやさしいまちづくり 講演会について	22名
11月2日(木)	第9区民協定例会	インフルエンザ予防啓発	17名
11月6日(月)	第10区民協定例会	介護支援専門員との意見交換 会開催について	10名
11月7日(火)	第3区民協定例会	認知症に優しいまちづくり講 演会について	32名
11月8日(水)	尾道市地域包括ケア連絡協議 会推進部会	包括が作成した元気づくりマ ップについて	20名
11月10日(金)	介護予防一体化事業	西則末サロン「おのみちフレ イル予防チャレンジ」	22名
12月4日(月)	第10区民協定例会	介護支援専門員との意見交換会	41名
12月4日(月)	第4区民協定例会	認知症見守り訓練について	24名
12月5日(火)	第3区民協定例会	短期集中型通所サービス ちから塾・元気塾について	30名
12月7日(木)	第9区民協定例会	短期集中型通所サービス ちから塾・元気塾について	19名
1月9日(火)	第10区民協定例会	短期集中型通所サービス ちから塾・元気塾について	12名
1月11日(木)	第9区民協定例会	令和5年度孤独・孤立講演会 について	16名
1月13日(土)	栗原本通り第一町内会会議	見守り活動について・町内会 への防災グッズ配布について	15名
1月21日(日)	尾道市社会福祉協議会 介助ボランティア養成講座	高齢者の現状について 講師：野田知子	18名
1月24日(水)	尾道市地域包括ケア連絡協議 会地域包括ケア推進部会	社会的フレイル予防 通いの場への取組について	21名
2月1日(木)	第9区民協定例会	尾道警察から特殊詐欺とオト モポリスの説明	24名
2月2日(金)	大阪府豊能郡豊能町議会 福祉教育常任委員会視察	地域包括ケアシステムについ て	11名
2月5日(月)	第10区民協定例会	尾道警察から特殊詐欺とオト モポリスの説明	12名

2月6日(火)	第3区民協定例会	尾道警察から特殊詐欺とオトモポリスの説明	30名
2月7日(水)	第4区民協定例会	尾道警察から特殊詐欺とオトモポリスの説明	25名
2月14日(水)	尾道市地域包括ケア連絡協議会研修部会	来年度の研修計画について	7名
2月21日(水)	短期集中型通所サービス事業	地域包括支援センターの合同意見交換会	53名
3月4日(月)	第10区民協定例会	今年度と来年度に向けての挨拶	11名
3月5日(火)	第3区民協定例会	いきいき大学について	29名
3月5日(火)	令和5年度小地域ネットワーク活動実践発表会	栗原本通り第一町内会「地域のつながりを見守り活動を」	149名
3月6日(水)	第4区民協定例会	非常時の口腔健康管理について	23名
3月7日(木)	第9区民協定例会	介護支援専門員との意見交換会	53名
3月22日(金)	尾道市地域共生包括化推進会議	地域共生包括化推進会議について	25名
3月27日(水)	尾道市地域包括ケア連絡協議会地域包括ケア推進部会	元気づくりマップの広報について	21名
3月27日(水)	にしごこの家運営会議	事業所の運営状況について	8名
3月29日(金)	ねんりんはうす運営会議	第22回身体拘束廃止委員会	9名
3月30日(土)	栗原本通り町内会	小地域ネットワーク推進事業の振り返りと地域課題について	18名

(5) 認知症地域支援推進員の活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月11日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	7名
4月12日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	33名
4月25日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	17名
4月26日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
4月26日(水)	ねんりんはうす尾道運営推進会議	運営状況の報告 身体拘束廃止委員会	7名
5月2日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	9名
5月10日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	33名
5月24日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	5名
5月31日(水)	にしごこの家運営推進会議	運営状況の報告 高齢者虐待指針について	7名
6月6日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名

6月14日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	36名
6月24日(土)	ねんりんはうす尾道運営推進会議	運営状況の報告 身体拘束廃止委員会	8名
6月27日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	22名
6月28日(水)	イオンなんでも相談会	相談会立ち上げについて	2名
7月4日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
7月10日(月)	おのみち見守り訓練準備会議	おのみち見守り訓練に関する内容検討	5名
7月26日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
7月26日(水)	にしごこの家運営推進会議	運営状況の報告 おのみち見守り訓練について	8名
8月1日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	7名
8月9日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	24名
8月23日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	0名
8月28日(月)	おのみち見守り訓練準備会議	おのみち見守り訓練に関する内容検討	10名
8月29日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	19名
8月30日(水)	イオン感謝祭イベント打ち合わせ	イオン感謝祭イベントでの内容検討	6名
9月1日(金)	認知症について啓発活動	アルツハイマーデー月間普及啓発・パネル展示について	5名
9月4日(月)	介護の日イベント準備会議	イベントでの内容検討	6名
9月4日(月)	福祉まつり打ち合わせ	高齢者(認知症)相談会について	20名
9月5日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
9月13日(水)	認知症相談会	アルツハイマーデー月間普及啓発 相談会	4名
9月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	29名
9月15日(金)	イオン感謝祭イベント	イオン感謝祭イベント支援	35名
9月17日(日)	西迫地区、会長班長会議	西迫地区おのみち見守り訓練準備会議	10名
9月20日(水)	介護の日イベント準備会議	イベントでの内容検討	6名
9月27日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
10月3日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
10月11日(水)	介護の日イベント準備会議	介護の日イベントについて	8名

10月11日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	27名
10月15日(日)	おのみち福祉祭り	認知症相談会	4名
10月16日(月)	ふれあいサロン松岡団地 認知症に関する介護教室	「認知症についての話し」 「コグニサイズ」 講師：住田八重 楠千賀子	10名
10月17日(火)	福寿会 認知症に関する介護教室	「認知症についての話し」 「コグニサイズ」 講師：住田八重 楠千賀子	12名
10月24日(火)	在宅介護者の集い	介護の日 家族介護応援セミナー「家族介護教室」	33名
10月25日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
10月25日(水)	おのみち見守り訓練準備会議	おのみち見守り訓練に関する こと	10名
10月28日(土)	ねんりんはうす尾道運営推進 会議・身体拘束廃止委員会	運営状況の報告	6名
11月7日(火)	認知症推進員と初期集中支援 チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活 動支援等	7名
11月8日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に 関すること	29名
11月22日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
11月27日(月)	西迫地区おのみち見守り訓練	おのみち見守り訓練開催	51名
11月27日(月)	にしごこの家運営推進会議	おのみち見守り訓練反省会	7名
12月5日(火)	認知症推進員と初期集中支援 チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活 動支援等	9名
12月6日(水)	広島県東部認知症疾患医療セ ンターと会議	意見交換会等	17名
12月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に 関すること	28名
12月19日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について	17名
1月9日(火)	認知症推進員と初期集中支援 チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活 動支援等	7名
1月10日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に 関すること	34名
1月16日(火)	久山田地区(やまびこ)カフェ 立ち上げ会議	認知症カフェの立ち上げ支援 に関する こと	11名
1月21日(日)	吉浦地区カフェ立ち上げ会議	認知症カフェの立ち上げ支援 に関する こと	20名
1月24日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	3名
2月6日(火)	久山田地区(やまびこ)カフェ 立ち上げ会議	認知症カフェの立ち上げ支援 に関する こと	17名
2月14日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に 関すること	35名

2月18日(日)	吉浦地区カフェ立ち上げ会議	認知症カフェの立ち上げ支援に関すること	15名
2月20日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	8名
2月27日(火)	在宅介護者の集い	家族交流会等について 家族介護体験談	37名
2月27日(火)	ねんりんはうす尾道運営推進会議	運営状況の報告 身体拘束廃止委員会	7名
2月28日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
2月28日(水)	にしごこの家運営推進会議	事業所外部評価実施	8名
3月4日(月)	オレンジカフェ連絡会	グループワークで意見交換会	76名
3月5日(火)	久山田地区(やまびこ)カフェ立ち上げ会議	認知症カフェの立ち上げ支援に関すること	11名
3月5日(火)	認知症推進員と初期集中支援チーム員(北チーム)との会議	認知症初期集中支援チーム活動支援等	6名
3月6日(水)	個別支援地域ケア会議	今後の支援方法(市町村申し立て等)	9名
3月13日(水)	オレンジカフェ福祉センター・友	認知症カフェの開催・支援に関すること	33名
3月17日(日)	オレンジカフェ吉浦カフェ	認知症カフェの開催・支援に関すること(プレオープン)	28名
3月27日(水)	イオンなんでも相談会	高齢者の相談対応等	4名
3月27日(水)	にしごこの家運営推進会議	事業所外部評価報告	6名

(6) 包括支援センター会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月13日(木)	介護予防・生活支援部会	令和5年度の主な活動目標について	18名
4月14日(金)	権利擁護部会	令和5年度の主な活動目標・年間計画について	14名
4月18日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	令和4年度の活動の成果と令和5年度の重点課題について	17名
4月20日(木)	管理者会議	令和5年度の活動目標と計画について	10名
4月21日(金)	認知症施策推進部会	令和4年度の現在の重点課題と令和5年度主な目標について	14名
5月12日(金)	権利擁護部会	9月開催予定の尾道警察との勉強会について	15名
5月16日(火)	介護予防・生活支援部会	元気づくりマップ作成について	18名
5月17日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	9月のACP普及推進員との活動報告会にむけて	15名
5月19日(金)	管理者会議	広島県地域包括ケアシステムのコアコンセプトについて	10名

5月23日(火)	認知症施策推進部会	令和5年度の計画について	16名
6月8日(木)	介護予防・生活支援部会	生活支援コーディネーターとの意見交換について	15名
6月9日(金)	権利擁護部会	高齢者虐待研修会について	14名
6月16日(金)	認知症施策推進部会	認知症パネル展の内容について	17名
6月16日(金)	管理者会議	活動実績報告について	10名
6月19日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	1月開催の障害から介護への移行支援事例報告共有の会議について	15名
7月13日(木)	介護予防・生活支援部会	研修企画について	16名
7月14日(金)	権利擁護部会	虐待マニュアル見直しについて	15名
7月21日(金)	認知症施策推進部会	チームオレンジについて	15名
7月21日(金)	管理者会議	保健事業と介護予防の一体的事業の進捗状況について	10名
7月24日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	圏域のネットワーク会議について	16名
8月10日(木)	介護予防・生活支援部会	元気づくりマップ 個人宅での開催の記入の仕方について	16名
8月16日(水)	権利擁護部会	「高齢者虐待対応専門職員派遣事業」を活用して対応した高齢者虐待ケースについて	14名
8月17日(木)	管理者会議	活動実績報告について	10名
8月21日(月)	認知症施策推進部会	講演会の内容・テーマについて	16名
8月23日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修会について	16名
8月25日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員、ケアマネ協、包括との研修開催に向けての事前打ち合わせ会議	9名
9月6日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員との打ち合わせ報告	14名
9月7日(木)	認知症施策推進部会	認知症パネル展についての報告	16名
9月8日(金)	権利擁護部会	尾道警察署との意見交換会についての振り返り	15名
9月13日(水)	介護予防・生活支援部会	元気づくりマップの使い方について	17名
9月21日(木)	管理者会議	担当者会議について	10名
10月11日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員、ケアマネ協、包括との研修開催に向けての事前打ち合わせ会議	9名
10月12日(木)	介護予防・生活支援部会	協議体の進捗状況について	16名
10月13日(金)	権利擁護部会	本人に課題があり、身寄りのいないケースの支援について	14名

10月17日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員との研修について	14名
10月19日(木)	管理者会議	担当者会議で行う介護予防プランの説明について	10名
10月26日(木)	認知症施策推進部会	認知症カフェ連絡会について	14名
11月9日(木)	介護予防・生活支援部会	元気づくりマップの活用について	13名
11月15日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員との研修振り返り	15名
11月20日(月)	権利擁護部会	他害の可能性のある高齢者を警察との協力により精神科へつなげたケースについて	15名
11月21日(火)	管理者会議	担当者会議の分担について	10名
11月22日(水)	認知症施策推進部会	認知症講演会の振り返り	14名
12月6日(水)	認知症施策推進部会	認知症疾患医療センターとの連携会議について	17名
12月8日(金)	権利擁護部会	生活困窮者特別支援事業『きりふだ』について	16名
12月15日(金)	介護予防・生活支援部会	元気づくりマップについて(配布版の修正と活用について)	17名
12月21日(木)	管理者会議	保健事業と介護予防の一体的事業について	10名
1月12日(金)	権利擁護部会	広報おのみち掲載記事案について	14名
1月17日(水)	在宅医療・介護連携推進部会	障害福祉サービスと連携したケースについて	14名
1月18日(木)	管理者会議	尾道市自立支援型地域ケア会議第1回から16回:29事例の傾向と課題についての報告	10名
1月26日(金)	認知症施策推進部会	認知症初期集中支援チーム検討委員会について	15名
2月9日(金)	権利擁護部会	地域共生重層的支援体制整備事業の実務者によるワーキングについて	17名
2月15日(木)	管理者会議	令和6年度介護報酬改定における改定事項について	10名
2月26日(月)	介護予防・生活支援部会	令和5年度成果と課題の確認	18名
2月27日(火)	認知症施策推進部会	認知症カフェ連絡会について	16名
2月27日(火)	在宅医療・介護連携推進部会	令和5年度成果と課題について	17名
3月8日(金)	権利擁護部会	令和5年度反省について	17名
3月11日(月)	在宅医療・介護連携推進部会	障害者相談支援専門員との協議内容報告について	14名
3月18日(月)	認知症施策推進部会	令和5年度成果と課題の確認	16名

3月21日(木)	管理者会議	介護予防支援を居宅が直に受ける事について	10名
3月25日(月)	介護予防・生活支援部会	令和5年度の成果と令和6年度の目標について	18名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催
 西部圏域生活支援コーディネーターとの共同会議を毎月1回開催
 在宅サービス課介護事業所会議に月1回出席

(7) 研修等

ア 尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加者数
5月16日(火)	尾道市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会 「適切なケアマネジメント手法とは？」 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	2名
7月26日(水)	「看取り・ACPについて」 講師：JA尾道総合病院副院長・緩和ケアセンター長 広島県ACP普及推進員 則行敏生先生	2名
8月17日(木)	第243回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和5年度防災研修(災害支援リーダー養成研修伝達講習)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文 住田八重	3名
9月22日(金)	第244回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「高齢者一人一人に合わせた嚥下や栄養に関するマネジメントについて～疾患に合わせた分かりやすい栄養指導の方法」 講師：猪原歯科・リハビリテーション科 管理栄養士 樫野和子さん	1名
10月20日(金)	野中式事例検討会～アセスメント力向上に向けた指導力を養う～ 講師：社会福祉法人半田市社会福祉協議会 前山憲一さん 事例提供者：JA尾道市なごみ居宅介護支援事業所 小田桐美穂さん	3名
10月23日(月)	第246回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「相談支援専門員と介護支援専門員の意見交換」	2名
11月15日(水)	「高齢者に多い神経難病について」 講師：尾道市立市民病院 山脇泰秀先生	4名
12月14日(木)	尾道市内施設ケアマネ研修 「どうしていますか？あんな事やこんな事」	1名
1月15日(月)	第247回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市社会福祉協議会の事業紹介」 講師：尾道市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤友亮 榎麻美 暮らしサポートセンター 高橋望 村上瑞	1名
2月15日(木)	野中式事例検討会 検討会進行：ケアマネジメントこねくと 安井由枝さん 事例提供者：ケアプランセンターすまいる 水ノ上加代さん	3名
2月21日(水)	「オーラルフレイル予防」 講師：黒瀬歯科医院院長 黒瀬 濟先生	3名

2月22日(木)	「第249回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	3名
----------	---	----

イ 広島県・その他

月 日	内 容	参加者数
4月21日(金)	第12回尾道市自立支援型地域ケア会議 「老いを受け入れつつ在宅での生活を継続したい」 事例提供者：尾道市東部地域包括支援センター 俣野和江さん 「腎不全の方が気軽にできるレシピを教えて欲しい」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター瀬戸田支所 越智真由美さん	6名
4月～7月	広島県介護支援専門員実務研修	1名
6月13日(火)	2023年度地域づくり講演会～尾道の空き家を活用したまちづくり～ 講師：NPO法人尾道空き家再生プロジェクト代表 豊田雅子さん	2名
6月16日(金)	第13回尾道市自立支援型地域ケア会議 「腎不全を抱えながらできる体力づくりを検討して欲しい」 事例提供者：土橋健太郎 「91歳高齢女性 自転車に乗れるようになり、地域貢献したい」 事例提供者：尾道市向島地域包括支援センター 高原高美さん	6名
6月30日(金)	令和5年度第1回向島包括圏域医療・介護ネットワーク会議 事例検討「胃妻だったのに、ラーメンが食べられるようになりました」 講師：訪問看護ステーションいちょうの樹 嶋田利恵さん	5名
7月25日(火)	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会主催 「生活支援体制整備事業の本質はどこに？」 講師：一般社団法人コミュニティーネットハピネス 代表理事 土屋幸巳さん	1名
7月26日(水)	令和5年度管理者研修「リーダーとして果たす役割」と「OJT を活用した人材育成」 講師：広島県介護支援専門員協会常任理事 久保田竜二さん	2名
7月28日(金)	令和5年度広島県認定調査員新規研修 講師：広島県健康福祉局医療介護保険課介護保険者支援グル ープ主事 安部陽志さん	1名
8月3日(木)	令和5年度広島県自立支援型ケアマネジメントアセスメント 力向上研修プログラム 広島県循環器病（脳卒中・心血管疾 患）に係る地域セミナー 講師：日比野病院院長 木矢克造先生	1名
8月18日(金)	第14回尾道市自立支援型地域ケア会議 「本人の意欲向上のためにどんな対応ができるのか」 事例提供者：尾道市地域包括支援センター 畑橋由子さん 「地域の会に行こう、とお願いいただける支援についてアド バイスが欲しい」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 桑木淳子さん	2名
8月18日(金)	令和5年度広島県自立支援型地域ケア個別会議司会養成研修 「自立支援型地域ケア個別会議の役割について」 講師：介護予防活動普及展開事業広島県アドバイザー 望月マリ子さん	1名

8月～10月	主任介護支援専門員更新研修	1名
8月24日(木)	広島県社会福祉士会 高齢者・障害者虐待対応関係者情報交換会	2名
9月6日(水) 9月7日(木)	「社協職員としての視点を学ぶ～市社協の理念策定に向けて～」 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学部准教授 中井俊雄さん	9名
9月8日(金)	尾道警察署と尾道市内の地域包括支援センター（権利擁護部会）の情報交換会 講師：尾道警察署生活安全課 高藤英之さん	2名
9月～11月	令和5年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅱ	1名
10月5日(木)	令和5年度中国5県地域包括ケア事業推進セミナー 「住み慣れた地域で私らしい生活を続けられるためには」 講師：石川県立こころの病院認知症疾患医療センター 副所長 村井千賀さん	1名
10月10日(火)	地域包括ケアシステムにおける総合事業の在り方・地域ケア会議について考える～個別課題から地域課題へどう繋いでいくか～ 講師：生駒市役所特命監 田中明美さん	2名
10月11日(水)	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」 講師：介護福祉士 橘高裕行さん	9名
10月18日(水)	令和5年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん	1名
10月19日(木)	「利用者が元気になる介護予防プラン～喜びを感じるケアプランを作ろう～」 講師：大和高田市保健部地域包括ケア推進課 佐藤博美さん	9名
10月19日(木)	尾三地域在宅医療・介護連携研修会「共有意思決定の延長線上でのアドバンス・ケア・プランニング」 講師：安芸市民病院診療部長 松浦将浩先生	3名
10月20日(金)	第15回自立支援型地域ケア会議 「膝の痛みにより本人の望む生活が実現できない事例」 事例提供者：尾道市北部地域包括支援センター 井上絢香さん 「両膝痛があっても料理を楽しんだり、外出したい」 事例提供者：兼長亜実	3名
11月6日(月)	「当院におけるACPの取組み」医療機関から在宅への終末期のつなぎ、連携についての意見交換 講師：尾道市立市民病院 がん看護専門看護師・緩和ケア認定看護師 渡辺陽子さん	8名
11月10日(金)	令和5年度広島県認定調査員フォローアップ研修 講師：広島県介護支援専門員協会	1名
11月16日(木)	令和5年度スーパービジョン研修 講師：県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科教授 金子 努さん	3名
11月16日(木)	くらしサポートセンター事例検討会	2名
11月16日(木)	認知症にやさしいまちづくり講演会～認知症になっても幸せに地域で暮らすために～ 講師：井門ゆかり脳神経内科クリニック医院長 井門ゆかり先生	2名

11月20日（月）	令和5年度福祉専門職等を対象とする個別避難計画策定研修 講師：広島県社会福祉士会会長 三上和彦さん	1名
11月24日（金）	福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修会 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
12月1日（金）	広島県自立支援に資する介護予防ケアマネジメントのための アセスメントマニュアル活用研修 「自立支援型地域ケア会議と住民主体の通いの場」 講師：広島県健康福祉局健康づくり推進課主任 落合由里さん	1名
12月15日（金）	第16回自立支援型地域ケア会議「車を手放してから活動量の 低下、地域の集いの場にどのようにつなげたらよいか」 事例提供者：尾道市向島地域包括支援センター 榎原章恵さん 「大腿骨頸部骨折後の下肢筋力低下防止の支援について」 事例提供者：尾道市南部地域包括支援センター 宮地薫さん	2名
12月22日（金）	令和5年度介護予防専門員向け認知症対応の質の向上研修 「認知症と間違われやすい精神疾患」 講師：広島大学大学院医系科学研究共生社会医学講座 特任教授 石井伸弥先生	3名
12月25日（月）	令和5年度職員交通安全研修 講師：備南自動車学校副管理者 江川佳孝さん	1名
1月18日（木）	尾道市西部圏域 ケアマネジメント質の向上研修会 「困った時に相談できる場所を増やそう」 講師：尾道警察署生活安全課 高藤英之さん	9名
1月19日（金）	令和5年度認知症対応の質の向上研修「せん妄について」 講師：広島大学大学院医系科 共生社会医学講座 特任教授 石井伸弥先生	3名
1月23日（火）	尾道市孤独・孤立対策講演会 孤独・孤立について考えよう 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学部 中井俊雄さん	2名
1月24日（水）	令和5年度第1回在宅サービス課災害対策机上訓練研修 講師：住田八重	7名
2月1日（木）	令和5年度健康ひろしま21圏域推進研修会 「多職種連携によるフレイル予防の取組」 講師：落久保外科循環器内科クリニック理事長 落久保裕之さん	1名
2月8日（木）	令和5年度尾道市集団指導研修 講師：尾道市高齢者福祉課職員	1名
2月6日（火） 2月9日（金）	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスマネジメント協会 大河友美さん	8名
2月9日（金）	中国5県地域づくり応援研修2023 「地域づくり～つながりと社会参加」 講師：広島県地域包括ケア推進センター次長 藤原 薫さん	1名
2月9日（金）	向島圏域医療介護ネットワーク会議 「医療食品の基礎知識 摂食嚥下障害」 講師：株式会社サンキ管理栄養士 安藤美乃里さん	3名
2月13日（火）	感染症対策研修（実地研修） 講師：セントラル病院 感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	4名

2月16日(金)	第17回自立支援型地域ケア会議「視力障害・聴力障害があっても、本人が望む生活の支援について」 事例提供者：尾道市地域包括支援センター 小郷園子さん 「自立支援型地域ケア会議29事例の傾向と課題」 報告：尾道市高齢者福祉課 瀬尾優奈さん	6名
3月14日(木)	高齢者虐待対応研修会 講師：広島県社会福祉士会権利擁護センター ぱあとなあひろしま所属 吉本律子さん	2名
3月19日(火)	認知症初期集中支援チーム 地域支援推進員合同研修会 「最新の認知症施策の動向について」 講師：中国四国厚生局 地域包括ケア推進課 櫃田 彰さん 「第9期ひろしま高齢者プランについて」 講師：広島県地域共生社会推進課認知症共生グループ 主査 藤井敬子さん	2名
3月26日(火)	令和5年度広島県ACP実践事例セミナー 講師：JA尾道総合病院緩和ケアセンター がん性疼痛看護 認定看護師 小田原めぐみさん 広島県地域保健対策協議会 ACP普及促進専門委員会 委員長 本家好文さん	1名

15. 介護保険事業

令和5年度事業計画で定めた事業所目標にそって、全7事業所（本所4事業所・因島支所1事業所・瀬戸田支所2事業所）で、介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業を実施した。

(1) 居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、要介護認定調査、住宅改修等の委託事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

事業所の長期目標を「環境の変化に適宜対応し、業務を継続できる。」短期目標を「①利用者に適切なケアマネジメントを行う。②自然災害時における業務継続計画の策定・研修・訓練の実施ができる。」と定め、ケアマネジャー4名で業務を行った。

また、広島県介護支援専門員実務研修実習生、県立広島大学保健福祉学部看護学コース実習生の受け入れや、ファシリテーターとして、広島県介護支援専門員協会主催の介護支援専門員専門研修、適切なケアマネジメント手法研修へ参加した。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 162件、要介護認定調査実施件数 77件

介護保険

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4	8	44	59	20	16	6	157

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	3	2	5

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人、事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
7月19日(水)	介護事業所・ふれ愛デイサービスセンター合同災害避難訓練	4名
9月7日(木)	「社協職員としての視点を学ぶ～市社協の理念策定に向けて～」 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学部准教授 中井俊雄さん	4名
10月11日(水)	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」 講師：介護福祉士 橘高裕行さん	4名
10月31日(火)	令和5年度介護支援専門員の倫理研修「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」事業所内伝達研修	4名
11月16日(木) 3月21日(木)	くらしサポートセンター事例検討会	3名
1月18日(木)	尾道市西部圏域 ケアマネジメント質の向上研修会 「困った時に相談できる場所を増やそう」 講師：広島県尾道警察署生活安全課 高藤英之さん	2名
1月24日(水)	令和5年度第1回在宅サービス課災害対策机上訓練研修 講師：住田八重	4名
2月6日(火) 2月9日(金)	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスマネジメント協会 大河友美さん	4名
2月13日(火)	感染症対策研修（実地研修） 講師：セントラル病院 感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	4名
2月16日(金)	令和5年度尾道市西部包括圏域事例検討会 講師：尾道市医師会介護保険サービスセンターおのみち 木曾美保さん 事例：尾道市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 中川直美	4名

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
5月16日(火)	尾道市介護支援専門員連絡協議会総会・研修会 「適切なケアマネジメント手法とは？」 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	4名
8月17日(木)	第243回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和5年度防災研修（災害支援リーダー養成研修伝達講習）」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文 住田八重	1名
9月22日(金)	第244回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「高齢者一人一人に合わせた嚥下や栄養に関するマネジメントについて～疾患に合わせた分かりやすい栄養指導の方法」 講師：猪原歯科・リハビリテーション科 管理栄養士 樫野和子さん	1名
10月23日(月)	第246回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「相談支援専門員と介護支援専門員の意見交換」	1名

2月22日(木)	第249回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	3名
----------	--	----

事業所外研修（広島県、その他）

月 日	内 容	参加者数
10月19日(木)	令和5年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん	1名
11月10日(金)	令和5年度広島県認定調査員フォローアップ研修 講師：広島県介護支援専門員協会	1名
11月16日(木)	認知症にやさしいまちづくり講演会～認知症になっても幸せに地域で暮らすために～ 講師：井門ゆかり脳神経内科クリニック医院長 井門ゆかり先生	1名
8月～2月	令和5年度広島県主任介護支援専門員更新研修	1名
2月8日(木)	令和5年度尾道市集団指導研修 講師：尾道市高齢者福祉課職員	1名
2月15日(木)	野中式事例検討会 検討会進行：ケアマネジメントこねくと 安井由枝さん 事例提供者：ケアプランセンターすまいる 水ノ上加代さん	1名
2月26日(月)	令和5年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	4名

(ウ) その他・交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
4月21日(金)	令和5年度自立支援型地域ケア会議（第1回）傍聴	1名
9月12日(火)	第3区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	2名
12月4日(月)	第10区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	4名
2月6日(火)	第5区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	1名
3月7日(木)	第10区民生委員・児童委員協議会と介護支援専門員の意見交換会	1名

(エ) 実習生の受入れ

月 日	内 容	受講者数
4月18日(火) 5月10日(水) 5月31日(水)	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

(オ) 講師等派遣

月 日	内 容	派遣者数
8月1日(火)	広島県介護支援専門員専門研修Ⅰ ファシリテーター	1名
10月～3月	適切なケアマネジメント手法 心疾患別全4回	1名

9月～2月	適切なケアマネジメント手法 基本ケア全4回	1名
-------	-----------------------	----

② すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「業務継続に向けた取り組みと効率化による質の向上をはかる」と定め、ケアマネジャー3名で業務を行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 128件、要介護認定調査実施件数 98件

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	3	7	42	36	12	14	4	118

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人・事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
9月6日(水) 9月7日(木)	「社協職員としての視点を学ぶ～市社協の理念策定に向けて～」 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学部准教授 中井俊雄さん	3名
10月11日(水)	高齢者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トッツ 橘高裕行さん	3名
11月16日(木)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	3名
2月6日(火) 2月9日(金)	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスケアマネジメント協会 大河友美さん	3名
2月13日(火)	感染症対策研修(実地研修) 講師：セントラル病院 感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	1名
2月16日(金)	感染症対策研修 事業所内伝達研修	3名

※事業所内でのケアマネ会議は週1回(月曜日)に実施

※生口島のケアマネ会議は2カ月に1回(第3火曜日)に実施(偶数月)

※因島のケアマネ会議は2カ月に1回(第1月曜日)に実施(奇数月)

(イ) 事業所外研修(尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催)

月 日	内 容	参加者数
5月16日(火)	尾道市介護支援専門員連絡協議会総会 第235回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法」 講師：尾道市介護支援専門員連絡協議会会長 邑岡志保さん	3名
8月17日(木)	第243回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「令和5年度防災研修(災害支援リーダー養成研修伝達講習)」 講師：要垣内智子さん 村上友宏さん 江馬明美さん 邑岡志保さん 菅近憲文 住田八重	1名

9月26日(火)	第244回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「高齢者一人一人に合わせた嚥下や栄養に関するマネジメントについて～疾患に合わせたわかりやすい栄養指導の方法～」 講師：猪原歯科(栄養ケア・ステーション)管理栄養士 樫野和子さん	2名
1月15日(月)	第247回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「尾道市社会福祉協議会の事業紹介」 講師：尾道市社会福祉協議会 地域福祉課 佐藤友亮 榎麻美 くらしサポートセンター 高橋望 村上瑞	3名
2月22日(木)	第249回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会 「適切なケアマネジメント手法を用いた指導方法」 講師：尾道市介護支援専門員協会会長 邑岡志保さん	1名

事業所外研修(広島県、その他)

月 日	内 容	参加者数
7月26日(水)	令和5年度管理者研修 「リーダーとして果たす役割」「OJTを活用した人材育成」講師： 広島県介護支援専門員協会常任理事 久保田竜二さん	1名
10月11日(水)	令和5年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：渡部貴則さん 坂井晶子さん 坂下宗生さん	1名
11月10日(金)	令和5年度広島県認定調査員フォローアップ研修 講師：広島県介護支援専門員協会	3名
11月16日(木)	令和5年度スーパービジョン研修 「契約に基づくスーパービジョンの展開～スーパービジョン の成功の秘訣は契約手続きにあり～」 講師：県立広島大学保健福祉部保健福祉学科教授 金子努さん	1名
2月19日(月)	令和5年度実務研修実習指導者養成研修 講師：広島県介護支援専門員指導者	2名
3月14日(木)	高齢者虐待対応研修 「要介護者による高齢者虐待対応の基本と早期に発見し連携 して対応していく重要性について学ぶ(事例を通して学ぶ)」 講師：広島県社会福祉士会 吉本律子さん	2名

(ウ) その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
4月21日(金)	令和5年度自立支援型地域ケア会議(第12回)傍聴	1名
6月16日(金)	令和5年度自立支援型地域ケア会議(第13回)傍聴	1名
7月13日(木)	因島介護支援専門員研修 「飲酒量が増えて困っている人たちを支援するあなたへ」 講師：三原病院 西元祥雄さん、三原断酒友の会 甲田実さん	1名
8月18日(金)	令和5年度自立支援型地域ケア会議(第14回)傍聴	1名
10月20日(金)	令和5年度自立支援型地域ケア会議(第15回)傍聴	1名
2月15日(木)	オレンジネットワーク会議	

2月20日(火)	生口島ケアマネ会議(事例検討会)	2名
3月13日(水)	第1回研修交流会(地域共生包括化推進会)	1名

(エ) 実習生の受入れ

月 日	内 容	参加者数
4月14日(金) 4月19日(水) 4月24日(月)	広島県介護支援専門員実務研修受講者	1名

(2) 訪問介護事業

新型コロナウイルスが5類感染症へ移行したことにより、どこまで利用者に感染症対策を理解してもらえるか不安もあったが、今までどおりマスク着用、換気などの基本的な対策に協力してもらうことができ、大きな感染の広がりなく要介護者や要支援者等に対し、居宅を訪問して入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施することができた。

① 訪問介護事業所

事業所の目標を、「心と身体の健康維持に努め、思いやりのある職場づくりに取り組み、利用者様と明るい未来に向かって前向きに進む。」と定め、4名の常勤ヘルパーと11名の嘱託ヘルパー、23名の登録ヘルパーが在宅での身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 183名、総合事業 153名、合計 336名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合計
介護	3	19	37	39	58	27	0	183
総合事業	1	10	25	42	55	20	0	153
合計	4	29	62	81	113	47	0	336

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
66	60	23	22	12	183

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
2	58	93	153

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月12日(水)	新年度ブロック編成について～サ責変更 事業所目標・個人目標 法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護(伝達研修)	33名

5月10日(水)	プラス10分てくてく運動 5/5能登地方を震源とする地震 5/7尾道市内洪水警報が発令 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更後の 療養期間の考え方等について 認知症及び認知症に関する事(伝達研修)	35名
6月14日(水)	道路交通法第72条/交通事故の場合の措置 災害時の安全確認登録方法 梅雨時の交通事故 家庭での食中毒予防	36名
7月12日(水)	西日本豪雨災害から5年 緊急時安否確認の訓練 住宅リフォームの悪質な点検商法 利用者宅の例 発見時の対 応サ責のその後の対応について	37名
8月9日(水)	熱中症警戒アラート 8月は道路ふれあい月間~ゆずり合い、心や道に、咲く笑顔 ヒヤリ・ハット事故報告~各ブロックで検討	38名
9月13日(水)	タブレット・定期メンテナンス日変更までに行う事 介護職員のための医療知識研修 ~緊急時の症状と介護職としての対応 ~ほっと・はあとステーションでのひら 越部恵美さん~	33名
10月11日(水)	令和5年10月からの賃金について インフルエンザ予防接種について 高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む!不適切ケア研修会」 講師:介護福祉士 橘高裕行さん	37名
11月8日(水)	アルコールチェッカーによる確認方法 インフルエンザ・コロナワクチン接種について 訪問介護の接遇マナー ~接遇マナーの9つの基本	36名
12月13日(水)	アルコールチェッカーの電話連絡、冬に流行する感染症 年末年始の対応について~各ブロックに分かれて	37名
2月14日(水)	令和5年度第1回在宅サービス課災害対策机上訓練研修の伝達研修 ヘルパーのできる事できない事 ~グレーゾーン23例	37名
3月13日(水)	抗原検査支援事業終了に伴う在宅サービス課の対応 YouTubeアイコン募集 救命救急WEV講習 心肺蘇生・AEDの活用~熱傷の手当・熱中症の対応	35名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月26日(水)	第1回尾道市地域包括ケア連携協議会研修会 ACPとがん患者の療養生活に対する意思決定支援について 講師:JA尾道総合病院緩和ケアセンター 則行敏生先生	2名
9月8日(金)	介護職のための医療知識研修 チームケアのための介護職の視点と役割 講師:ほっと・はあとステーションでのひら 訪問看護認定看護師 越部恵美さん	1名
10月4日(水)	令和5年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	1名

10月19日（木）	令和5年度介護支援専門員の倫理研修 「個人情報・プライバシー保護」「法令遵守」「倫理」 講師：広島県介護支援専門員協会副会長 渡部貴則さん	1名
10月19日（木）	尾三地域在宅医療・介護連携研修会「共有意思決定の延長線上でのアドバンス・ケア・プランニング」 講師：安芸市民病院診療部長 松浦将浩先生	2名
11月15日（水）	尾道市地域包括ケア連携協議会研修会 難しい難病をわかりやすく 講師：尾道市民病院神経内科 山脇泰秀先生	3名
11月24日（金）	福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修会 職場内の活発なコミュニケーションを目指して 講師：ケアラーサポート尾道合同会社 中村恵美さん	1名
11月27日（月）	精神保健福祉研修会 精神疾患の理解への理解 講師：三原病院 小山田孝弘先生 武田博樹先生	1名
2月13日（火）	感染症対策研修（実地研修） 講師：セントラル病院 感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	2名
2月15日（木）	広島県障害者虐待防止・権利擁護研修 障害者虐待防止法の概要 広島県障害者権利擁護センターの取り組み 講師：本西豊基さん 川本恵子さん他	1名
2月16日（金）	介護基礎技術向上テーマ別研修 講師：広島県介護福祉士会 寺藤美喜子さん 河内佑美さん	5名
2月21日（水）	「オーラルフレイル予防」 講師：黒瀬歯科医院院長 黒瀬 濟先生	3名
3月19日（火）	令和5年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

(ウ) 定例会議への出席

尾道市地域自立支援協議会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
尾道市地域自立支援協議会 生活支援部会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
医療・介護連携推進部会 向島包括圏域医療・介護ネットワーク会議 主催：尾道市地域包括ケア連絡協議会	1名
おのみちこころネットワーク協議会 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
ひろしま社協活動推進会議 主催：ひろしま社協活動推進会議 介護保険担当部会	1名

② すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「ヘルパー全員で、援助内容の確認をし、統一したサービス提供を行う」と定め、2名の常勤ヘルパーと4名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 43名、総合事業 24名、合計 67名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
23	10	7	2	1	43

総合事業

事業対象	要支援1	要支援2	合 計
0	5	19	24

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月17日(月)	令和5年度事業所目標について BCP作成研修・作成の基本と理解・担当者を決めBCP作成 関係者と内容を確認・事前対策 機器、備蓄品の購入、設 備・職場への教育、訓練を実施 ハザードマップの確認 安否確認優先順位	6名
5月17日(水)	熱中症予防について資料を使って確認 新型コロナウイルス感染症(5類移行後の療養期間の考え 方について)	6名
6月19日(月)	熱中症・食中毒について(レポート提出6/30まで) 利用者の状態について	7名
7月13日(木)	高齢者の熱中症対策(資料を確認) 認知症の接し方について 利用者の状態について(食中毒・熱中症・緊急時の対応)	7名
8月17日(木)	感染症発生時及び自然災害における業務継続計画 熱中症予防の水分補給、室温調節等の利用者への説明	6名
9月21日(木)	介護の仕事で役立つ接遇マニュアル(資料を使って確認) インフルエンザ発生状況	6名
10月11日(水)	高齢者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む!不適切ケア研修」 講師:有限会社トツツ 橘高裕行さん	6名
11月16日(木)	個人情報・プライバシー保護・倫理・法令遵守(伝達講習)	6名
12月15日(金)	事故発生、再発防止と緊急時の対応	6名
1月19日(金)	インフルエンザと新型コロナウイルス感染状況と予防につい て 認知症の対応について	6名
2月16日(金)	感染症対策研修 実技 オレンジネットワーク会議の報告事例検討 ヒヤリ・ハット事例検討	6名
3月15日(金)	1年間の振り返り・令和6年度の目標 高齢者虐待研修伝達講習 移動・移乗介助 令和6年度介護報酬改定	6名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
7月19日(水)	障害者虐待防止研修 障害者虐待防止について 講師：まつたに社会福祉事務所 松谷恵子さん	1名
10月4日(水)	令和5年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修	1名
10月11日(水)	高齢者虐待防止研修 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修」 講師：有限会社トツツ 橋高裕行さん	1名
2月6日(火) 2月9日(金)	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスケアマネジメント協会 大河友美さん	2名
2月13日(火)	感染症対策研修 講師：セントラル病院感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	1名
2月15日(木)	オレンジネットワーク会議	1名
3月13日(水)	尾道市地域共生包括化推進会議	1名
3月14日(木)	高齢者虐待対応研修会 講師：広島県社会福祉士会権利擁護センター ぱあとなあひろしま所属 吉本律子さん	1名
3月18日(月)	令和5年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

(3) 訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行った。

① 訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「職員全員で協力し合い、安全なサービスを提供する。」と定め、1名の常勤職員と、4名の嘱託職員、6名の臨時職員が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 16名 利用実績 590回

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	49	64	61	60	67	52	44	39	40	36	40	38	590

利 用 者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
	0	0	0	1	3	5	7	16

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月8日(月)	夏季入浴の注意事項検討会議	4名
8月30日(水)	接遇研修	4名
9月20日(水)	事故発生、再発防止と緊急時の対応	4名
10月11日(水)	感染症研修	4名
10月19日(木)	認知症高齢者の対応についての研修	4名

11月6日(月)	令和5年度満足度アンケート調査結果についての検討会議	4名
11月9日(木)	冬季入浴の注意事項検討会議	4名
1月24日(水)	個人情報・プライバシー保護、倫理、法令遵守伝達研修	4名
2月6日(火)	令和5年度事業所目標について	4名

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月13日(水)	社協職員としての視点を学ぶ～市社協の理念策定に向けて～ 講師：ノートルダム清心女子大学人間生活学部准教授 中井俊雄さん	1名
10月19日(木)	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」 講師：介護福祉士 橘高裕行さん	6名
11月24日(金)	福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修会 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
2月9日(金)	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスマネジメント協会 大河友美さん	1名
2月13日(火)	感染症対策研修(実地研修) 講師：セントラル病院 感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	2名
2月16日(金)	介護基礎技術向上テーマ別研修 講師：広島県会議福祉士会 寺藤美喜子さん 河内佑美さん	2名
3月19日(火)	令和5年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

(4) 通所介護事業

通所介護事業では、利用時の感染対策や業務、活動内容の対応など、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた1年で、利用者数の減少やボランティアの制限を続ける中、「機能訓練」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持、向上できるよう実施した。

① ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「明るい家庭的な雰囲気大切に、利用しやすさを追求するとともに安定した稼働を目指す。」と定め、3名の常勤職員と3名の嘱託職員、15名の臨時職員で事業を展開した。

また、これまでの比較的大人数で行うレクレーションから、小集団で個別のニーズに沿うことができる機能訓練体制を整えて、加算の取得に努めた。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 58名、総合事業 15名、合計 73名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者延数	333	367	359	343	343	360

開設日数	25	27	26	26	27	26	
平均利用者数	13.3	13.5	13.8	13.1	12.7	13.8	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	411	407	396	370	373	416	4,478
開設日数	26	26	26	24	25	26	310
平均利用者数	15.8	15.6	15.2	15.4	14.9	16.0	14.4

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
24	16	7	5	6	58

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	5	10	15

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月12日(水)	年間計画・業務改善会議	5名
7月19日(水)	地震・火災・避難訓練	11名
8月8日(火)	敬老会開催について	4名
8月21日(月)	敬老会について②	5名
10月25日(水)	リスクマネジメントヒヤリ・ハット事例と対処法	5名
10月25日(水)	敬老会反省	4名
11月29日(水)	救命講習入門コース	17名
12月14日(木) 12月15日(金)	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」(録画視聴)	17名
1月24日(水)	令和5年度第1回在宅サービス課災害対策机上訓練研修(伝達)	5名
2月16日(金)	令和6年度研修・会議・行事・レク年間計画について	5名
2月24日(土)	令和5年度感染症対策実地研修(伝達)	4名
3月11日(月)	認知症の方との接し方	4名
3月12日(火) 3月13日(水)	火災避難訓練	50名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
6月20日(火)	理解しておきたい倫理及び法令遵守・個人情報 講師：特定社会保険労務士 西田英俊さん	1名
6月21日(水)	感染症、食中毒の予防及び感染防止対策 講師：庄原赤十字病院感染管理認定看護師 山根啓幸さん	1名
8月9日(水)	第1回尾道ブロックデイサービス研修会	1名

8月29日（火）	「LIFE フィードバック活用方法」と「介護報酬改定におけるLIFEの動向」 講師：日本経営グループ介護福祉事業部次長 本島 傑さん	2名
9月12日（火）	ひろしま社協活動推進会議 顔の見える場 第1回	2名
10月11日（水）	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」 講師：介護福祉士 橘高裕行さん	1名
10月23日（月）	令和5年度尾道ブロック職員研修会	1名
11月13日（月）	令和5年度広島県老人福祉施設連盟 尾道ブロック感染症対策研修会 講師：JA尾道総合病院感染管理認定看護師 棒田静香さん	1名
11月22日（水）	ひろしま社協活動推進会議 顔の見える場 第2回	1名
11月24日（金）	福祉・介護職員の管理者向け人材育成研修会 講師：介護労働安定センター広島支部 介護人材育成コンサルタント 中村恵美さん	1名
1月24日（水）	令和5年度第1回在宅サービス課災害対策机上訓練研修 講師：住田八重	3名
2月13日（火）	感染症対策研修（実地研修） 講師：セントラル病院感染管理認定看護師 恵谷和郎さん	2名
2月16日（金）	介護基礎技術向上テーマ別研修 講師：広島県会議福祉士会 寺藤美喜子さん 河内佑美さん	2名
3月14日（木）	第2回尾道ブロックデイサービスセンター部会研修 講師：株式会社 TRAPE 代表取締役 鎌田大啓さん	1名
3月19日（火）	令和5年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

ウ 行事等

季節にそった行事やレクリエーションを行い、五感を使い四季を感じることができた。
午前中は、それぞれ得意な手作業や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 4月 花見ドライブ・花見会（おやつ作り） | 6月 しおり作り・たこ焼き作り |
| 7月 七夕まつり・ふな焼作り・防災訓練 | 8月 夏祭り（盆踊り）・パフェ作り |
| 9月 敬老会 | 10月 ミニ運動会・クレープ作り |
| 12月 クリスマス会・振り仮名会 | 1月 新年会 |
| 2月 ふれ愛カフェ・節分会 | 3月 ひな祭り会・避難訓練 |

※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

- ボール送り おじゃみなげ 輪投げ ボーリング ゲートボール
新聞ふみふみゲーム ピンポンゲーム カップインワン もぐらたたき
テーブルカーリング 傘入れゲーム バスケット キングスカップ
バスケット プレゼント集めゲーム カップ麺ホッケー 床カーリング
テーブルピンポンゲーム ナイスキャッチ ボール分けゲーム
（新レク）ワカメつり フラフープキャッチ 後ろおじゃみ投げ
ネズミ捕り 二人でキャッチ 紙コップ障地取り 皿ボール

※カラオケ、密になるレクリエーションはコロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

○ ボランティアのみなさん

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

② 因島デイサービスセンター

事業所の目標を『笑顔であいさつ・言葉かけ・居心地の良いデイに！』と定め、2名の常勤職員と7名の嘱託職員、20名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 94名、総合事業 17名、合計 111名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	462	477	505	506	575	561	
開設日数	25	27	26	26	27	26	
平均利用者数	18.5	17.7	19.4	19.5	21.3	21.6	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	570	555	543	465	470	494	6183
開設日数	26	26	26	24	25	26	310
平均利用者数	21.9	21.3	20.9	19.4	18.8	19.0	19.9

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
25	29	32	8	0	94

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	5	12	17

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

6月13日(火)	業務マニュアル、ADL表の見直し 短期目標について BCP	12名
6月29日(木)	防災訓練(火災)	15名
7月18日(火)	介護職員のための感染症対策マニュアル(資料配布)	26名
10月11日(水) 10月12日(木)	高齢者等虐待防止検討委員会 「虐待の芽を摘む！不適切ケア研修会」 講師：介護福祉士 橘高裕行さん	19名
1月22日(月)	避難訓練(火災)	15名
3月28日(木)	BCP研修 (2/13開催感染症対策実地研修の伝達研修) 令和6年度介護報酬改定について	14名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
5月～7月	令和5年度広島県認知症介護実践者研修	1名
10月19日(木)	安全運転管理者研修	1名
12月～1月	令和5年度広島県認知症介護実践者研修	1名
2月6日(火) 2月9日(金)	ワークライフバランス研修 講師：ヘルスケアマネジメント協会 大河友美さん	2名
2月13日(火)	感染症対策実地研修	2名
3月19日(火)	第4回因島オレンジネットワーク会議	1名
3月19日(火)	令和5年度介護サービス事業者集団指導研修	1名

ウ 行事等

○ 年間行事

4月 お花見週間 6月 七夕短冊づくり 8月 夏祭り週間
9月 敬老表彰 12月 クリスマス週間
毎月 コーヒー週間
※誕生日会（利用者に合わせて）

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操 ラジオ体操
言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 輪投げ
カラオケ 唱歌など他 音楽レクリエーション
椅子に座ってできる身体・頭を使うレクリエーション

○ ボランティアのみなさん

ハーモニカ演奏（6月） オカリナ演奏(毎月1回)

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

(1) 障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

① 訪問介護事業所

利用者数 35名 延利用回数 5,596回

② すずらん訪問介護事業所

利用者数 7名 延利用回数 220回

(2) 障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○尾道市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所

利用者数 (名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	20	23	22	22	20	22	22	21	22	18	20	22	254

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○尾道市社会福祉協議会ふれ愛デイサービスセンター

利用者数 (名)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	21	30	27	32	29	29	28	28	23	22	21	20	310